
第1章 VMS Proの紹介

1.1 VMS Proの概要

ビデオ管理ソフトウェア（VMS）は、複数のセキュリティ監視デバイスを管理するために使用されます。

VMS Pro クライアントは、XVR、NVR、IPカメラなどのデバイスで動作します。

ソフトウェアの機能は次のとおりです。

- ・パスワードをリセットします。
- ・複数ユーザーによる利用をサポートします。
- ・単一のデバイス、複数のデバイスを一括して追加したり、異なるプロトコルを持つデバイスを追加したりします。
- ・デバイスをリモートで設定する。
- ・複数のデバイスからリアルタイムで動画を閲覧し、録画を再生すること。
- ・複数のデバイスからのビデオの巡回表示をサポートします。
- ・録画の再生や撮影した画像のリモート閲覧が可能です。
- ・さまざまなアラーム検知の設定も行えます。
- ・さまざまなタイプのアラーム検出の設定。
- ・電子地図を設定していつでもデバイスの位置を特定し、デバイスの展開や管理を簡単に行えるようにします。
- ・ログの照会とエクスポート。
- ・顔認識、人物や車両の認識、ナンバープレート認識をサポートしています。
- ・インテリジェントな構成と出勤管理をサポートします。
- ・インテリジェントなシーンのプレビュー、検索、および構成をサポートします。
- ・顔認識、ナンバープレート認識、人間および車両検知、周囲侵入検知、ライン横断検知、交差カウント、群衆密度検出、列の長さ検知などに対応しています。
- ・ワンクリックでデバイス情報ファイルをインポートおよびエクスポートします。
- ・ファイルを管理し、画像とビデオを個別に表示します。

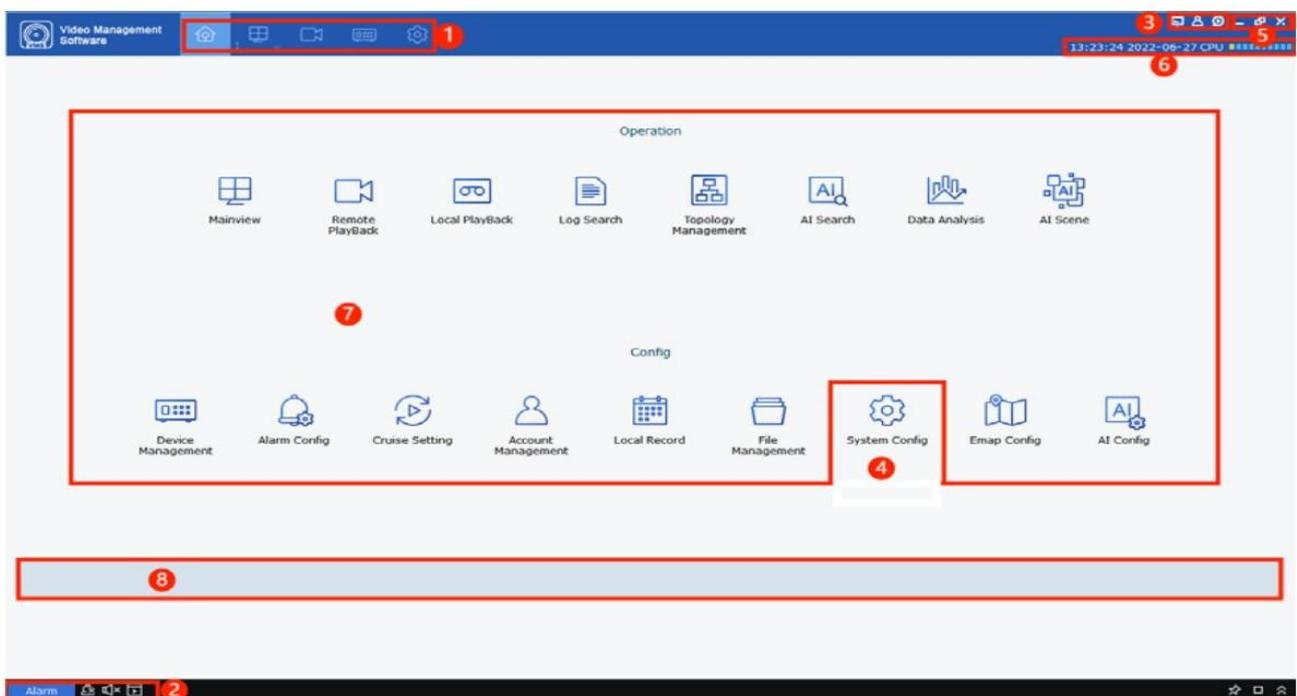
1.2 VMS Pro 実行中の設定

ソフトウェア構成には、オペレーティングシステム、CPU、メモリ、グラフィックスカードが含まれます。

- ・ オペレーティングシステム： Windows 7、Windows 10、Windows 11、macOS 11.6以降
- ・ CPU：Intel® Core™ i5-4590 @ 3.3 GHz 以上
- ・ メモリ：4 GB以上
- ・ グラフィックカード：NVIDIA GT 730 以上

1.3 VMS Pro メインインターフェース

VMS Proのメインインターフェースは次の図に示されています。各部分については、図の下の表で説明しています。



番号	項目	説明
1	機能タブ	VMS Proを起動してログインします。表示されるメインインターフェースに、サポートされている機能が表示されます。機能アイコンをクリックすると、その機能のページに移動します。

2	イベント管理	 または  をクリックしてアラームの通知をミュートまたはミュート解除します。  または  をクリックしてアラームのポップアップを拒否するかします。  をクリックしてアラームを解除します。  をクリックしてアラーム履歴を表示します。 <p>詳細については、第15章「アラーム設定」を参照してください。</p>
3	ユーザー管理	 をクリックして解像度を設定します。  をクリックして再生をポップアップします。  をクリックして  を選択し、画面をロックします。 <p>その後、システムにログインするにはパスワードが必要です。</p>  をクリックして  を選択してユーザーを切り替えます。  をクリックして  を選択してソフトウェア名とバージョン番号を表示します。
4	システム管理	 をクリックして「システム設定」ページに移動します。 <p>言語、オートログインやパスワードの保存、ファイル形式と保存先、アラーム音を設定できます。</p>
5	ウィンドウ管理	 をクリックしてソフトウェアのウィンドウを最小化します。  をクリックしてソフトウェアのウィンドウを最大化する。  をクリックしてデフォルトのウィンドウレイアウトを復元します。  をクリックしてソフトウェアを終了します。
6	システムの状態	<p>現在のシステム時刻、CPU使用率、ユーザー名、ログイン時間を表示します。</p>

7	機能一覧	<p>機能一覧は操作エリアと設定エリアに分かれております。</p> <p>各機能の説明は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メインビュー メインビュー：カメラをシステムに接続してリアルタイムで映像を視聴できます。動画視聴中はローカルで動画を録画したり、画像をキャプチャしたり、音声インターホン、デジタルズーム、巡回表示を使用できます ● リモート再生 リモート再生: 日付を選択して動画や画像をリモートで確認し、切り取りやローカルへのダウンロードができます。 ● ローカル再生 ローカル再生：クライアントから録画を表示したり、エクスポートしたりできます。 ● ログ検索 ログ検索：クライアントからローカルおよびリモートのログをリクエストおよびエクスポートします。 ● ファイル管理 ファイル管理: ローカルの録画や画像を検索します。 ● 顔認証出席 顔認証出勤：出入りする人を記録するための出席時間を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ● AI検索 AI検索：AI検索：顔、人、車両を検索・比較し、再訪者を識別します。関連する条件を指定し、条件に一致するすべての顔を検索します。IDをまとめ、重複するIDを持つ訪問者を統合します。 ● デバイス管理 デバイス管理：デバイスファイルを追加または削除し、デバイス設定をリモートで管理します。 ● アラーム設定 アラーム設定：デバイスのアラームタイプを設定できます。タイプには、モーション、I/O、ビデオ損失、PIR、インテリジェントがあります。 ● クルーズ設定 クルーズ設定：クルーズチャンネルとデバイスを設定します。 ● アカウント管理 アカウント管理：サブユーザーの追加や削除、サブユーザーの権限の変更。 ● ローカル記録 ローカル録画: ファイルの保存パスを指定し、録画計画を設定する
---	------	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ● AIシーン AIシーン：チャンネルやグループに出入りする人の数を監視し、人数が制限に達した場合に警告を出します。 ● データ分析 データ分析：顔、人間、車両のデータを分析し、クロスカウント、ヒートマップ、出席状況を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイル管理 ファイル管理：手動で記録された録音や画像を管理する。 ● Emap 設定 Emap設定：カメラを電子地図上に配置して、何かが起こった場所をすぐに確認できるようにします ● AI 設定 AI設定：デバイスの顔ライブラリ、設定、アラーム、出席を構成します。
8	機能チップ	機能タブの上にカーソルを置くと、その領域に機能の説明がリアルタイムで表示されます。	

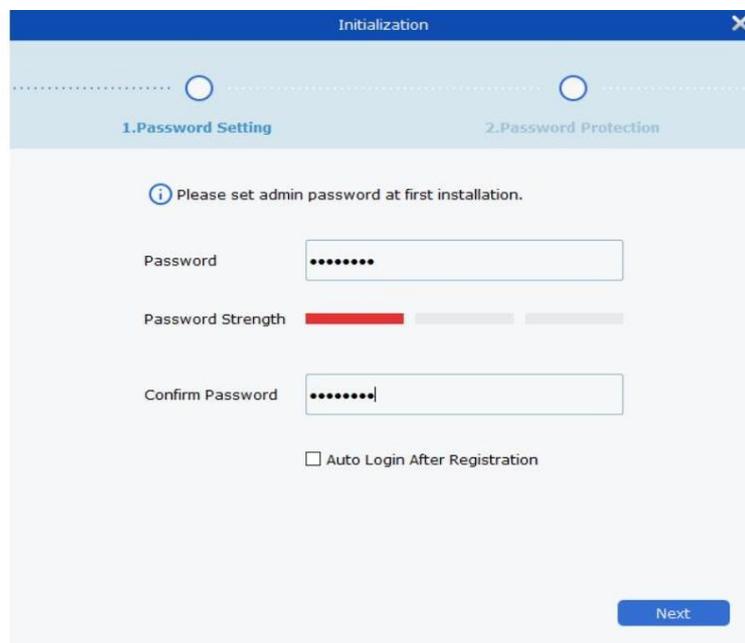
第2章 登録とログイン

2.1 管理者アカウントの作成

VMS Proへの初回ログイン時に、システムの指示に従って管理者パスワードとセキュリティの質問を設定します。パスワードはシステムへのログインに使用され、セキュリティの質問は質問に答えることでパスワードをリセットするために使用されます。



ステップ1:  をダブルクリックすると、次の図のように初期化画面が表示されます。



The screenshot shows the 'Initialization' window with two steps: '1. Password Setting' and '2. Password Protection'. The first step is active. It contains an information icon and the text 'Please set admin password at first installation.' Below this are three input fields: 'Password' (with masked characters), 'Password Strength' (with a red progress bar), and 'Confirm Password' (with masked characters). There is also a checkbox for 'Auto Login After Registration' and a 'Next' button at the bottom right.

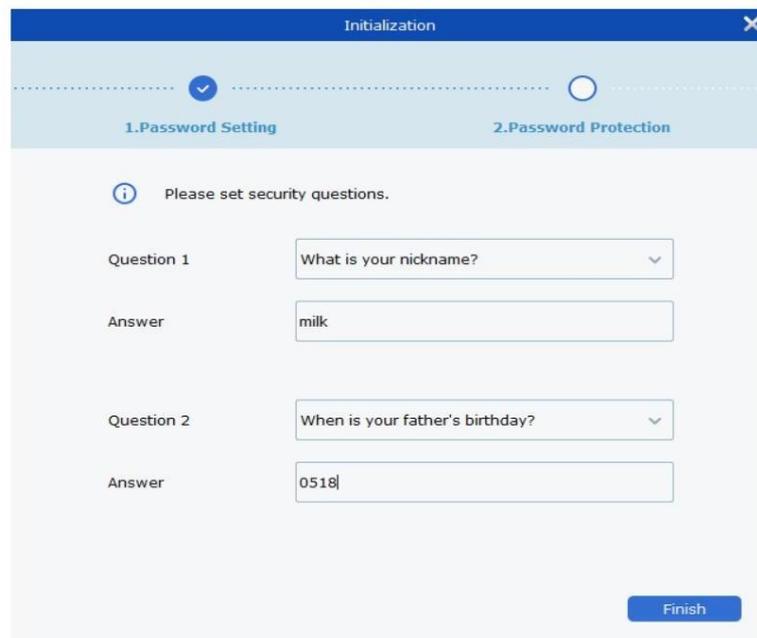
管理者パスワードを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

項目	説明
パスワード	長さ：8～32文字（スペースなし） 使用可能：大文字、小文字、数字、特殊文字文字。
パスワードの強度	パスワードの複雑さ。赤はパスワードが複雑で安全ではないことを示し、緑はパスワードが複雑で安全であることを示します。パスワード強度に従って、非常に安全なパスワードを設定してください。
パスワードを確認する	パスワードが一致していることを確認してください。
登録後の自動ログイン	選択すると、登録後に自動的にシステムにログインします。 選択しない場合は、ログイン画面が表示されます。

ステップ 2：パスワードを設定したら、「次へ」をクリックします。

ステップ 3：質問を選択し、回答を入力します。パスワードを忘れた場合は、質問に答えることでパスワードをリセットできます。

ステップ 4：次に、「完了」をクリックして設定を保存します。



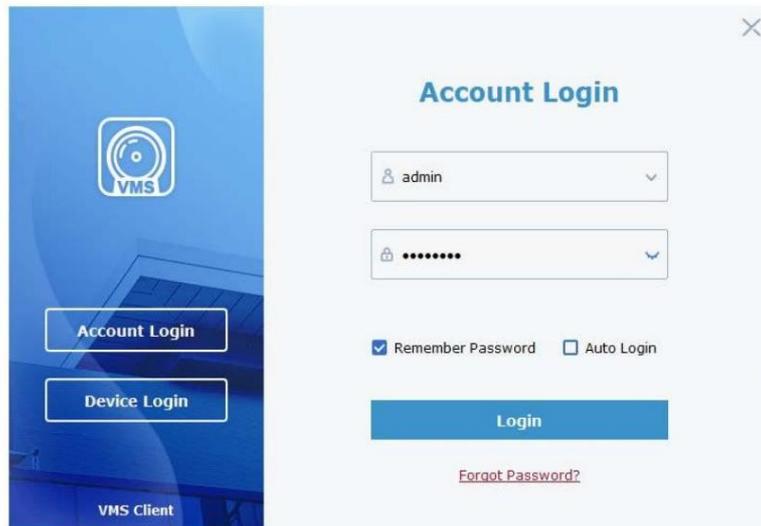
The screenshot shows a web interface titled "Initialization" with a close button (X) in the top right corner. Below the title is a progress indicator with two steps: "1. Password Setting" (marked with a checkmark) and "2. Password Protection" (marked with a circle). An information icon (i) is followed by the text "Please set security questions." There are two question-answer pairs. The first question is "What is your nickname?" with a dropdown arrow, and the answer is "milk". The second question is "When is your father's birthday?" with a dropdown arrow, and the answer is "0518". A blue "Finish" button is located at the bottom right of the form area.

2.2 VMS Proへのログイン

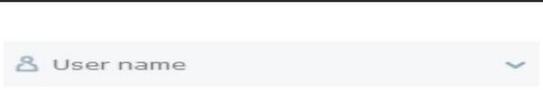
(1)デバイスの初期化後、アカウントとパスワードを入力してVMS Proにログインします。

ステップ1:  をダブルクリックします。

次の図に示すように、ログイン画面が表示されます。

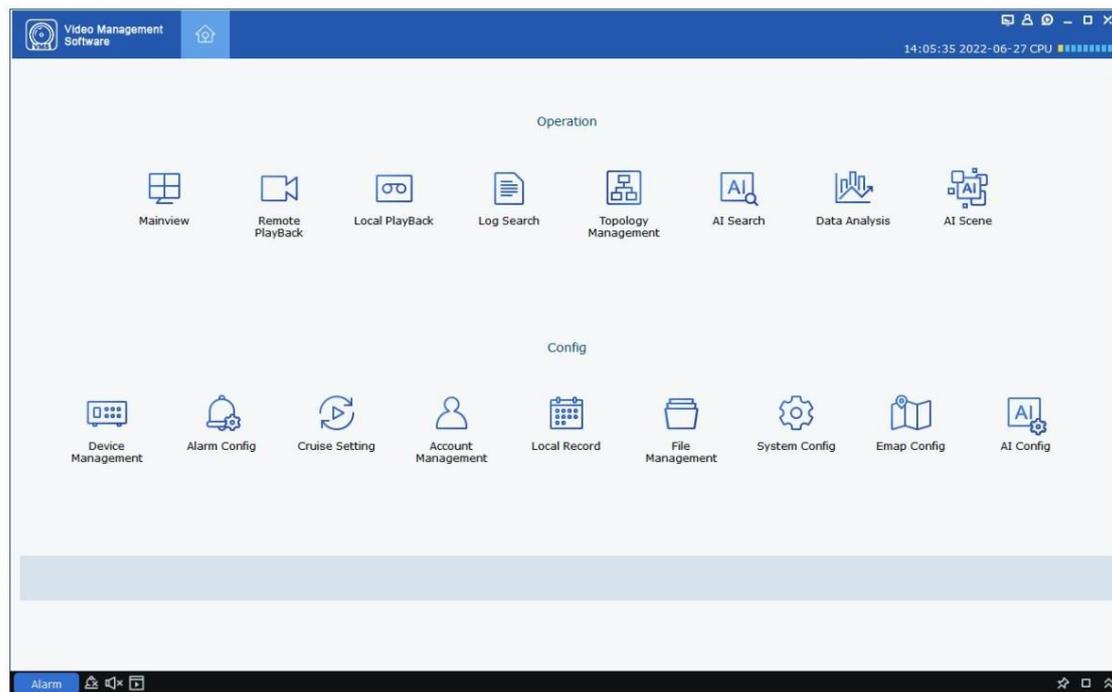


ステップ2: パラメータを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

	
	ユーザー名とパスワードを入力してください。
パスワードを記憶する	選択すると、再度ログインしたときにシステムがパスワードを記憶します。
自動ログイン	選択すると、パスワードが記憶され、システムに自動的にログインできます。
パスワードをお忘れですか？	パスワードを忘れた場合は、質問に答えることでパスワードをリセットできます。詳細については、セクション2.3「パスワードのリセット」をご覧ください。

ステップ 3：[ログイン]をクリックします。

次の図に示すように、システム インターフェイスが表示されます。



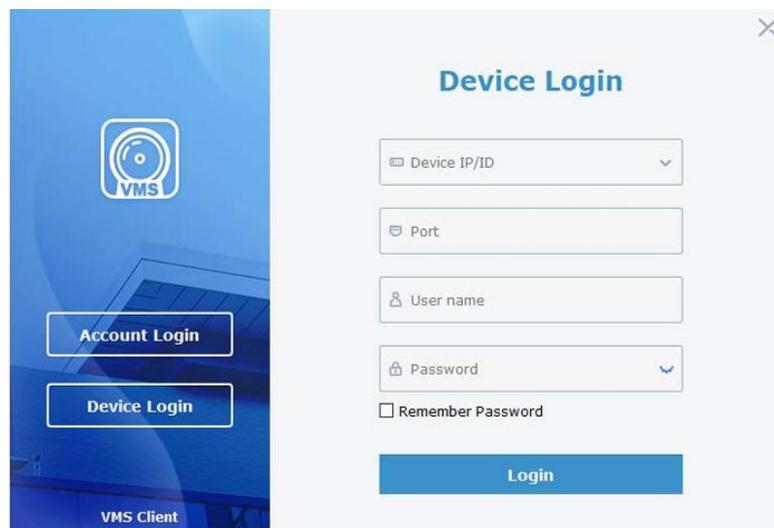
(2) デバイスログインを通じてVMS Proにログインします。



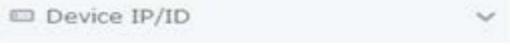
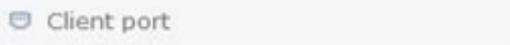
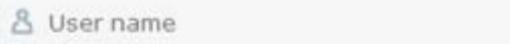
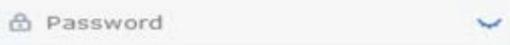
ステップ 1：VMS Pro をダブルクリックします。

ステップ 2：ログイン画面が表示されたら、左側の「デバイスログイン」をクリックします。

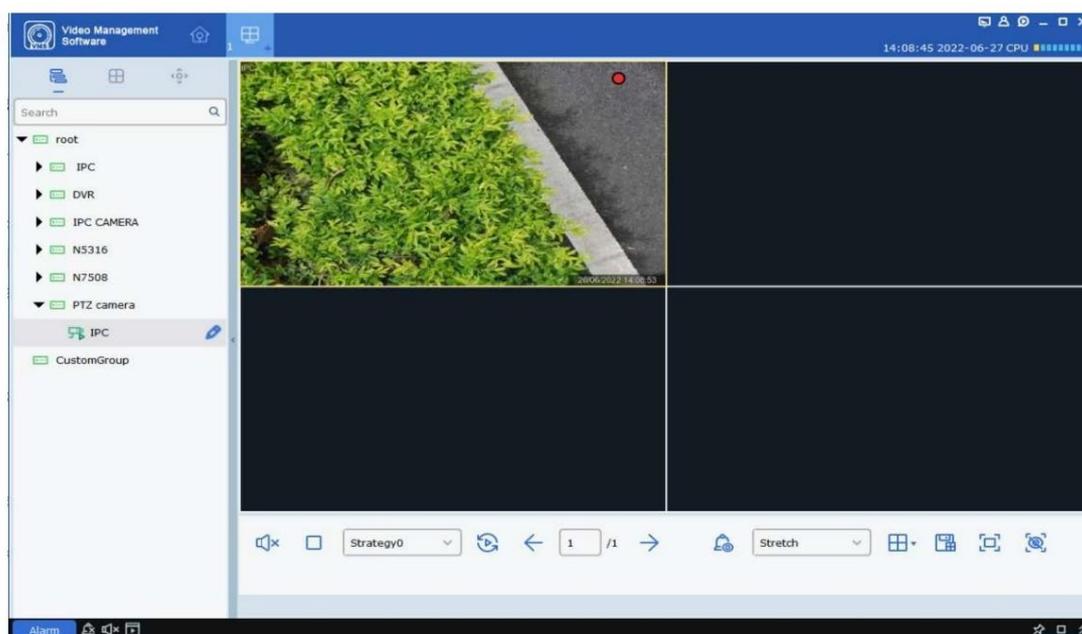
次の図のように、デバイスログイン画面が表示されます



ステップ3: パラメータを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

パラメータ	説明
	デバイスのIP/IDを入力します。
	ポート番号を入力します。
	ユーザー名とパスワードを入力してください。
	
<input type="checkbox"/> Remember Password	選択すると、再度ログインするときにシステムがパスワードを記憶します。

ステップ4: 「ログイン」をクリックします。次の図に示すように、システムインターフェースが表示されます。



注: デバイスログインの詳細については、第3章「デバイス ログイン」を参照してください。

2.3 パスワードのリセット

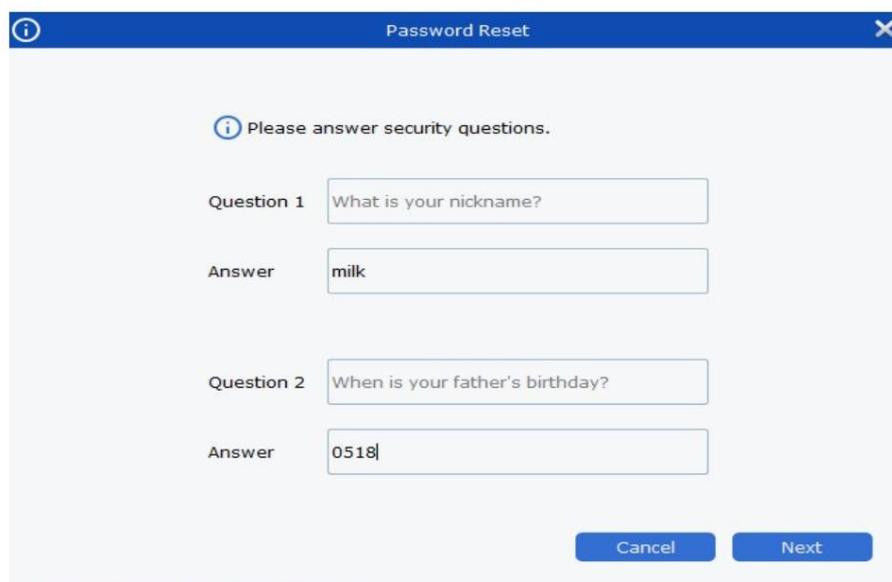
パスワードを忘れた場合は、質問に答えることでパスワードをリセットできます。



ステップ1: ログイン画面に移動するために **VMS Pro** をダブルクリックします。

ステップ 2: **Forgot Password?** をクリックします。

パスワードのセキュリティ質問の画面は次の図のように表示されます。

A screenshot of a 'Password Reset' dialog box. The title bar is blue with a white 'i' icon and the text 'Password Reset' and a close button. The main area is light gray and contains an information icon and the text 'Please answer security questions.' Below this are two sets of questions and answers. The first set is 'Question 1: What is your nickname?' with the answer 'milk'. The second set is 'Question 2: When is your father's birthday?' with the answer '0518'. At the bottom right are 'Cancel' and 'Next' buttons.

Question	Answer
Question 1: What is your nickname?	milk
Question 2: When is your father's birthday?	0518

ステップ3: 質問に答えて「次へ」をクリックします。次の図のように、パスワードリセット画面が表示されます。

ステップ4: パスワードを設定します。パラメータは次の表のとおりです。

パラメータ	説明
パスワード	長さ: スペースなしで 8 ~ 32 文字。 使用できる文字: 大文字、小文字、数字、特殊文字。
パスワードの強度	パスワードのセキュリティ。赤はパスワードが安全でないことを示します。 緑はパスワードが安全であることを示します。
パスワードの確認	パスワードが一致していることを確認してください。

ステップ 5: 「完了」をクリックして設定を保存します。

第3章 デバイスログイン

3.1 デバイスログイン

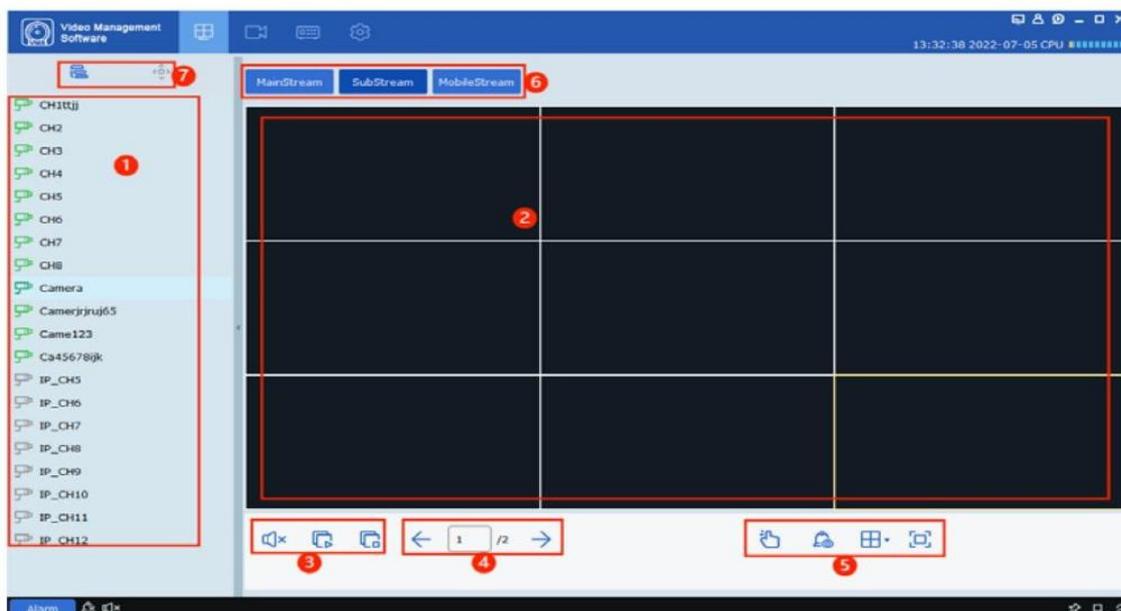


ステップ1:  をダブルクリックします。

ステップ2: ログイン画面が表示されたら、左側の「デバイスログイン」をクリックします。デバイスのログイン画面が表示されます。

ステップ3: パラメータを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

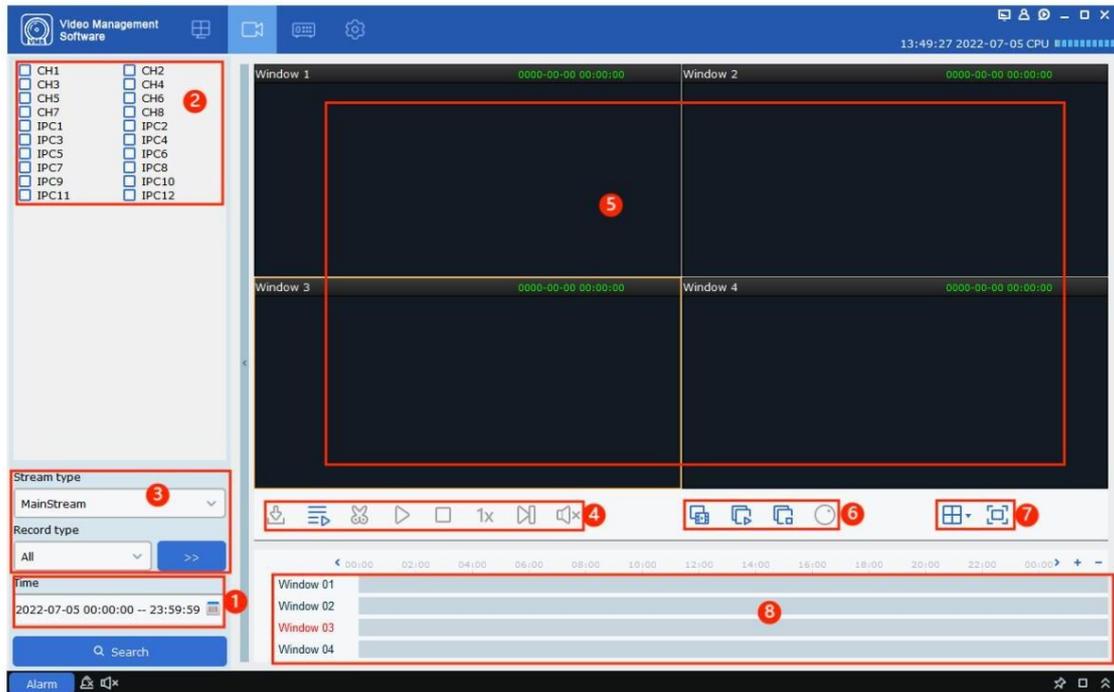
ステップ 4: [ログイン]をクリックして次のページに移動します。



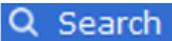
NO.	項目	説明
1	デバイスエリア	現在のIPアドレスに紐づいているすべてのデバイスを表示します。
2	プレビューエリア	デバイス接続されている場合はデバイスのウィンドウを表示します。
3	コントロール	全てのウィンドウの再生を停止を制御します。
4	ページスイッチ	プレビューページが複数ある場合はページを切り替えます
5	画面エリア	ウィンドウの数、全画面モード、手動アラームスイッチ、アラーム表示スイッチを設定する。
6	ストリームエリア	再生するストリームを選択してください。
7	スイッチエリア	デバイスツリーとPTZコントロールを切り替えます。

3.2 リモート録画再生

ステップ 1：機能タブで[リモート再生]をクリックし、次の図に示すように、リモート録画再生ページに移動します。



各部分については次の表で説明します。

NO.	項目	説明
1	時間	検索する期間を選択します。
2	チャンネルエリア	再生するチャンネルを選択します。
3	検索エリア	検索する録画の種類とストリームの種類を選択します。  Search をクリックします。
4	再生コントロール エリア	録画の再生と音声を制御します。 <ul style="list-style-type: none">●  : 複数チャンネルの録画を同期して再生します。●  : 録画の再生を開始します。●  : 録画の再生を一時停止します。●  : 録画の再生を停止します。●  : 録画を再生するときに1フレーム進めます。●  : 録画をダウンロードします。●  1x : 録画の速度を上げたり下げたりします。●  をクリックして音声を有効にします。 また  をクリックして音量の調整をします。

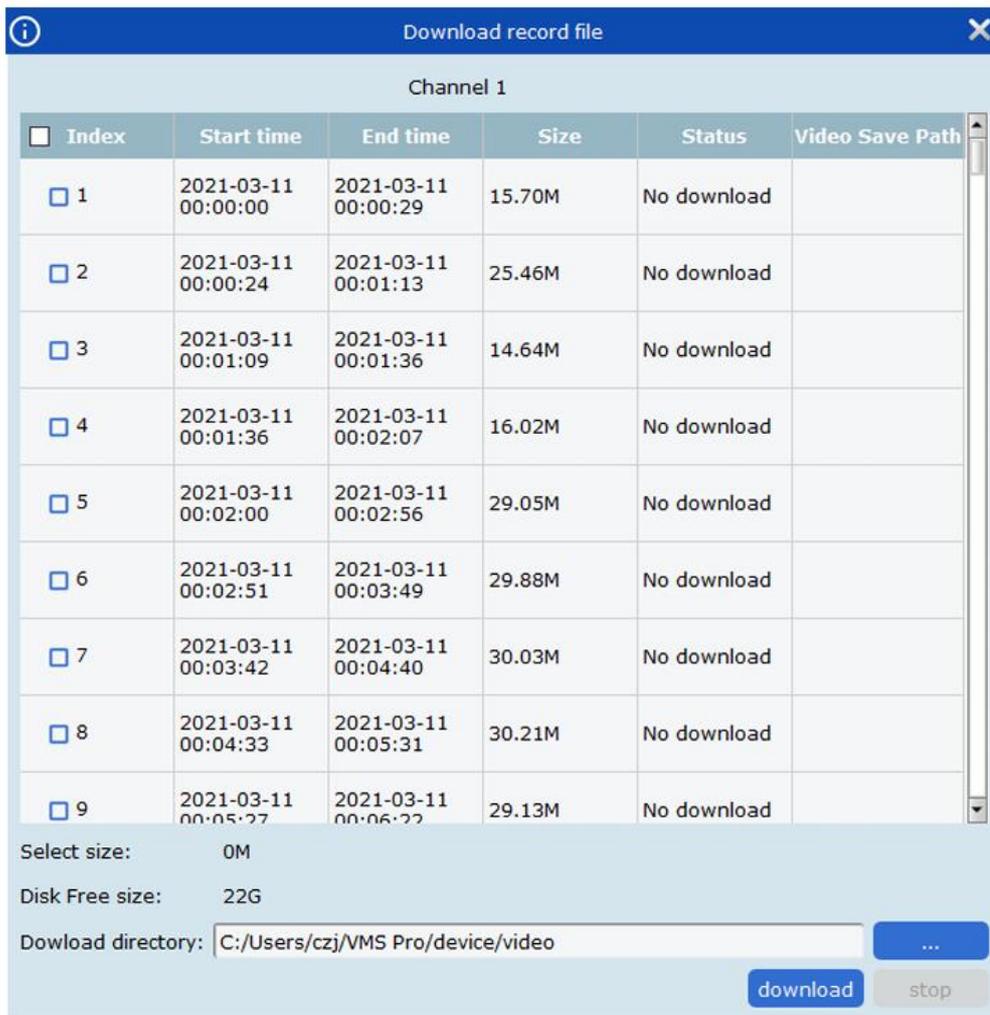
5	録画再生エリア	<p>複数の方法でビデオを表示し、ウィンドウを分割できます。</p> <p>ビデオの表示中に画像のキャプチャ、ビデオの録画、デジタルズームを使用できます。</p> <p>キャプチャ：録画が有効になっているビデオウィンドウを選択し、をクリックするか  Capture を右クリックしてキャプチャする画像を選択します。</p> <p>デジタルズーム： をクリックして選択領域を拡大します。</p> <p>録画：録画が有効になっているビデオウィンドウを選択し、 をクリックします。</p> <p>スクリーンショット：録画が有効になっているデバイスウィンドウを選択し、 を クリックします。</p>
6	ビデオコントロールエリア	<p>：複数チャンネルの録画を同期して再生します。</p> <p>：すべてのチャンネルの録画の再生を停止します。</p> <p>：魚眼レンズデバイス専用のモードを使用します。</p> <p>：インテリジェントサーチ</p>
7	ビデオウィンドウと表示モード	<p> をクリックしてビデオウィンドウの数を選択します。</p> <p> をクリック、または  を右クリックしてフルスクリーンを選択するとビデオウィンドウが全画面モードになります。</p>
8	時間経過エリア	<p>既存の録画情報を表示します。</p>

3.3 デバイス記録のダウンロード

ステップ1: 録画が有効になっているビデオウィンドウを選択し、再生コントロールエリアの



をクリックします。次の図のようなダイアログボックスが表示されます。



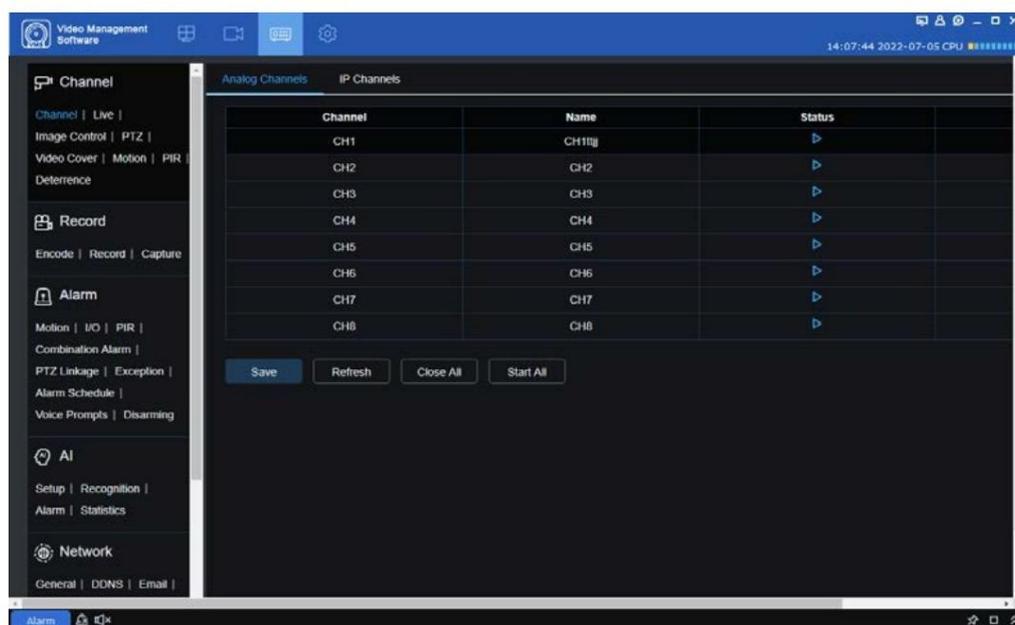
ステップ 2: ダウンロードする録画を選択し、保存パスを指定します。

ステップ 3: ダウンロードをクリックします。

注:システム構成の詳細については、第 19 章「システム構成」を参照してください。

3.4 リモート設定

以下のページでは、デバイスのパラメータをリモートで設定できます。



3.5 システム構成

機能タブで「システム設定」をクリックすると、システム設定ページに移動します。

詳細な操作については、第19章「システム設定」を参照してください。

第4章 デバイス管理

VMS Proでは、自動検索、単一デバイスの追加、一括追加など、様々な方法でデバイス（IPカメラ、NVR、XVRなど）を追加できます。追加後は、リモートからデバイスの設定や操作が可能です。

4.1 デバイスの追加

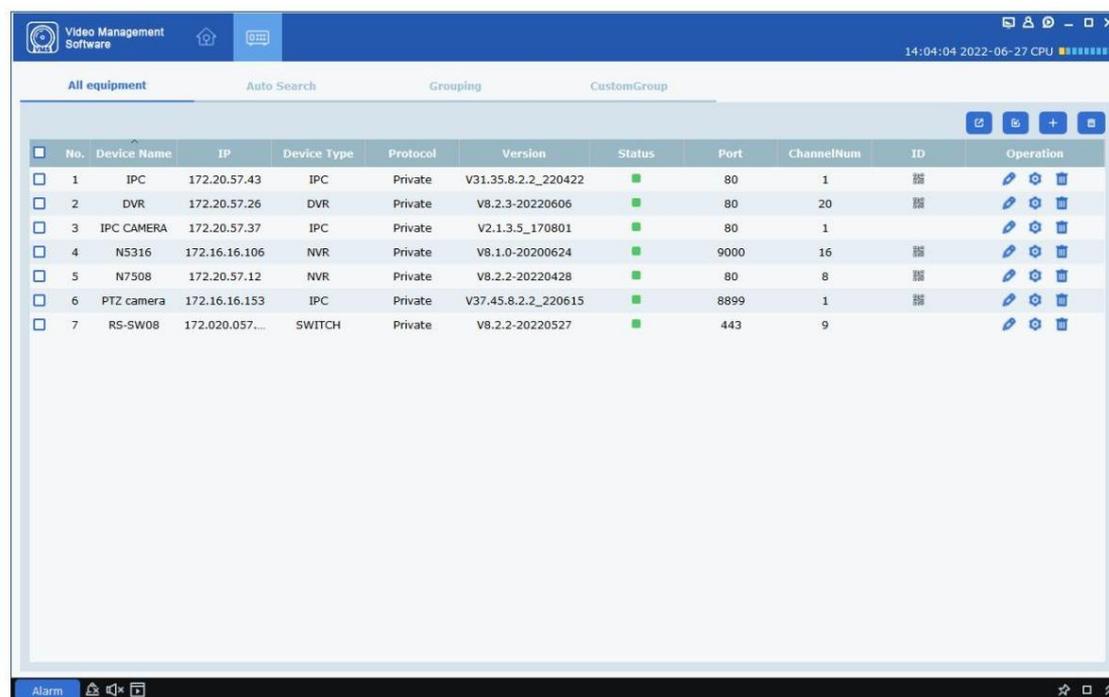
VMS Proは複数のデバイス追加方法をサポートしています。追加するデバイスの数、ネットワークセグメント、その他の要因に応じて適切な方法を選択してください。

- 1.自動検索は、複数のデバイスを一括で追加する必要があり、デバイスが同じネットワークセグメント内にある場合、またはデバイスのIPアドレスがわからないがネットワークセグメントがわかっている場合に推奨されます。

ステップ1: デバイスページで、メインメニューに移動するには  をクリックします。

ホームページの設定エリアにある「デバイス管理」をクリックします。

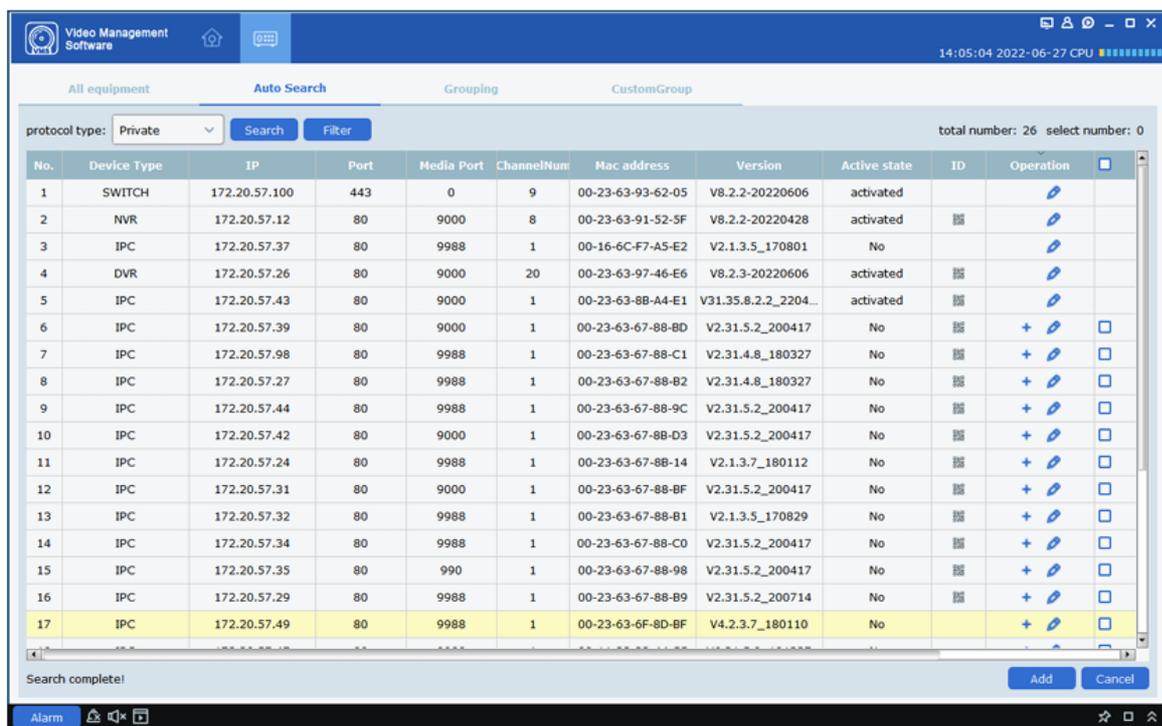
次の図のように、デバイス管理ページが表示されます。



No.	Device Name	IP	Device Type	Protocol	Version	Status	Port	ChannelNum	ID	Operation
1	IPC	172.20.57.43	IPC	Private	V31.35.8.2.2_220422	■	80	1	■	  
2	DVR	172.20.57.26	DVR	Private	V8.2.3-20220606	■	80	20	■	  
3	IPC CAMERA	172.20.57.37	IPC	Private	V2.1.3.5_170801	■	80	1	■	  
4	N5316	172.16.16.106	NVR	Private	V8.1.0-20200624	■	9000	16	■	  
5	N7508	172.20.57.12	NVR	Private	V8.2.2-20220428	■	80	8	■	  
6	PTZ camera	172.16.16.153	IPC	Private	V37.45.8.2.2_220615	■	8899	1	■	  
7	RS-SW08	172.020.057...	SWITCH	Private	V8.2.2-20220527	■	443	9	■	  

ステップ2: 自動検索に移動するにはデバイス管理ページで「自動検索」をクリックします。

次の図に示すように、ページが表示されます。



ステップ3: 追加したいデバイスを選択し、**+** をクリックします。または、1つまたは複数のデバイスを選択し、右下隅の「追加」をクリックします。次の図のようなダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4: ログインしているデバイスのユーザー名とパスワードを入力し、「追加」をクリックして操作を完了します。

追加されたデバイスは次の図のように表示されます。

注意: 追加されたデバイスは、デフォルトではポート 80 経由でログインされます。

No.	Device Name	IP	Device Type	Protocol	Version	Status	Port	ChannelNum	ID	Operation
1	IPC	172.20.57.43	IPC	Private	V31.35.8.2.2_220422	緑	80	1	■	✎ ⚙️ 🗑️
2	DVR	172.20.57.26	DVR	Private	V8.2.3-20220606	緑	80	20	■	✎ ⚙️ 🗑️
3	IPC CAMERA	172.20.57.37	IPC	Private	V2.1.3.5_170801	緑	80	1	■	✎ ⚙️ 🗑️
4	N5316	172.16.16.106	NVR	Private	V8.1.0-20200624	緑	9000	16	■	✎ ⚙️ 🗑️
5	N7508	172.20.57.12	NVR	Private	V8.2.2-20220428	緑	80	8	■	✎ ⚙️ 🗑️
6	PTZ camera	172.16.16.153	IPC	Private	V37.45.8.2.2_220615	緑	8899	1	■	✎ ⚙️ 🗑️
7	RS-SW08	172.020.057...	SWITCH	Private	V8.2.2-20220527	緑	443	9	■	✎ ⚙️ 🗑️

このページでサポートされている操作を次の表に示します。

アイコン	説明
	アイコンをクリックします。デバイスの変更ウィンドウが表示され、デバイス名、ログインタイプ、IPアドレスまたはドメイン名、プロトコル、ポート、ユーザー名、パスワードなどのデバイス情報を変更できます。
	アイコンをクリックするとデバイスのリモート設定ページに移動し、デバイスの録画チャンネル、録画、ネットワーク、アラーム イベント、ストレージ、システムなどを設定できます。
	アイコンをクリックしてデバイスを削除します。
	<p>緑：デバイスは正常に接続されています。</p> <p>赤：未起動。初期パスワードを設定する必要があります。</p> <p>黄色：ログイン情報が間違っているか、アカウントがロックされています。</p> <p>灰色：デバイスが接続されていない</p>
	<p>デバイス情報をエクスポートまたはインポートします。</p> <p>デバイス情報をエクスポートまたはインポートします。詳細な操作については、3「構成ファイルをインポートしてデバイスを追加する」を参照してください。</p>

注：デバイスを追加した後も、自動検索ページは開いたままなので、引き続きデバイスを追加できます。

デバイスを追加した後は、デバイスリストに移動してデバイスがオンラインかどうかを確認してください。

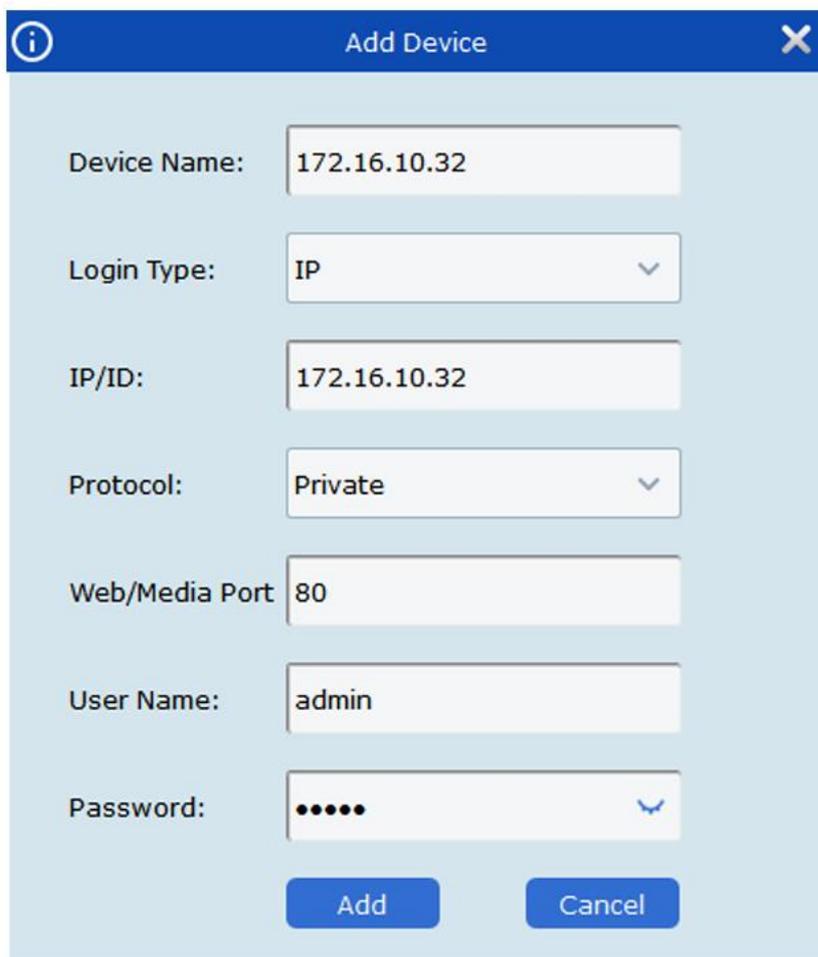
2. デバイスを手動で追加します。

単一のデバイスを追加する場合で、そのデバイスのIPアドレスまたはドメイン名がわかっている場合は、

デバイスを手動で追加することをおすすめします。

ステップ1:デバイス管理ページで、 をクリックします。

次の図に示すように「デバイスの追加」ウィンドウが表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled "Add Device" with the following fields and values:

- Device Name: 172.16.10.32
- Login Type: IP (dropdown menu)
- IP/ID: 172.16.10.32
- Protocol: Private (dropdown menu)
- Web/Media Port: 80
- User Name: admin
- Password: [masked]

Buttons: Add, Cancel

ステップ2：パラメータを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

パラメータ	説明
デバイス名	デバイス名です。 メンテナンスのために、デバイスは監視するエリアの名前にちなんで命名することをお勧めします。
ログインタイプ	デバイスを追加する方法 <ul style="list-style-type: none"> ● IP/ドメイン：デバイスのIPアドレスまたはドメイン名を使ってデバイスを追加します。 ● P2PID：デバイスのシリアル番号を使ってデバイスを追加してください。
IP/ID	このパラメータは、IPアドレスまたはドメイン名でデバイスを追加する場合に設定してください。デバイスのIPアドレスまたはドメイン名。このパラメータは、P2PIDを通じてデバイスを追加する場合に設定してください。 デバイスのシリアル番号。
プロトコル	プライベートプロトコルまたはその他のプロトコルを選択してください。
ウェブ/メディアポート	ウェブポートまたはメディアポートを入力してください。ウェブポートでログインすると、AI設定やAIシーンなど、より多くの機能が利用可能になります。
ユーザー名	デバイスにログインするためのユーザー名。
パスワード	デバイスにログインするためのパスワード。

ステップ3：[追加]をクリックしてデバイスを追加します。

注意：追加をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックして[デバイスの追加]ウィンドウを終了します。

デバイスが追加されると、自動的にVMS Proに接続されます。その後、ステータスは  です。

それ以外の場合、ステータスは  です。

3. 設定ファイルをインポートしてデバイスを追加します。

ステップ 1：デバイス管理ページで、 をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 2：ローカルに保存されているデバイスの .xml ファイルを選択して開きます。

ステップ 3： [開く]をクリックしてデバイスをインポートします。

注：この方法は、デバイスが以前に追加され、デバイスの構成ファイルがローカルストレージにエクスポートされている場合に使用してください。

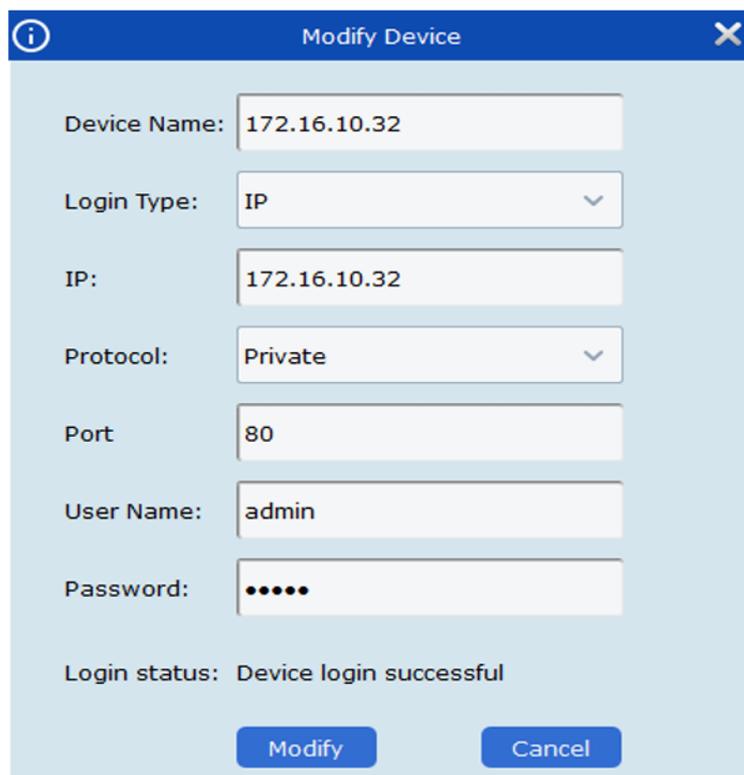
4.2 デバイス情報の変更

情報（ユーザー名、パスワード、IP アドレス、ドメイン名など）が正しくない場合は、デバイス情報を変更します。

注：このセクションでは、デバイス情報を変更する方法について説明します。

ステップ 1：デバイス管理ページで、 をクリックします。デバイスの変更ウィンドウが表示されます。

ステップ 2：デバイス情報を変更します。



The screenshot shows a 'Modify Device' dialog box with the following fields and values:

- Device Name: 172.16.10.32
- Login Type: IP
- IP: 172.16.10.32
- Protocol: Private
- Port: 80
- User Name: admin
- Password: [masked]
- Login status: Device login successful

Buttons: Modify, Cancel

ステップ 3：変更を保存するには、「変更」をクリックしてください。

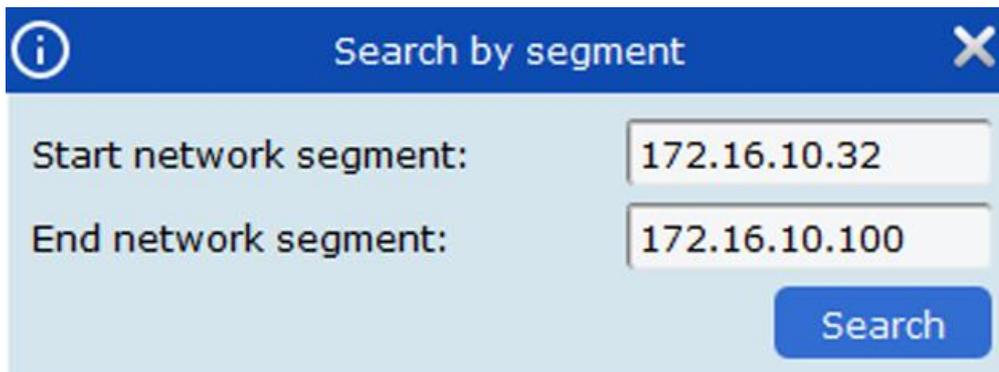
4.3 ネットワークセグメントによるデバイスの検索

ネットワークセグメントを設定することで、ネットワーク内のすべてのデバイスを検索して見つけることができます。

ステップ1：デバイス管理ページで、「自動検索」をクリックします。自動検索ページが表示されます。

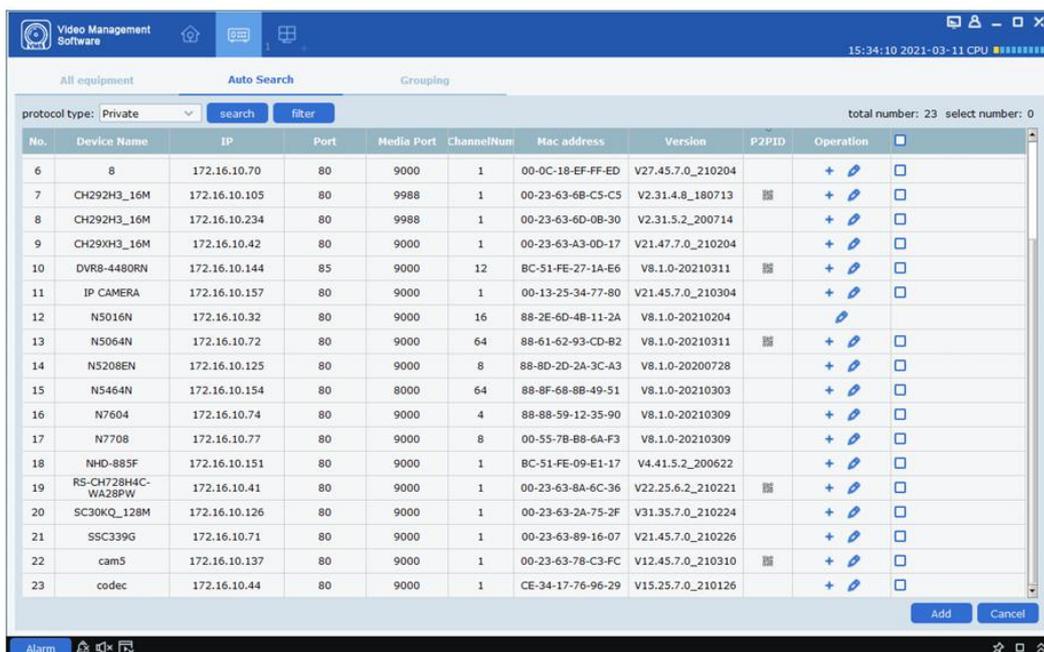
ステップ2：**filter** をクリックします。

次の図に示すように、「セグメントで検索」ダイアログボックスが表示されます：



ステップ3：必要に応じてネットワークセグメントを入力し、

「検索」をクリックします。検索結果は次の図のように表示されます。

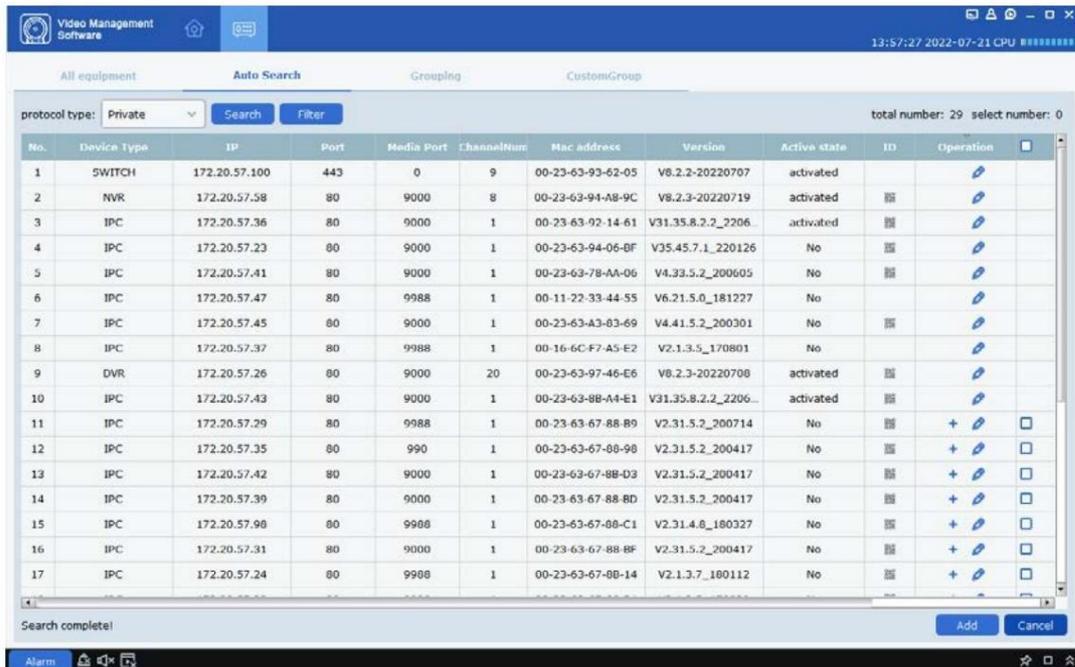


No.	Device Name	IP	Port	Media Port	ChannelNum	Mac address	Version	P2PID	Operation	
6	8	172.16.10.70	80	9000	1	00-0C-18-EF-FF-ED	V27.45.7.0_210204		+	<input type="checkbox"/>
7	CH292H3_16M	172.16.10.105	80	9988	1	00-23-63-68-C5-C5	V2.31.4.8_180713	攝	+	<input type="checkbox"/>
8	CH292H3_16M	172.16.10.234	80	9988	1	00-23-63-6D-0B-30	V2.31.5.2_200714		+	<input type="checkbox"/>
9	CH29XH3_16M	172.16.10.42	80	9000	1	00-23-63-A3-0D-17	V21.47.7.0_210204		+	<input type="checkbox"/>
10	DVR8-448ORN	172.16.10.144	85	9000	12	BC-51-FE-27-1A-E6	V8.1.0-20210311	攝	+	<input type="checkbox"/>
11	IP CAMERA	172.16.10.157	80	9000	1	00-13-25-34-77-80	V21.45.7.0_210304		+	<input type="checkbox"/>
12	NS016N	172.16.10.32	80	9000	16	88-2E-6D-4B-11-2A	V8.1.0-20210204			<input type="checkbox"/>
13	NS064N	172.16.10.72	80	9000	64	88-61-62-93-CD-B2	V8.1.0-20210311	攝	+	<input type="checkbox"/>
14	NS208EN	172.16.10.125	80	9000	8	88-8D-2D-2A-3C-A3	V8.1.0-20200728		+	<input type="checkbox"/>
15	NS464N	172.16.10.154	80	8000	64	88-8F-68-88-49-51	V8.1.0-20210303		+	<input type="checkbox"/>
16	N7604	172.16.10.74	80	9000	4	88-88-59-12-35-90	V8.1.0-20210309		+	<input type="checkbox"/>
17	N7708	172.16.10.77	80	9000	8	00-55-7B-8B-6A-F3	V8.1.0-20210309		+	<input type="checkbox"/>
18	NHD-885F	172.16.10.151	80	9000	1	BC-51-FE-09-E1-17	V4.41.5.2_200622		+	<input type="checkbox"/>
19	RS-CH728H4C-WA28PW	172.16.10.41	80	9000	1	00-23-63-8A-6C-36	V22.25.6.2_210221	攝	+	<input type="checkbox"/>
20	SC30KQ_128M	172.16.10.126	80	9000	1	00-23-63-2A-75-2F	V31.35.7.0_210224		+	<input type="checkbox"/>
21	SSC339G	172.16.10.71	80	9000	1	00-23-63-89-16-07	V21.45.7.0_210226		+	<input type="checkbox"/>
22	cam5	172.16.10.137	80	9000	1	00-23-63-78-C3-FC	V12.45.7.0_210310	攝	+	<input type="checkbox"/>
23	codec	172.16.10.44	80	9000	1	CE-34-17-76-96-29	V15.25.7.0_210126		+	<input type="checkbox"/>

4.4 プロトコルによるデバイスの検索

ステップ1：デバイス管理ページで「自動検索」をクリックします。

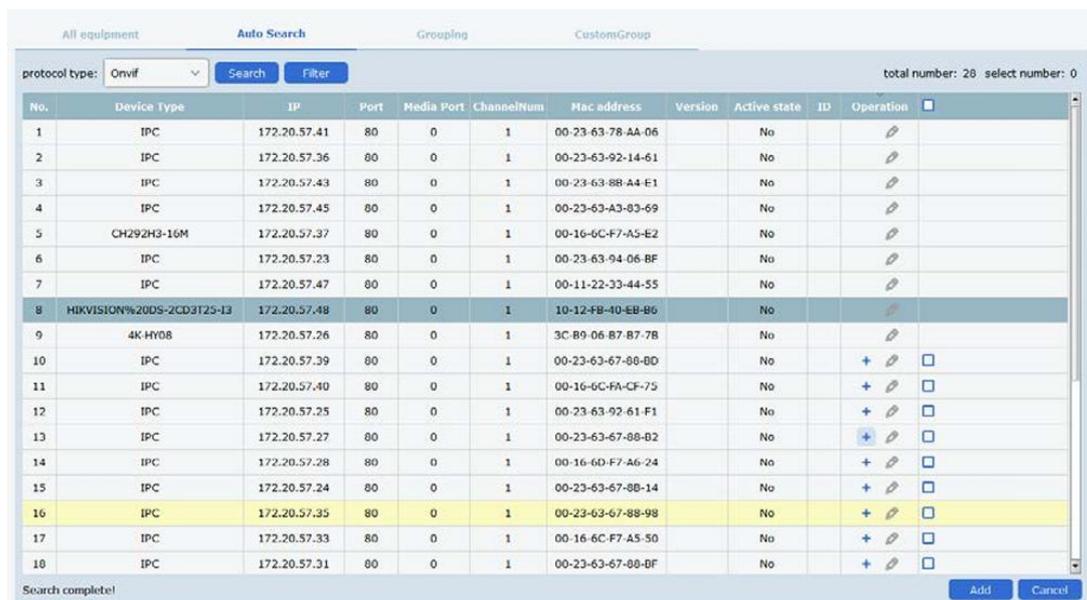
次の図に示すように、自動検索ページが表示されます。



ステップ2： protocol type: Private のドロップダウンリストから

Onvif、Hikvision、Dahuaなどの他のプロトコルを選択し、「検索」をクリックします。

検索結果は下図のように表示されます。



ステップ3：必要なデバイスを追加します。詳細な操作については、セクション4.1「デバイスの追加」を参照してください。

4.5 デバイスの削除

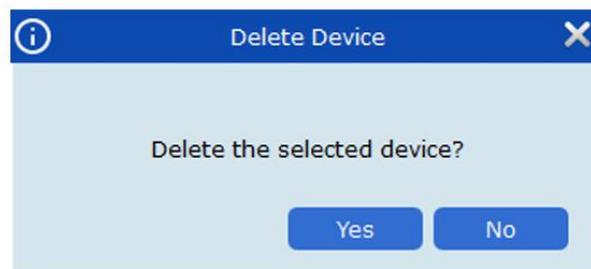
追加したデバイスを管理する必要がない場合は削除してください。

単一のデバイスを削除することも、複数のデバイスを一括で削除することもできます。

1. 1 つのデバイスを削除します。

ステップ1：デバイス管理ページで、削除したいデバイスを見つけ、その横にあるボタン  をクリックします。

次の図に示すように、ダイアログ ボックスが表示されます。



ステップ 2：デバイスを削除するには[はい]をクリックしてください。

削除をキャンセルするには、「いいえ」をクリックします。

2. デバイスを一括削除します。

ステップ1：デバイス管理ページで、削除したいデバイスの前にあるチェックボックスを選択します。

ステップ 2：右上隅の  をクリックしてください。ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3：選択したデバイスを削除するには、「はい」をクリックしてください。

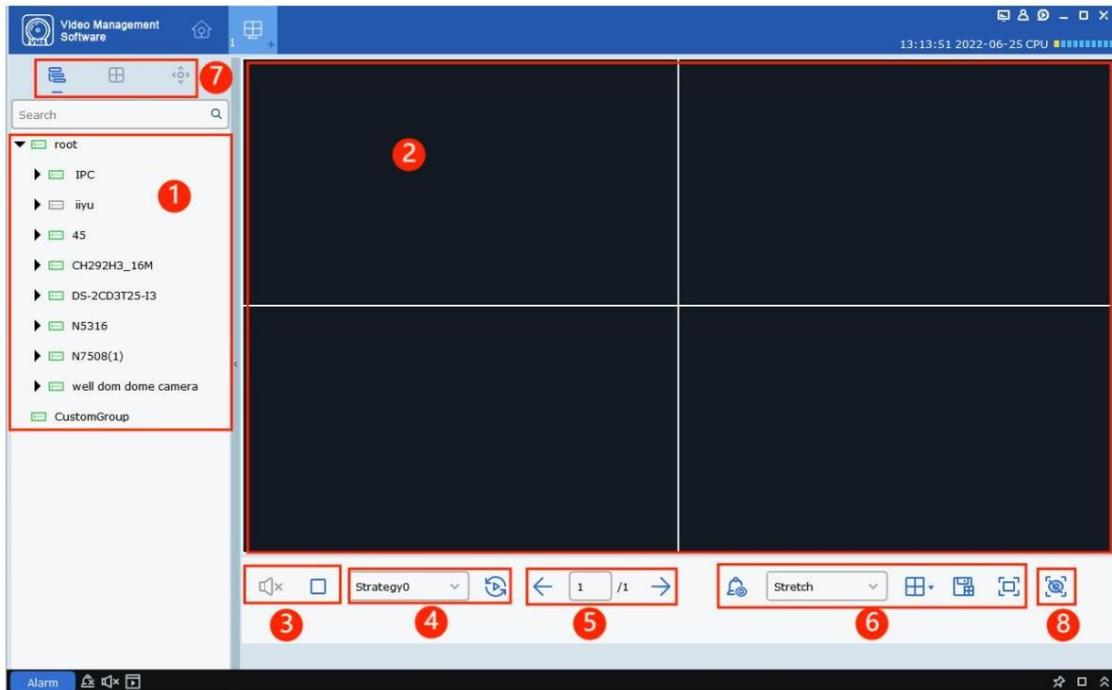
削除をキャンセルするには、「いいえ」をクリックします。

第5章 プレビュー

VMS Proにデバイスを追加した後、プレビューページに移動してリアルタイムで映像を確認できます。

5.1 インターフェースの紹介

このセクションでは、各部分と機能をエリア別に説明します。



メインメニューから「メインビュー」を選択して、プレビューページに移動します。

プレビューページの機能については、以下の表に説明されています。

NO.	アイテム	説明
1	デバイスツリー	グループはデフォルトで分けられています。グループを開くにはダブルクリックしてください。グループには追加されたデバイスが含まれています。デバイスやチャンネルをドラッグするか、チャンネルをダブルクリックしてプレビューします。 右クリックでメインストリームを選択したり、すべてのチャンネルを開閉したり、再生やインターコムを開始したり、チャンネル名を同期したりできます。
2	プレビューウィンドウ領域	動画を視聴したり、ウィンドウを複数の方法で分割したりできます。動画を閲覧しているときは、画像をキャプチャしたり、動画を録画したり、クルーズビューを有効にしたり、音声インターコムを使用したり、デジタルズームを使用したりすることができます。 詳細な操作については、セクション5.2「リアルタイムプレビュー」を参照してください。
3	オーディオコントロールエリア	サウンドを制御し、すべてのウィンドウを停止します。
4	クルーズ選択エリア	クルーズプランが存在する場合、このエリアでクルーズを有効にするために、クルーズプランを選択できます。
5	ページ切り替えエリア	プレビューページに複数のページが存在する場合、ページを切り替えることができます。

6	ビデオ比率：ウィンドウ番号の設定とビュー作成エリア	 ：プレビューウィンドウからアラームと録音の識別子を削除します。
		 ：アスペクト比を調整します。
		 ：全画面モードで表示します。
		 ：ウィンドウの数を調整します。
		 ：複数の固定デバイスが接続されていて、その監視ウィンドウを頻繁にプレビューする必要がある場合は、プレビューウィンドウを有効にしてビューとして保存できます。後でビューを開くと、複数のデバイスのウィンドウをプレビューできます。作成されたビューは、デバイスリストのビュータブに追加されます。また、このビューはクルーズプランにも追加できます。
7	リストスイッチエリア	 ：アイコンをクリックしてビュータブに移動し、カスタムビューを確認してください。  ：アイコンをクリックすると、PTZ コントロール タブに移動し、PTZ を通じてデバイスを操作します。
8	インテリジェントなアラーム表示	 ：サイドバーでアラームポップアップをクリックして、VMS Pro に追加されたデバイスからのインテリジェントアラームを表示します。

5.2 リアルタイムプレビュー

カメラ画像をリアルタイムで表示したり、ビデオをローカルで録画したり、画像をキャプチャしたり、音声通話を使用したり、デジタルズームを使用したりできます。

1. プレビューを有効にします。

プレビューを有効にするには、次のいずれかの方法を使用します。

- プレビューウィンドウを選択し、デバイスリストエリアで目的のデバイスをダブルクリックします。

- デバイス一覧から目的のデバイスをプレビューウィンドウにドラッグします。
- デバイスグループを右クリックし、デバイスチャンネルのウィンドウを選択します。
- デバイスグループを右クリックし、デバイスチャンネルのウィンドウを選択し、プレビューを開きます。

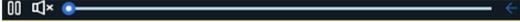
注: プレビューを有効にすると、以下のすべてのカメラのプレビューも有効になります。

2. プレビューを操作します。

プレビューモードでサポートされている操作を次の表に示します。

番号	項目	説明	操作
1	手動録画	手動での録音をローカルストレージに保存する。	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択します。</p> <p>録画を開始するにはウィンドウの  をクリックするか  を右クリックして Start record を選択します。</p> <p>録画を止めるには再び  をクリックするか、  を右クリックして Stop record を選択します。</p> <p>注:録画の保存パスを設定するには、設定領域に移動して「システム設定」をクリックします。</p>
2	手動キャプチャ	手動で画像をキャプチャします。	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択します。</p> <p>手動で画像をキャプチャするにはウィンドウの  をクリックするか、  Capture を右クリックして選択します。</p> <p>注：イメージの保存パスを設定するには、設定エリアに移動して「システム構成」をクリックします。</p>

3	音声通話	接続されたデバイスで通話を使用する	<p>音声通話を開始するには、プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、ウィンドウの  をクリックするか  を右クリックして Start talk を選択します。</p> <p>音声インターホンを停止するには、再度  をクリックするか  を右クリックして Stop talk を選択します。</p> <p>注：クライアントとデバイス間の音声インターホンはサポートされています。</p>
4	デジタルズーム	ビデオ内の選択した領域を拡大します。	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、ウィンドウの  をクリックします。</p> <p>プレビューウィンドウをクリックして押し続けて興味ある部分を選択します。その部分は何度も拡大できます。</p> <p>デジタルズームを閉じるには再度  をクリックします。</p>
5	タグを追加	時間タグを追加	<p>プレビューまたは再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。</p> <p>ウィンドウ下部の  をクリックします。</p> <div data-bbox="850 1155 1289 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Add Tag</p> <p>Channel CH1</p> <p>Tag Time 03/01/2021 11:08:17</p> <p>Tag Name <input type="text" value="Tag"/></p> <p style="text-align: center;">Save Cancel</p> </div> <p>ビデオのライブビューまたは再生画面を開きます。</p> <p> をクリックして画面下部のメニューバーからタグイベント確認メニューをポップアップします。</p>

6	クイック再生	現在再生中の録画を見る前に10分前の録画を再生します。	<p>クイック再生を開始するには、プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、ウィンドウの  をクリックします。</p> <p></p> <p>再生を一時停止するには  をクリックします。</p> <p>音声を有効/無効にするには  をクリックします。</p> <p>再生を停止してプレビュー画面に戻るには  をクリックします。</p> <p>再生位置を選択するには進行バーをドラッグすることもできます。</p>
7	一つのウィンドウを閉じる	無し	閉じたいウィンドウを右クリックして  を選択します。
8	全てのウィンドウを閉じる	無し	デバイスグループを右クリックして、 Open all ch を選択します。
9	全画面モード	指定したウィンドウを全画面モードにする	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、 を右クリックして Fullscreen を選択します。</p> <p>フルスクリーンにする必要があるウィンドウを開くにはダブルクリックしてください。</p> <p>または、フルスクリーンにする必要があるウィンドウをダブルクリックします。</p> <p>フルスクリーンモードに戻るには  を右クリックして Fullscreen を選択します。</p>
10	ウィンドウ比率の調整	アスペクト比を調整する	ウィンドウ比率を調整するにはビデオウィンドウの右下隅で Stretch  を選択します。
11	ウィンドウの選択	ページのウィンドウの数を選擇する	ウィンドウの数を設定するには、ビデオウィンドウの右下隅で  を選択してください

12	画像調整	<p>チャンネルの明るさ、コントラスト、彩度、色相を調整します。</p> <p>チャンネル名を変更したり、日付や時間を設定することもできます。</p>	<p>1.プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択し、 Video setting をクリックします。</p> <p>2.ビデオ設定のダイアログボックスが表示されます。</p> <p>3.  で「色相」を調整し、  で「名前」を調整し、必要に応じて画像の色を調整する</p>
13	魚眼ビューモード	<p>魚眼デバイス専用です。</p> <p>魚眼の設置モードは表示モードに関連しています。</p> <p>設置モードが異なると、表示モードを異なります。</p>	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択してください。</p> <p> Fisheye を選択して右クリック。</p> <p>実際の状況に応じて必要な表示モードを選択してください。</p> <p>詳細については、第9章『魚眼ビューモード』をご覧ください。</p>
14	魚眼レンズ取付モード	<p>魚眼デバイスでのみ利用可能です。</p> <p>デバイスのインストールに基づいてインストールモードを選択してください。</p> <p>魚眼レンズの取付モードには次のものがあります。</p> <p> : 天井取り付け</p> <p> : 壁取り付け</p> <p> : 床取り付け</p>	<p>プレビューが有効になっているビデオウィンドウを選択してください。</p> <p>魚眼モードを設定するには  Fisheye を右クリックしてください。</p> <p>デバイスのインストールに基づいてインストールモードを選択してください。</p> <p>詳細については、第9章『魚眼ビューモード』をご覧ください</p>
15	チャンネルストリームの種類を切り替える	<p>サポートされているストリームタイプには、メインストリーム、サブストリーム、モバイルストリームが含まれます。</p>	<p>デバイスチャンネルを見つけ、右クリックして目的のデバイスを選択し、必要に応じてストリームタイプを選択します。</p>
16	ワンクリックで全てのチャンネルのストリームタイプを切り替える	<p>サポートされているストリームタイプには、メインストリーム、サブストリーム、モバイルストリームが含まれます。</p>	<p>デバイスグループで、目的のデバイスを右クリックして選択すると、すべてのチャンネルストリームタイプをワンクリックで必要なストリームタイプに変更できます。</p>

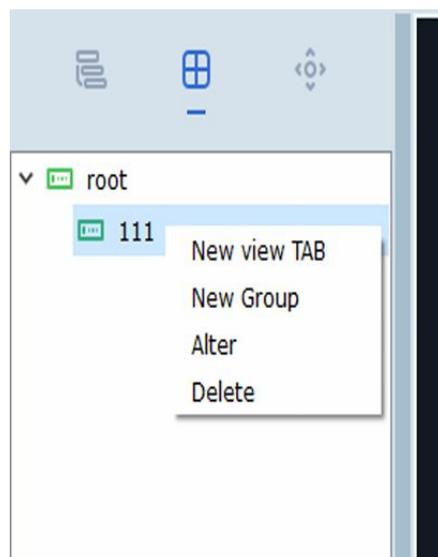
2. 監視ウィンドウの数を調整する

 をクリックしてウィンドウ設定領域で、表示ウィンドウの数を調整します。



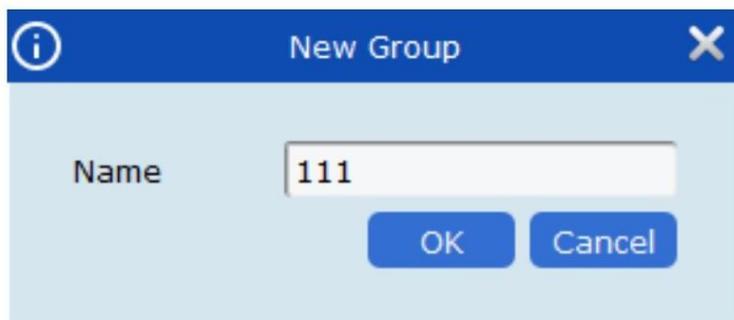
5.3 表示タブ

プレビューページで、 をクリックして表示ページに移動し、カスタムビューの設定や確認を行えます。



1. グループを追加

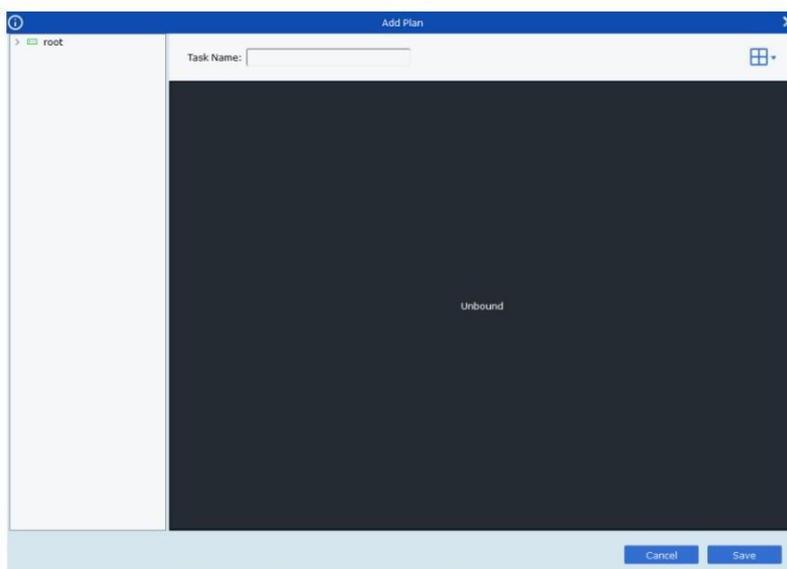
表示タブのルートをクリックしてメニューを開きます。ルートからのみグループを追加できます。次の図に示すように、「新しいグループ」をクリックします。



グループに名前を付けて「OK」をクリックし、グループを作成します。

2. ビュータブを追加します。

カスタムグループ内で右クリックし、「新しいビュータブ」を選択します。ビュータブページは次の図のようになります。



 をクリックして右上隅で必要な分割ビューを選択します。左側のデバイスツリーでチャンネルを選択して「Unbound」ビューエリアにドラッグすると次のようになります。

**Channel Name: Camera11;
Stream Type: Sub Stream;**

こればバインドが成功したことを示します。右クリックして選択してください。

バインディング関係を解除するには、解除してください。

すべてのバインディングを解除して、すべての結びつきをキャンセルします。

メインストリームを設定すると、チャンネルがメインストリームに設定されます。

サブストリームを設定すると、チャンネルがサブストリームに設定されます。

モバイルストリームを設定すると、チャンネルがモバイルストリームに設定されます。

Task Name: で名前をカスタマイズし、 [Save](#) を
クリックしてビュータブを保存する

3. ビュータブを変更または削除する。

ビュータブの内容で[変更]を選択して、ビュータブまたはグループを変更します。

ビュータブの内容で[削除]を選択して、ビュータブまたはグループを削除します。

4. 表示タブのプレビューを切り替えます。

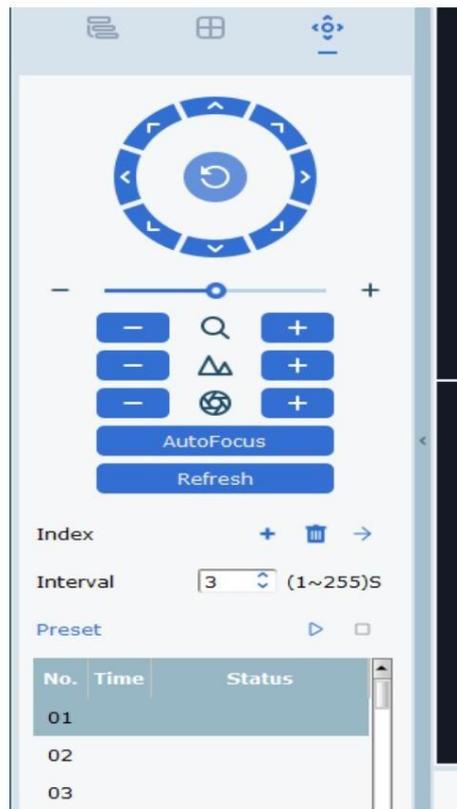
複数のビュータブを追加した後、ビュータブをダブルクリックすると、プレビューをすばやく切り替えることができます。

5.4 PTZ制御

1. PTZページ：

プレビューページで、 をクリックしてPTZ制御プレーンに移動します。

PTZ でサポートされる機能はデバイスによって異なります。

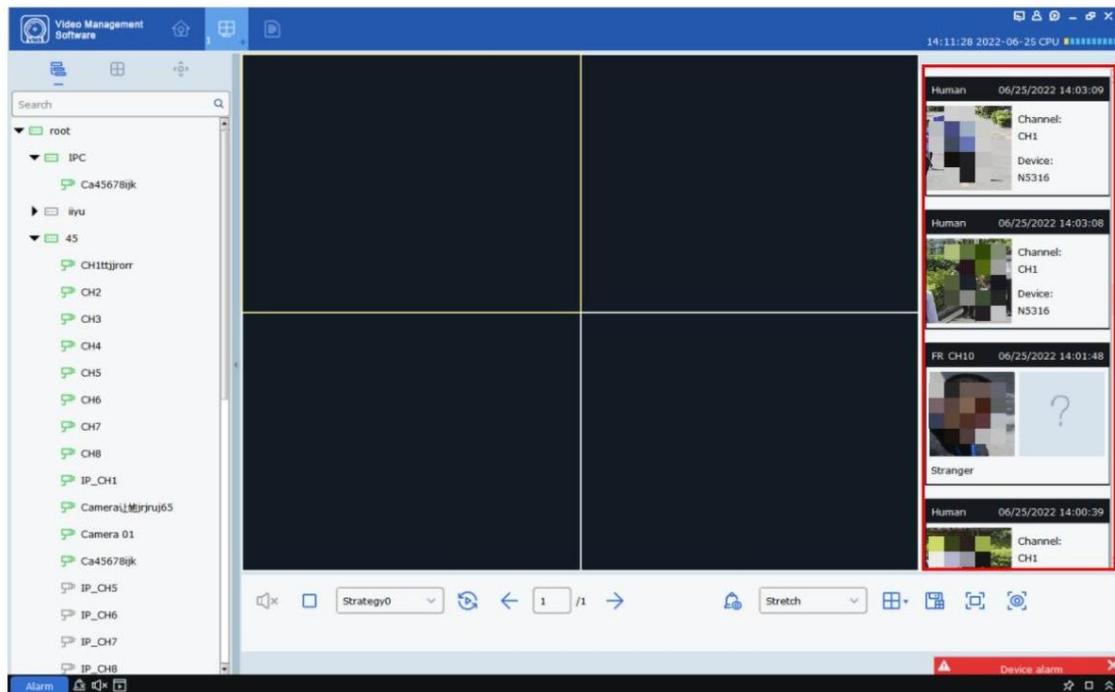


NO.	項目	説明
1	PTZ制御プレーン	 <p>PTZウィンドウを選択し、視点を調整する方向のいずれかをクリックしてください。</p> <p>PTZウィンドウを選択し、 をクリックして自動スキャンを有効にします。もう一度アイコンをクリックすると、自動スキャンが停止します。</p>
2	ズーム、フォーカス、アイリスを調整してください。	 <p>ズームとフォーカススピードを調整します。</p> <p>ズーム、フォーカス、アイリスを調整します。</p>
3	オートフォーカス	<p>オートフォーカス: 自動焦点合わせ; 更新: 操作を更新; デフォルト: デフォルト値を復元する。</p>
4	クルーズ	 <p> をクリックしてポジションを追加、 をクリックしてポジションを削除、 をクリックしてポジションを動かします。</p>

5.5 サイドバーのAIアラーム画像

インテリジェントアラーム表示ボタン  をクリックしてください。

その後、スマートデバイスからのアラーム通知がページの右側に表示されます。



アラーム通知からアラームイベントを選択します。右クリックすると、イベント情報を表示したり、関連する録画を再生したりできます。

再生：再生ウィンドウを開いて録音を再生します。

詳細情報：次の図を参照してください。

i
Detail Information
✕

Snapped information:



Snapped Device: 172.16.16.106

Snapped Channel RS-CH852H7C33-AP

Start time 2022-09-14 10:36:32

End time 2022-09-14 10:36:41

Type
Human



スナップデバイス：キャプチャデバイス

スナップチャンネル：キャプチャチャンネル開始時間

開始時間：アラームの開始時間

終了時間：アラームの終了時間タイプ:

種類：アラームの種類

顔キャプチャでは、人物に関する追加情報ti表示されます。キャプチャした画像に「不一致」と表示される場合は、比較画像が存在しないことを意味します。追加情報には、性別、年齢、表情、マスクや眼鏡の着用の有無などが含まれます。

Gender	Female
Age	23
Glasses	Exist
Mask	Exist
Expression	Expressionless

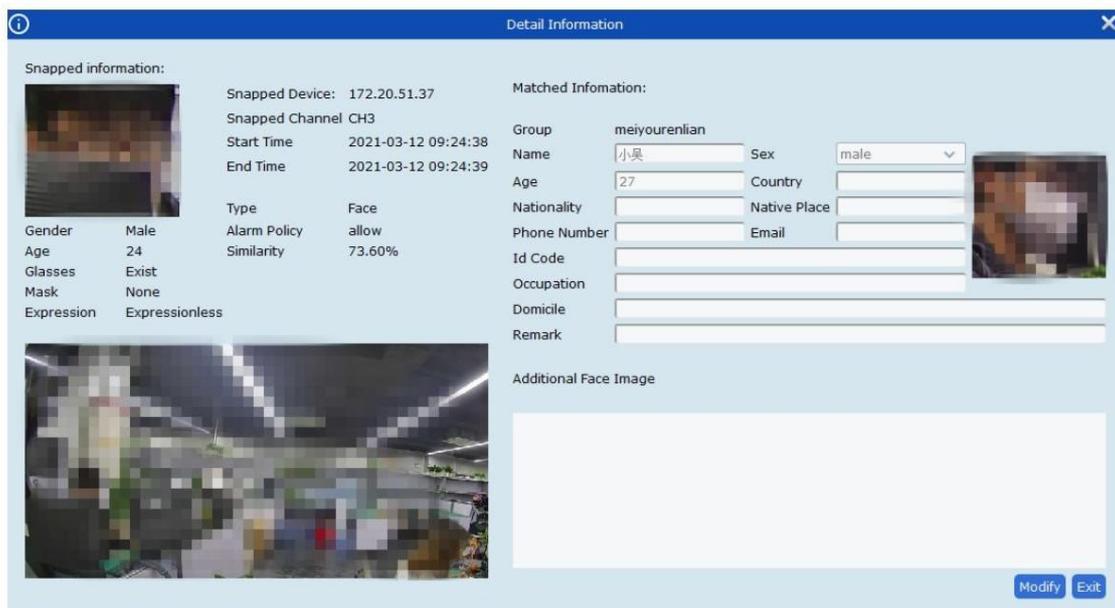
必要に応じて、画像を右クリックして顔グループに追加します。

顔グループ内に比較画像が存在する場合は、次の図が表示されます。



グループと類似度が表示されます。

必要に応じて、画像を右クリックして顔グループ情報を変更します。詳細を展開すると、次の図に示すように詳細な比較が表示されます。



第6章 クルーズ設定

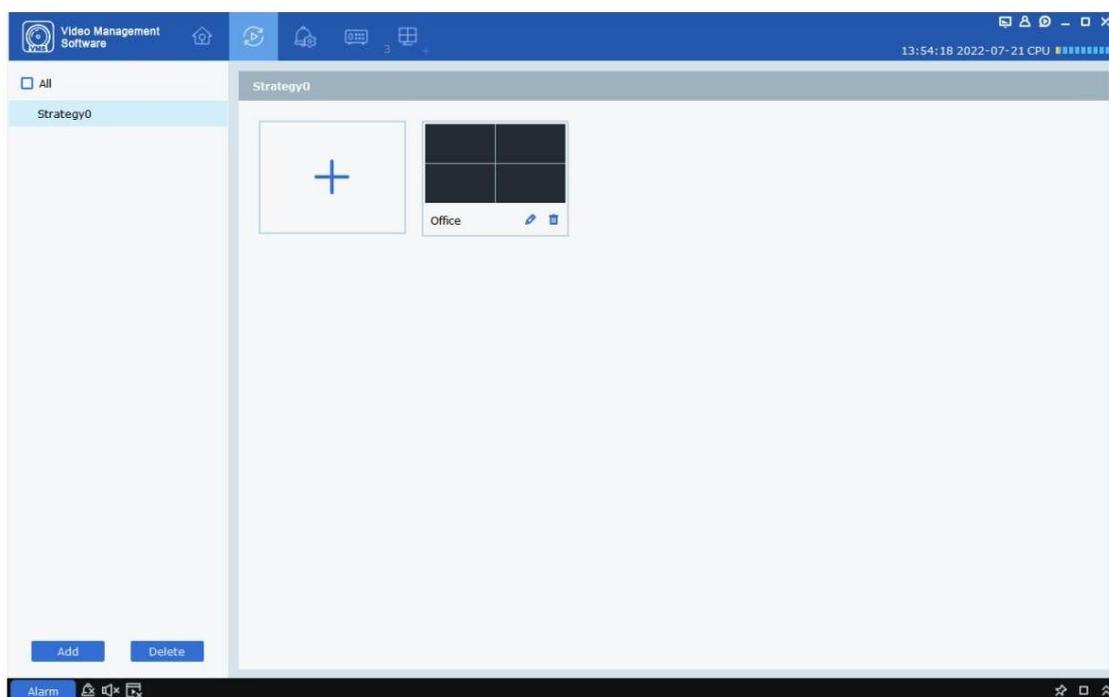
クルーズプランを設定することで車窓クルーズを実現します。

6.1 クルーズプランの設定

ステップ 1：メインメニューから[クルーズ設定]を選択して、次の図に示すようにクルーズ設定ページに移動します。

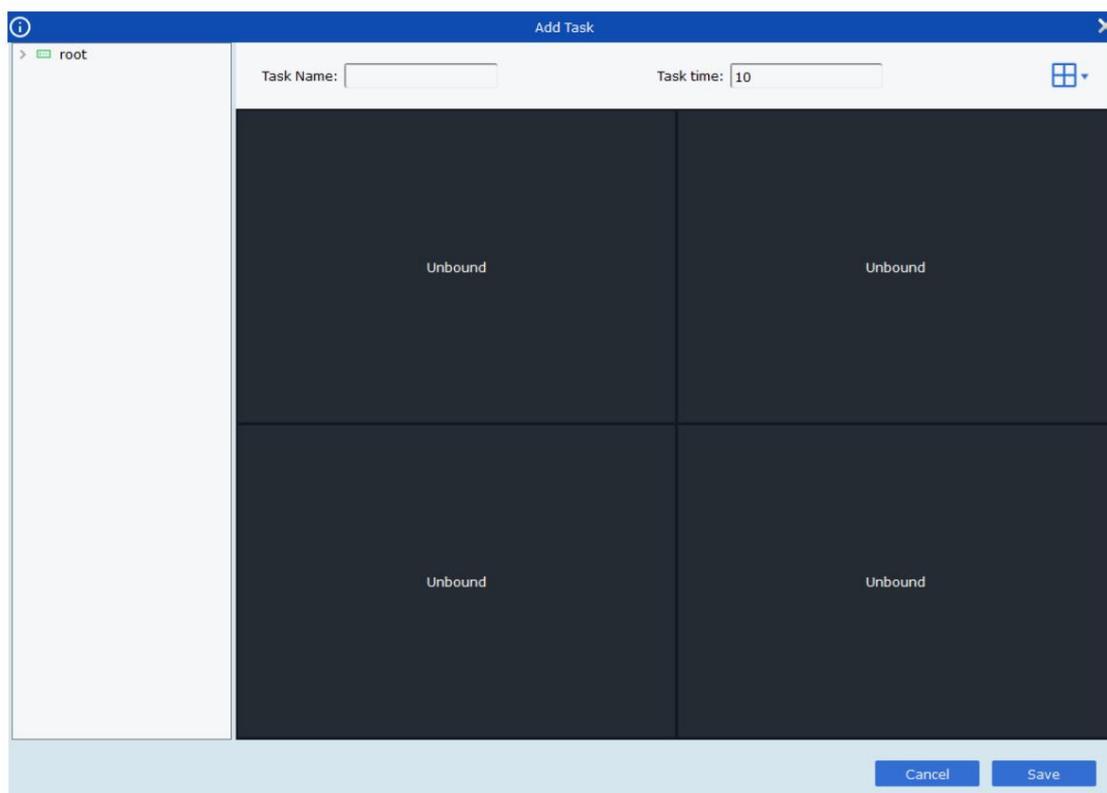
システムはデフォルトでStrategy0というクルーズプランを作成します。名前を変更するには、 をクリックします。

 をクリックしてプランを削除します。

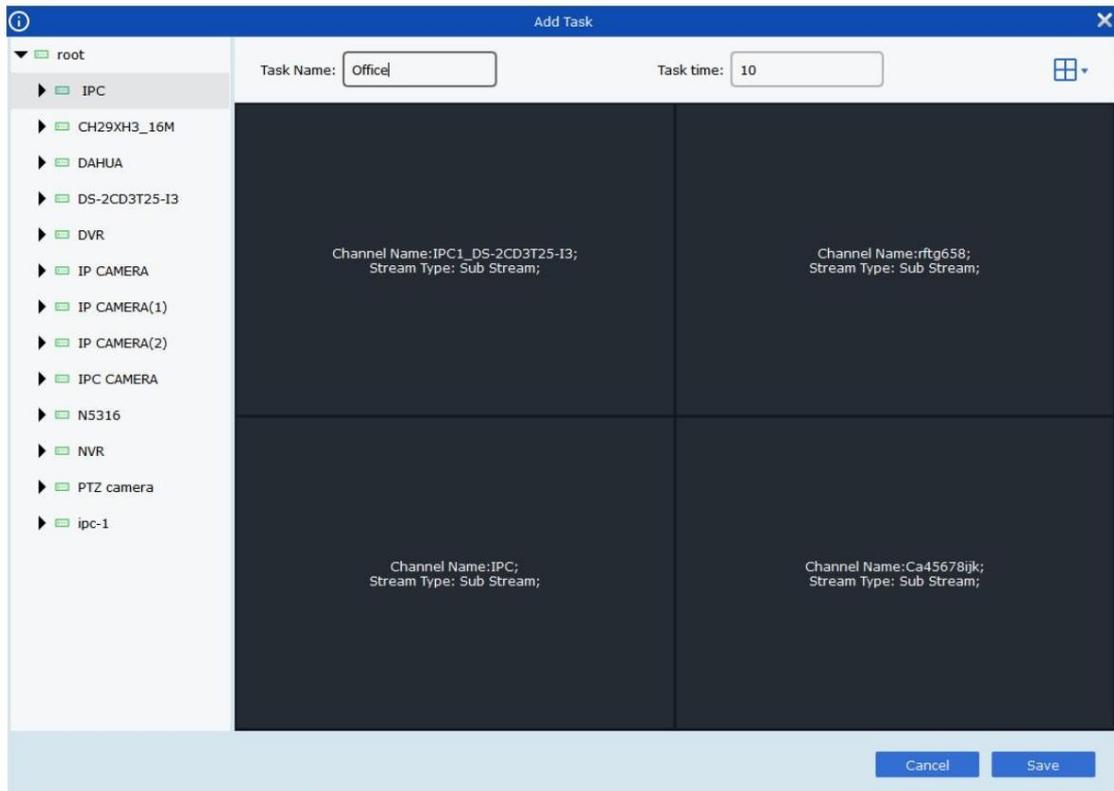


ステップ 2 : タスクを設定します。複数のタスクを設定できます。

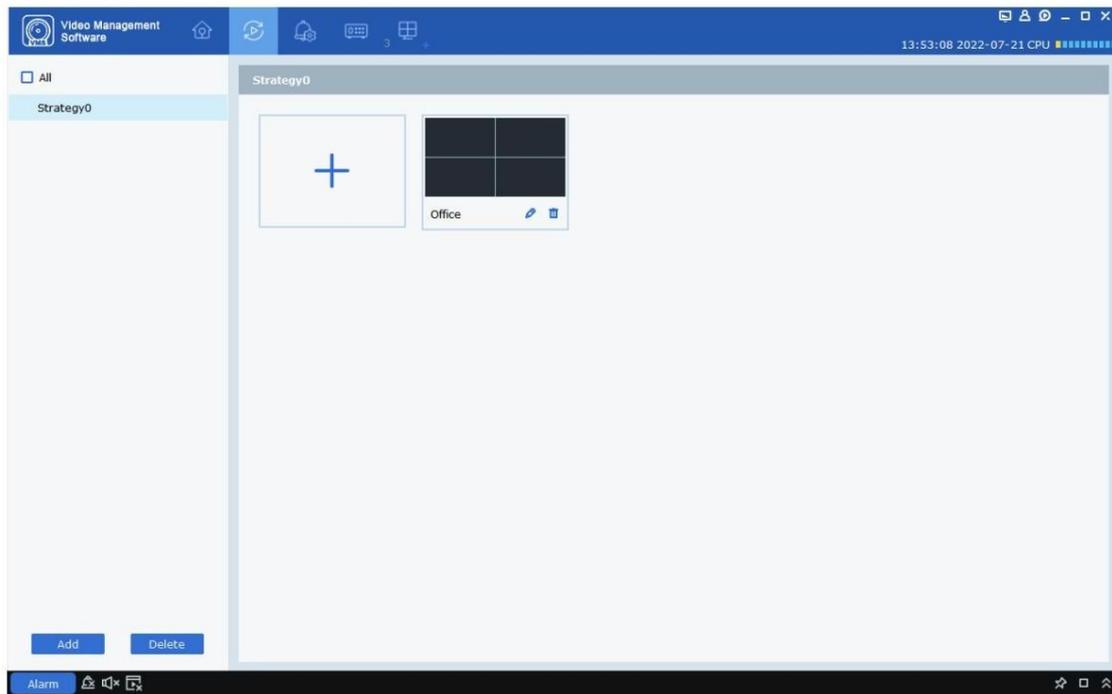
- (1)  をクリックします。次の図に示すように、「タスクの追加」ページが表示されます。
- (2) タスク名とタスク時間を設定し、実際の状況に応じて巡航ウィンドウの数を選択する。



(3) デバイスチャンネルをビデオウィンドウにドラッグして希望の順序で配置します。チャンネルをドラッグした後、結合すると、次の図が表示されます。



(4) 次の図に示すように、「保存」をクリックしてクルーズプランの設定を完了します。



6.2 クルーズ開始

ステップ 1：メインメニューから[メイン ウィンドウ]を選択してプレビュー ページに移動します。

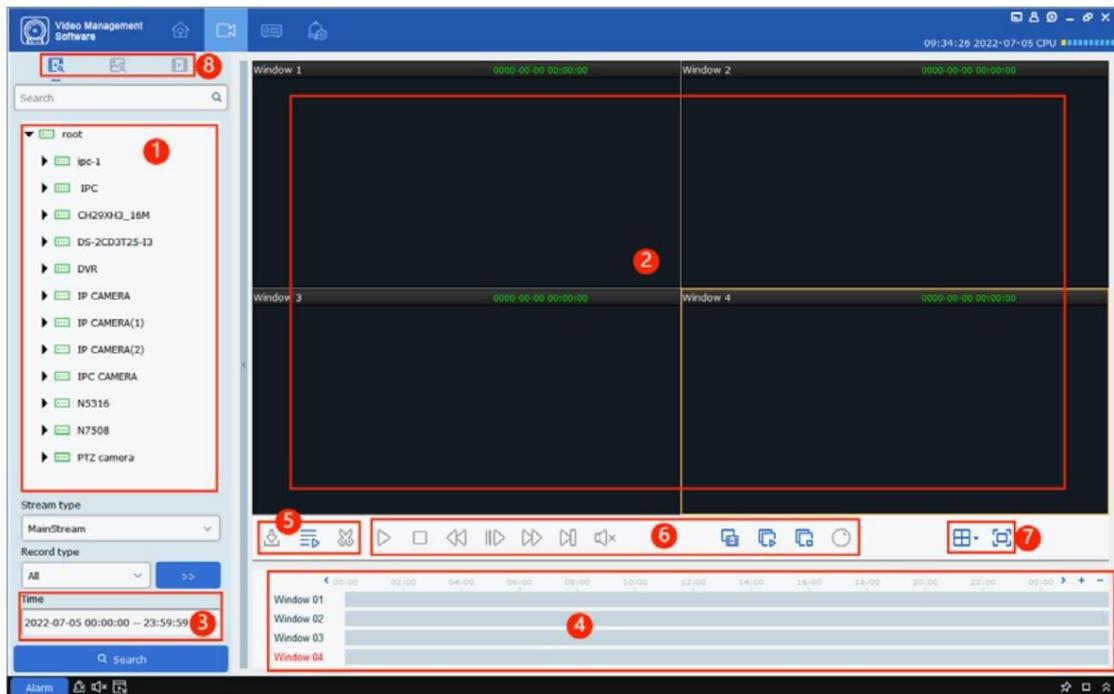
ステップ2：ページ下部の からクルーズプランを選択する

ステップ3：  をクリックしてクルーズプランを開始する

第7章 リモート再生

7.1 リモート再生の概要

メインメニューから「リモート再生」を選択して再生ページに移動し、次の図に示すように、デバイスの録画や画像を再生およびエクスポートできます。



ページ上の機能は、以下の表に記載されています。

NO.	機能	説明	操作	
1	再生ウィンドウ	録音が再生されるエリア	キャプチャ	録画が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。 画像をキャプチャするには  をクリックするか、  を右クリックして Capture を選択します。
			デジタルズーム	録画が有効になっているビデオウィンドウを選択し、  をクリックします。
			再生の停止	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択して  をクリックするか  を右クリックして Stop Play を選択します。
			録画	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。  をクリックするか、  を右クリックして Start record を選択します。
			魚眼レンズを有効にする	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択し、  をクリックまたは  を右クリックして Fisheye を選択します。
			フルスクリーンモード	 をクリックするか、  を右クリックして Fullscreen を選択します。
			タグを追加	  をクリックして再生のタグを追加します。

			スクリーンショット	 をクリックしてスクリーンショットを撮ります。 具体的には、左クリックを押したまま、プレイエリアの一部をドラッグして選択します。
2	リクエストタイム	録音や画像が記録される時刻	デバイスの記録のリクエスト条件を設定します。	デバイス タブで、デバイスまたはビューを選択した後、録画または画像検索を選択し、日付を選択します。 その日に録画がある場合は、日付の右下に下付き文字が表示されます。 次に、  からキャプチャタイプ、ストリームタイプ、開始時間と終了時間、同期再生するかどうかを設定します。 その後、「検索」をクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ● キャプチャの種類には、すべてのキャプチャ、通常のキャプチャ、I/O検出キャプチャ、動作検出キャプチャ、アラームキャプチャ、インテリジェントキャプチャ、通行人検出キャプチャ、手動キャプチャが含まれます。 ● ストリームにはメインストリームとサブストリームが含まれます。 ● 開始時間と終了時間の間隔は、1日以内でなければなりません。
			デバイス画像のリクエスト条件を設定します。	

3	時間進行エリア	既存の録音情報を表示する。	 : 再生進行バーの精度が向上します。  : 再生進行バーの精度が低下します。	
			 : プログレスバーを動かして領域を表示してください	
4	ダウンロード、同期再生、カット	必要に応じて、録音を再生、カット、またはエクスポートする	デバイスの録画をエクスポートする。	セクション7.3「デバイス記録の書き出し」を参照してください。
			デバイスの録画をカットする。	録画をカットするには、プログレスバーで開始点と終了点をドラッグしてください。
			同期再生	複数のチャンネルを選択し、同期再生ボタンをクリックして再生を押します。すべてのチャンネルの録画を同時に再生できます。
5	再生コントロールバー	録音の再生と音量を操作する。		すべてのチャンネルの録音を再生する。
				すべてのチャンネルの録音の再生を停止します。
				録音の再生を始める。
				録画再生を巻き戻す。
				録音の再生を一時停止する。
				録音の再生を停止する。
				録画を再生中にフレームを一つ進める。

				録音の再生を早送りする。
				音を有効または無効にする
				インテリジェント再生を使用する
				魚眼モードでプレイ
				録音の再生を遅くする。
6	ウィンドウ操作	ビデオウィンドウの表示モードを設定します。		表示モードとビデオウィンドウの数を選択してください。
				ビデオウィンドウの全画面モードを選択してください。
7		録音と画像の再生を切り替えます。		録音再生ページに移動します
				画像再生ページに移動し、セクション7.4「デバイス画像の再生」を参照してください。
				タグ別の再生ページに移動してください。

7.2 デバイス記録の再生

前提条件:

選択したデバイスチャンネルには録画があります。

手順:

ステップ 1: リモート再生ページの  タブを選択します。

ステップ 2: デバイスグループでデバイスチャンネルを選択してください。

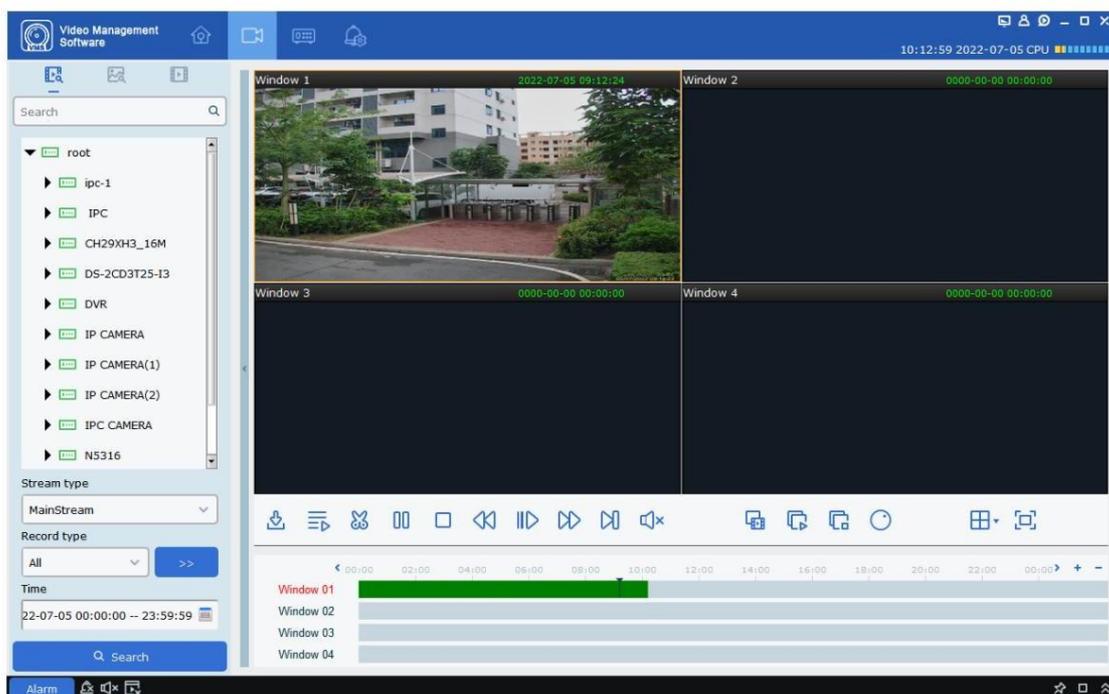
ステップ 3: 録画のリクエスト条件を設定します。

1. 録画タイプ、ストリームタイプ、日時を選択します。

2. 「検索」をクリックします。すると、録画の進行状況バーが時間経過表示エリアに表示されます。

ステップ 4: 次の図に示すように、録画のあるウィンドウを選択し、  をクリックします。

すると、録音が再生され始めます。以下の図に示すように:



7.3 デバイスの録画をエクスポートします。

前提条件:

選択したデバイスチャンネルには録画があります。

1. 録画を切り取ってダウンロードする:

ステップ 1: リモート再生ページの  タブを選択します。

ステップ 2: デバイスグループ内のデバイスチャンネルを選択します。

ステップ 3: 録画のクエリ条件を設定します。

1. 録画タイプ、ストリームタイプ、日時を選択します。

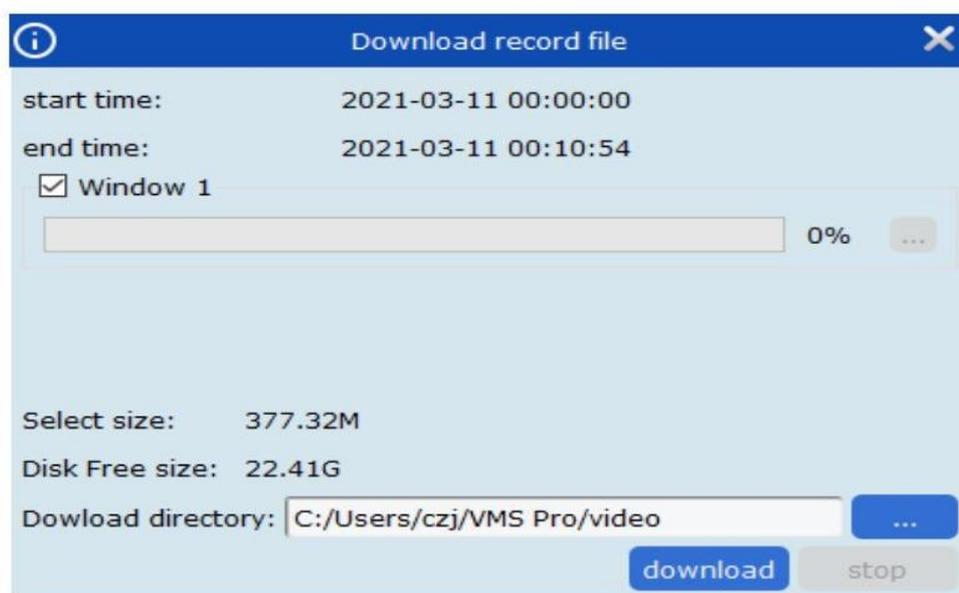
2. 「検索」をクリックします。すると、録画の進行状況バーが時間経過表示エリアに表示されます。

ステップ 4: 録画したウィンドウを選択し、  をクリックします。すると録画の再生が始まります。

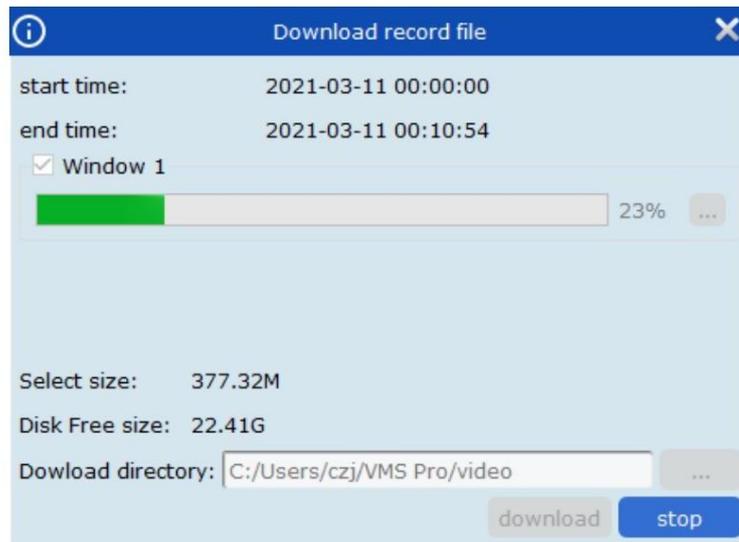
ステップ 5:  をクリックして必要に応じて進行状況バーで録画の一部を切り取ります。

 をクリックして切り取った録画をエクスポートします。

次の図に示すように、ダイアログボックスが表示されます。



ステップ6: エクスポートパスを指定します。「ダウンロード」をクリックします。エクスポートの進行状況が表示されます。



ステップ7: 切り取った録画をエクスポートしたら、ウィンドウを閉じます。

2. ファイル時間を記録してダウンロードする:

ステップ 1 : リモート再生ページの  タグを選択します選択

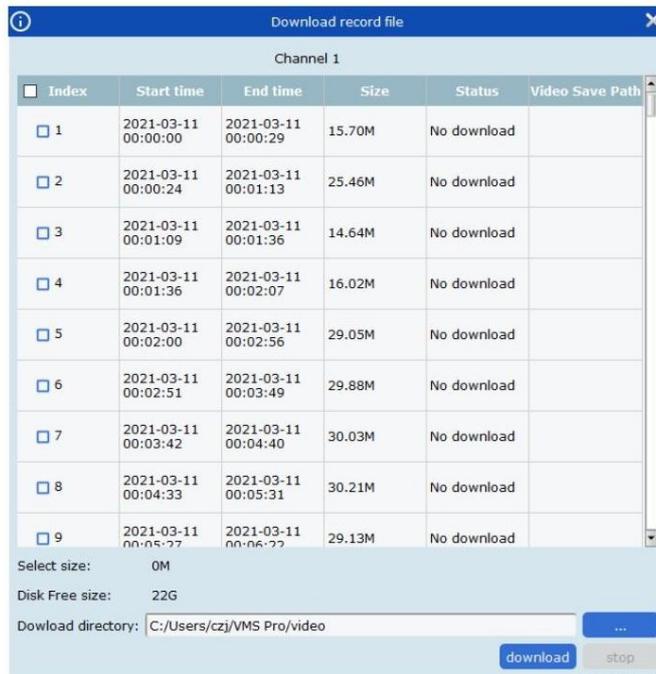
ステップ 2 : デバイス グループ内のデバイス チャンネルを選択します。

ステップ 3 : 録音のリクエスト条件を設定します。

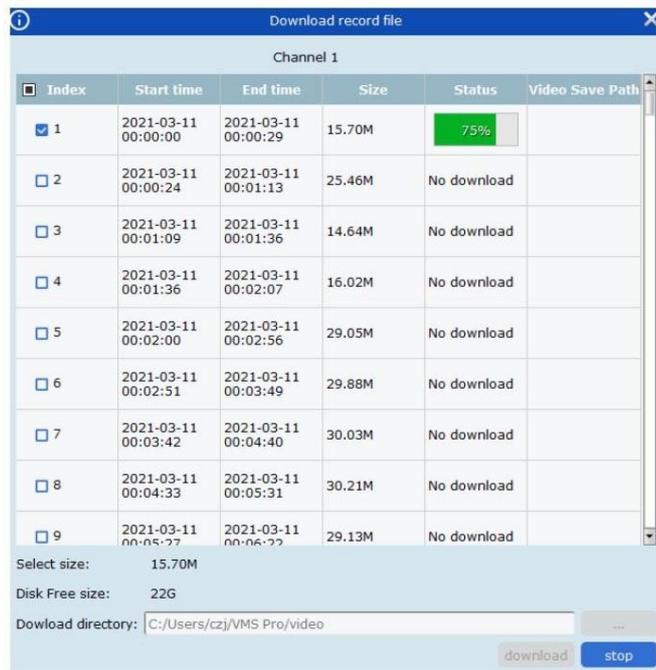
1. 録画タイプ、ストリームタイプ、日時を選択します。

2. 「検索」をクリックします。すると、録画の進行状況バーが時間経過表示エリアに表示されます。

ステップ4：録画のあるウィンドウをクリックし、再生コントロールツールバーで  をクリックします。
 すると、次の図に示すように、その日のチャンネルのすべての録画が表示されます。



ステップ5：期間に応じて必要な録画を選択し、エクスポート先を指定します。「ダウンロード」をクリックします。
 すると、エクスポートの進行状況が表示されます（下図参照）



7.4 デバイス画像の再生

前提条件:

選択したデバイスチャンネルには録画があります。

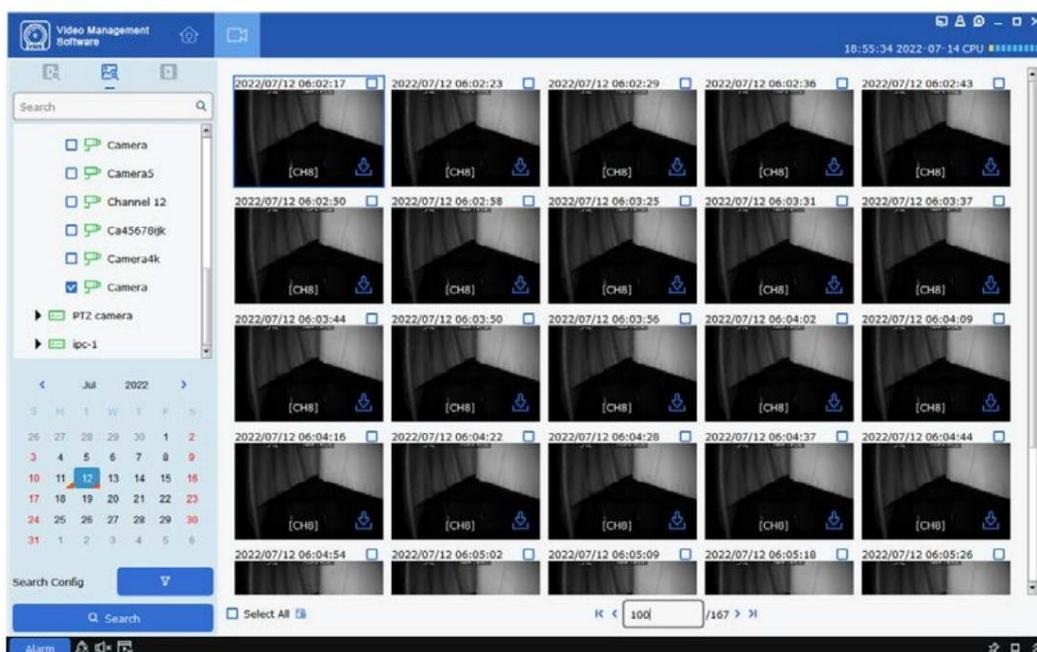
手順:

ステップ1: リモート再生ページの  タブを選択します。

ステップ2: デバイスグループ内のデバイスチャンネルを選択します。

ステップ3: 画像のクエリ条件を設定する。

1. 録画タイプ、ストリームタイプ、日時を選択します。
2. 「検索」をクリックします。次の図に示すように、デバイスグループの右側に画像が表示されます。



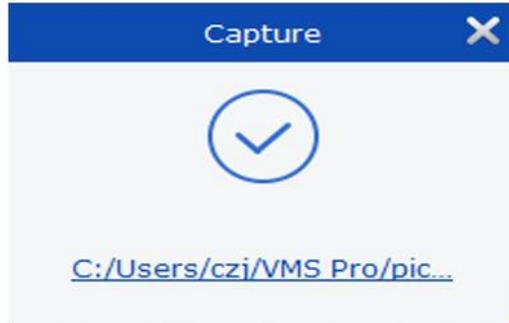
ステップ4: 画像を再生します。

 をクリックしてページを切り替えます。

7.5 デバイスイメージのエクスポート

画像再生ページで、画像の右下隅に表示される  をクリックします。

画像がエクスポートされると、次の図に示すようにダイアログボックスが表示されます。



また、画像の右上隅にあるチェックボックスを選択することもできます。

または **Select All** をクリックしてすべての画像を選択します。  をクリックして画像を一括保存します。

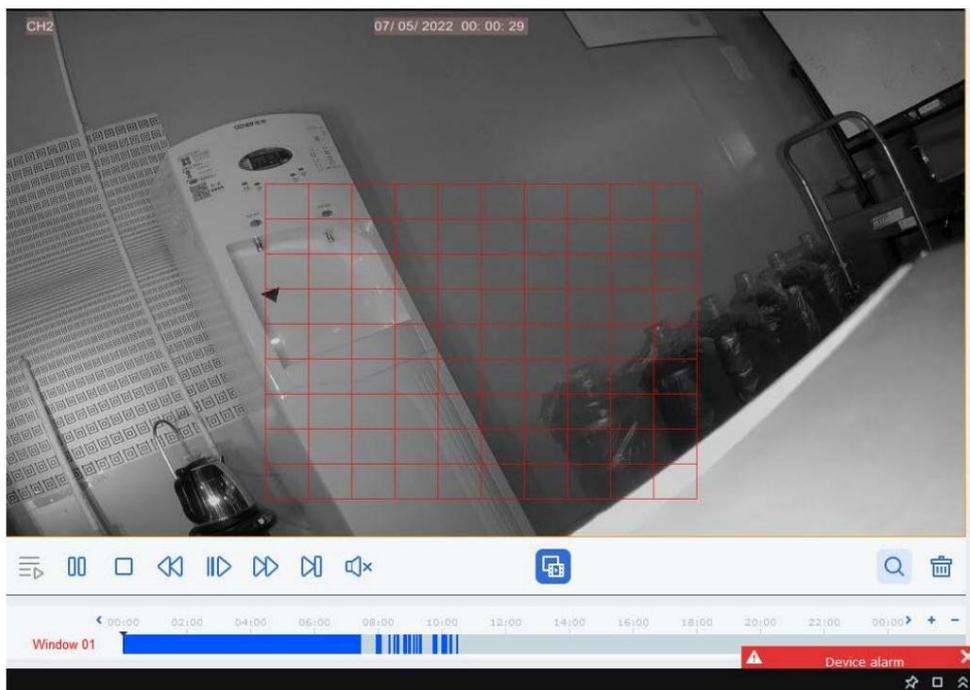
注：画像の保存パスを設定するには、メインメニューで[システム構成]を選択します。

7.6 インテリジェント検索を使用した録音の再生

録音の再生を停止し、  をクリックして再生ページでインテリジェント検索に入ります。

インテリジェント検索を使用する場合、再生できるのは1つのチャンネルの録画のみです。

録画がある期間はタイムライン上で青色で表示されます。



再生中にウィンドウをクリックし、検索が必要な領域をドラッグして選択します。

 をクリックして選択した領域でインテリジェントな再生を実現します。

 をクリックしてエリアを削除するにはクリックします。  をクリックしてインテリジェント再生を終了します。

7.7 タグを使用して録音を再生する

前提条件:

プレビューまたは再生中にタグが追加されました。

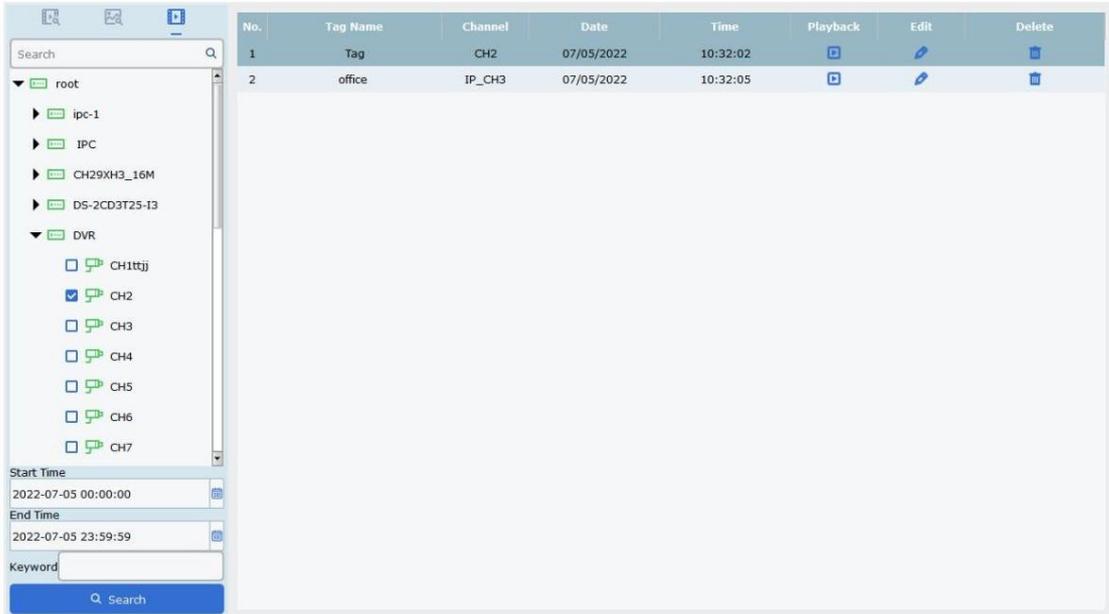
手順:

ステップ 1: リモート再生ページの  タブを選択します。

ステップ 2: デバイスグループ内のデバイス チャンネルを選択します。

ステップ 3: 期間を選択し、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

キーワードを入力しない場合は、利用可能なすべてのタグが検索されます。

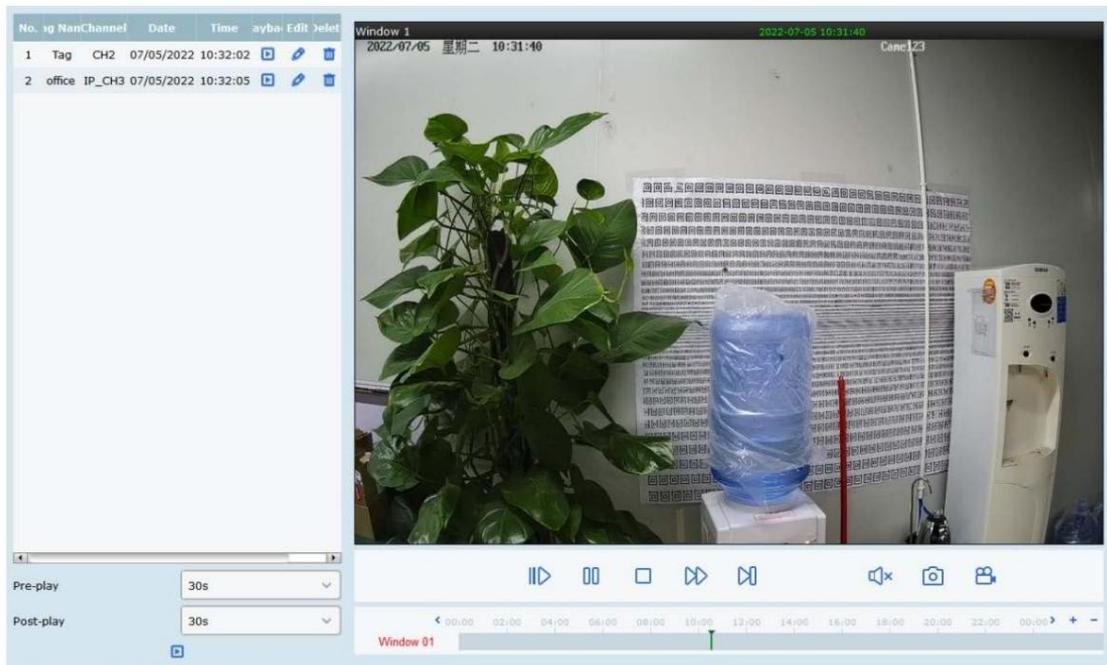


The screenshot shows a software interface for remote playback. On the left is a tree view of device groups and channels. The 'DVR' group is expanded, showing channels CH1 through CH7, with 'CH2' selected. Below the tree are fields for 'Start Time' (2022-07-05 00:00:00) and 'End Time' (2022-07-05 23:59:59), and a 'Keyword' field. A 'Search' button is at the bottom. On the right is a table of search results:

No.	Tag Name	Channel	Date	Time	Playback	Edit	Delete
1	Tag	CH2	07/05/2022	10:32:02			
2	office	IP_CH3	07/05/2022	10:32:05			

検索結果は右側に表示され、それぞれにタグが付いています。タグは表の形式で表示されます。

 をクリックすると再生ページに移動します。



プレ再生時間とポスト再生時間を設定します。  をクリックして録画を再生します。

タグ名を変更するには、  をクリックします。

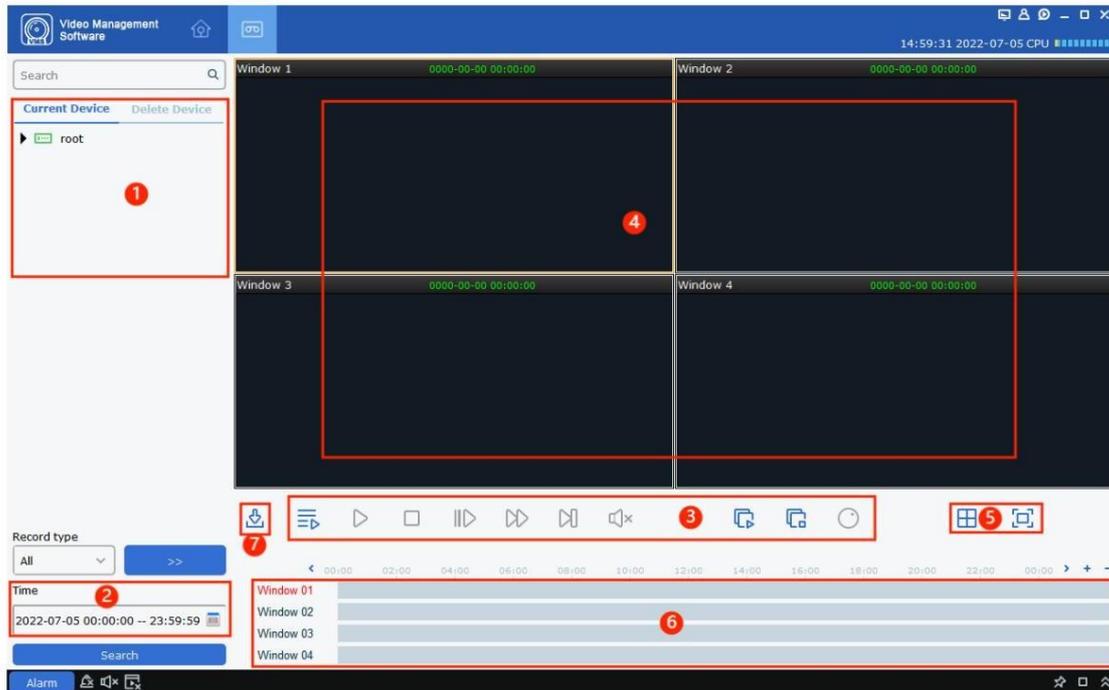
 をクリックしてタグを削除します。

第8章 ローカル再生

8.1 ローカル再生の概要

メインメニューから [ローカル再生] を選択して再生ページに移動し、

次の図に示すように、クライアントから録画や画像を再生およびエクスポートできます。



NO.	機能	説明	操作
1	デバイスツリー	デバイスツリーにはデバイスのグループとチャンネルがひょうじされます	現在のデバイスが削除されたデバイスを選択できます。
2	リクエスト時間	録画の時間を確認する	デバイスツリーでデバイスを選択し、日付と時刻を選択します。その日に録画が存在する場合、日付の右下に下付き文字が表示されます。「検索」をクリックしてください。
3	再生コントロールバー	録画の再生と音量を操作する。	 録画を同期して再生します。
			 録画の再生を始める。
			 録音の再生を一時停止する。
			 録音の再生を停止する。
			 録画を再生中にフレームを一つ進める。
			 録音の再生を早送りする。
			 録音の再生を遅くする。
			 すべてのチャンネルの録音を再生し始めます。
			 すべてのチャンネルの録音の再生を停止してください。
			 魚眼モードを有効にする。

4	再生ウィンドウ	録画が再生されるエリア	キャプチャ	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。  をクリックするか、  を右クリックして画像を撮ります。
			デジタルズーム	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択して、  をクリックします。
			再生の停止	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。  をクリックするか、  を右クリックして Stop Play を選択します。
			録画	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。  をクリックするか、  を右クリックして Start record を選択します。
			魚眼レンズを有効にする	再生が有効になっているビデオウィンドウを選択してください。  をクリックするか、  を右クリックして Fisheye を選択します。 魚眼モードに対応しているデバイスでのみ利用可能です。
			フルスクリーンモード	 をクリックするか、  を右クリックして Fullscreen を選択します。
5	ウィンドウコントロール	ビデオウィンドウの表示モードを設定します。		表示モードとビデオウィンドウの数を選択してください。
			 Fullscreen	ビデオウィンドウの全画面モードを選択してください。

6	時間進捗バー	既存の録音情報を表示する。	 : 進行状況バーを拡大または縮小します。
7	録画のダウンロード	録音をローカルにダウンロードする。	 をクリックしてファイルのダウンロードページに移動します。

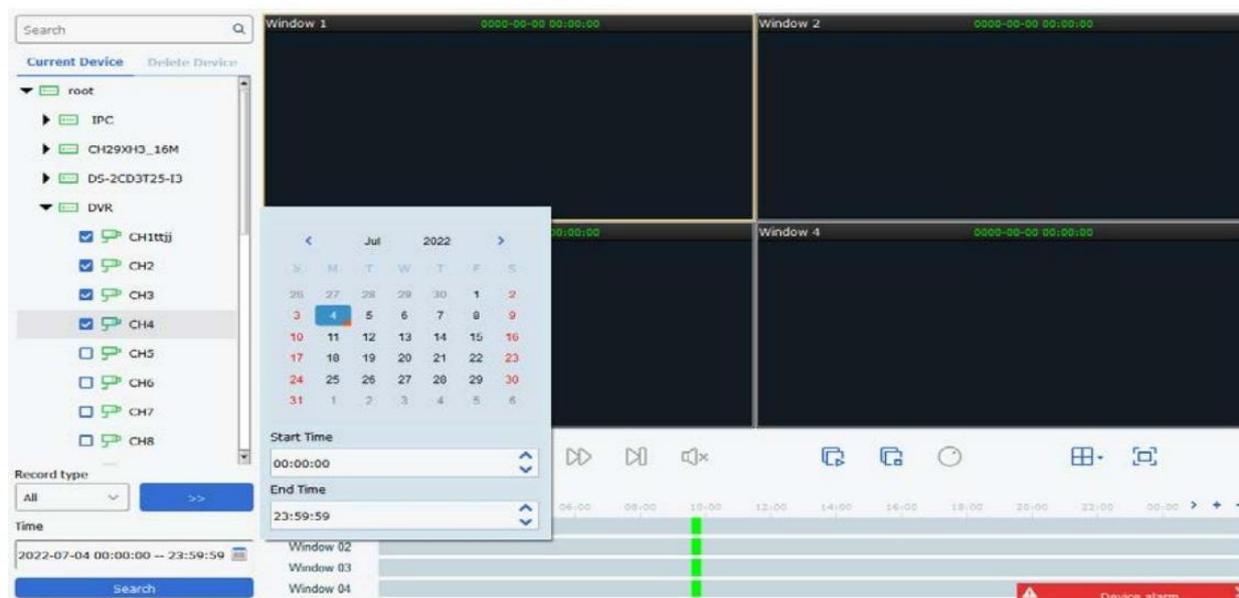
8.2 ローカル録画の再生

ここでの再生とは、ローカル記録プランに基づく記録操作を指します。第17章「ローカル記録プラン」を参照し

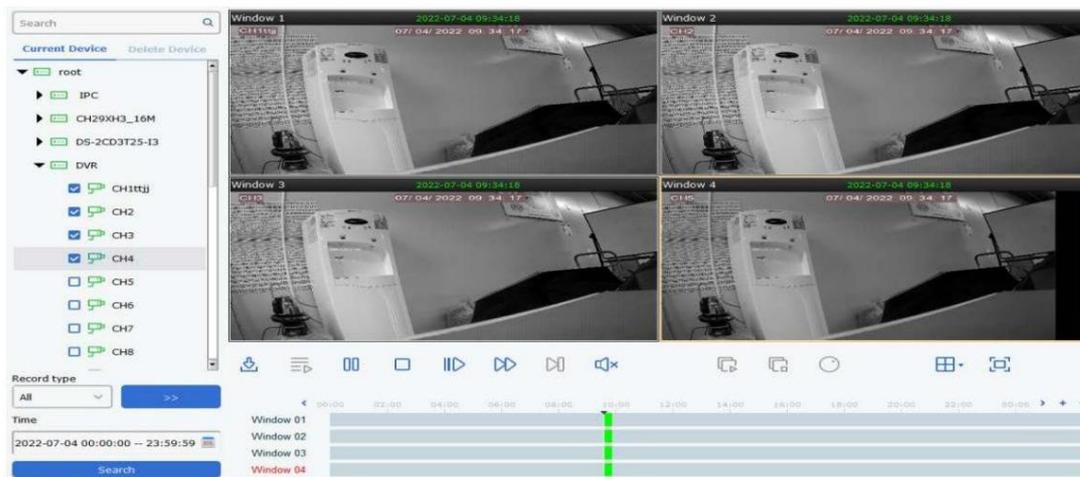
てください。次のセクションでは、ローカル記録の再生方法について説明します。

ステップ1：メインメニューから「ローカル再生」を選択して、ローカル録画の再生ページに移動します。

ステップ2：デバイスグループで、必要に応じてデバイスを選択し、日付を設定して「検索」をクリックします。検索結果は、次の図に示すように、録画の進行状況バーに表示されます。



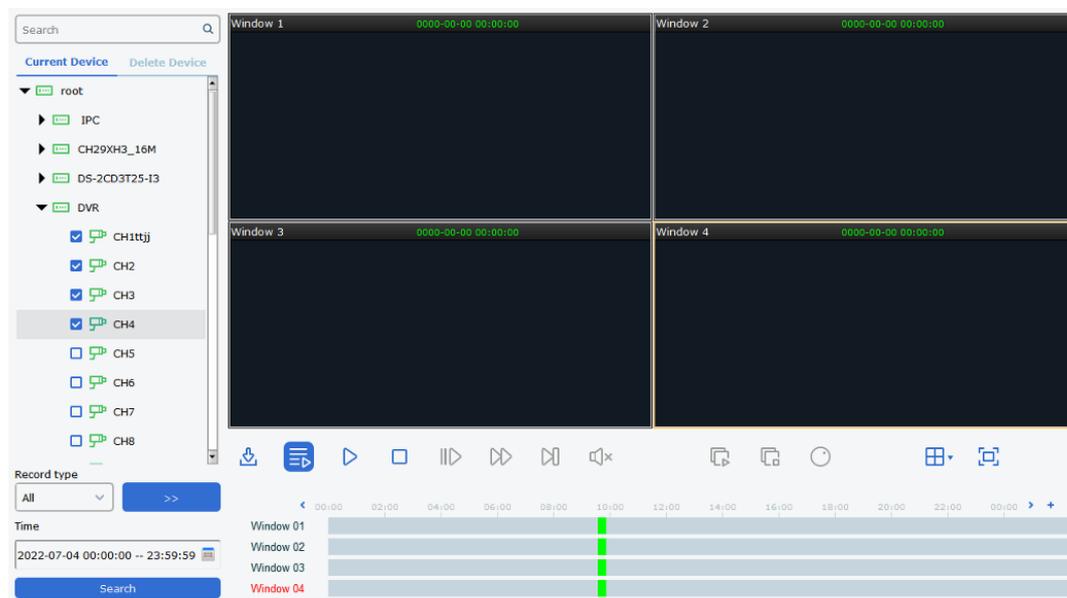
ステップ 3 : 以下に示すように  か  をクリックして録画を開始します。



注 : ローカル録画の再生は非同期モードです。同期再生を有効にするには、次の図に示すように、  をクリックして

同期再生モードに入ってください。同期再生モードに入ったら、  をクリックして同期再生を開始して、

 をクリックして同期再生を停止します。



第9章 魚眼ビューモード

設置モードと表示モードの設定が可能なのは、魚眼デバイスのみです。表示モードとインストールモードは、以下の表に示されています。

パラメータ	説明	
表示モード	<p>現在のビデオの表示モード。元の画像モードはデフォルトでサポートされています。表示モードは、以下に示すインストールモードに依存します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 天井取り付け VR、シリンダー、1P、1P+1、1P+3、1P+6、1P+8、1+3、1+8、2、2P、4. 壁掛けVR、1P、1P+3、1P+8、1+3、1+8、4 地上設置 VR、シリンダー、1P、1P+1、1P+3、1P+6、1P+8、1+3、1+8、2P、4 	
天井／壁／床取り付け	 : 元の画像	歪んでいない元の画像。
天井取り付け	 : 2	ズームと移動に対応した2つの独立したサブ画像。
天井/床取り付け	 : VR	VRモード。ダブルクリックしてVRモードに入ります。画像はズームと移動に対応しています。
	 : シリンダー	シリンダー表示モード。マウスを上下にドラッグして、シリンダー表示モードを平面表示に切り替えます。
	 : 4	ズームと移動に対応した4つの独立したサブ画像。
	 : 2 P	関連する2つの180°拡張された長方形画像。2つのサブウィンドウは、デュアルパノラマとも呼ばれ、いつでも360°パノラマを形成します。両方の拡張長方形画像は、互いに連動して開始点を左または右に移動することをサポートしています。

	 : 1 P	ズームと移動に対応した360°展開矩形パノラマ。
	 : 1 P + 1	360° 拡張長方形パノラマ + 1つの独立サブ画像。拡張パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。拡張長方形パノラマ自体はズームと移動に対応していません。
	 : 1 P + 3	360° 拡張長方形パノラマ + 3つの独立したサブ画像。拡張パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。拡張長方形パノラマ自体はズームと移動に対応していません。
	 : 1 P + 6	360° 拡張長方形パノラマ + 6つの独立したサブ画像。拡張パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。拡張長方形パノラマ自体はズームと移動に対応していません。
	 : 1 P + 8	360° 拡張長方形パノラマ + 8つの独立したサブ画像。拡張パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。拡張長方形パノラマ自体はズームと移動に対応していません。
パラメーター	説明	
天井/床取り付け	 : 1 + 3	オリジナル画像 + 3つの独立した画像。オリジナル画像のサブ画像およびサブフレームはズームと移動に対応しています。オリジナル画像はズームに対応しています。
	 : 1 + 8	オリジナル画像 + 8つの独立した画像。オリジナル画像のサブ画像およびサブフレームはズームと移動に対応しています。オリジナル画像もズームに対応しています。
壁取り付け	 : V R	VRモード。ダブルクリックしてVRモードに入ります。画像はズームと移動に対応しています。
	 : 1 P	左右に広がる360°拡大長方形パノラマで、垂直の視点角度を変えることができます。ズームや移動はサポートされていません。

 : 4	<p>ズームと拡大をサポートする4つの独立したサブ画像</p>
 : 1P+3	<p>360°拡大長方形パノラマ+3つの独立したサブ画像。拡大パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。垂直方向の視野角を変更する拡大長方形パノラマ。ズームと移動は対応していません。</p>
 : 1P+8	<p>360°拡大長方形パノラマ+8つの独立したサブ画像。拡大パノラマ内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。垂直方向の視野角変更する拡大長方形パノラマ。ズームと移動はサポートされてません。</p>
 : 1+3	<p>元画像+3枚の独立した画像。元画像内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。元画像はズームと移動に対応しています。</p>
 : 1+8	<p>元画像+8枚の独立した画像。元画像内のサブ画像とサブフレームはズームと移動に対応しています。元画像はズームと移動に対応しています。</p>

9.1 ライブビューで魚眼モードに入る

ステップ1: プレビューウィンドウで、フィッシュアイモードに入るには次の図に示すように  をクリックするか  を選択して右クリックして **Fisheye** を選択する



機能については次の表で説明します。

番号	パラメータ	説明
1	魚眼レンズ インストール モード	魚眼レンズの設置モードを切り替えます。
2	魚眼ビューモード	魚眼ビューモードを切り替えます。
3	ライブビュー	魚眼ライブビューを表示します。

ステップ2: 魚眼レンズの設置モードと表示モードを設定します。その後、PTZを介して魚眼レンズデバイスを制御できます。

9.2 録画再生中に魚眼モードに切り替える

フィッシュアイモードに入るには再生ウィンドウで  をタップすると、魚眼モードになります。

詳細な操作方法については、セクション9.1「ライブビューで魚眼モードに切り替える」を参照してください。



第10章 ログリクエスト

クライアントとデバイスからログを照会およびエクスポートします。

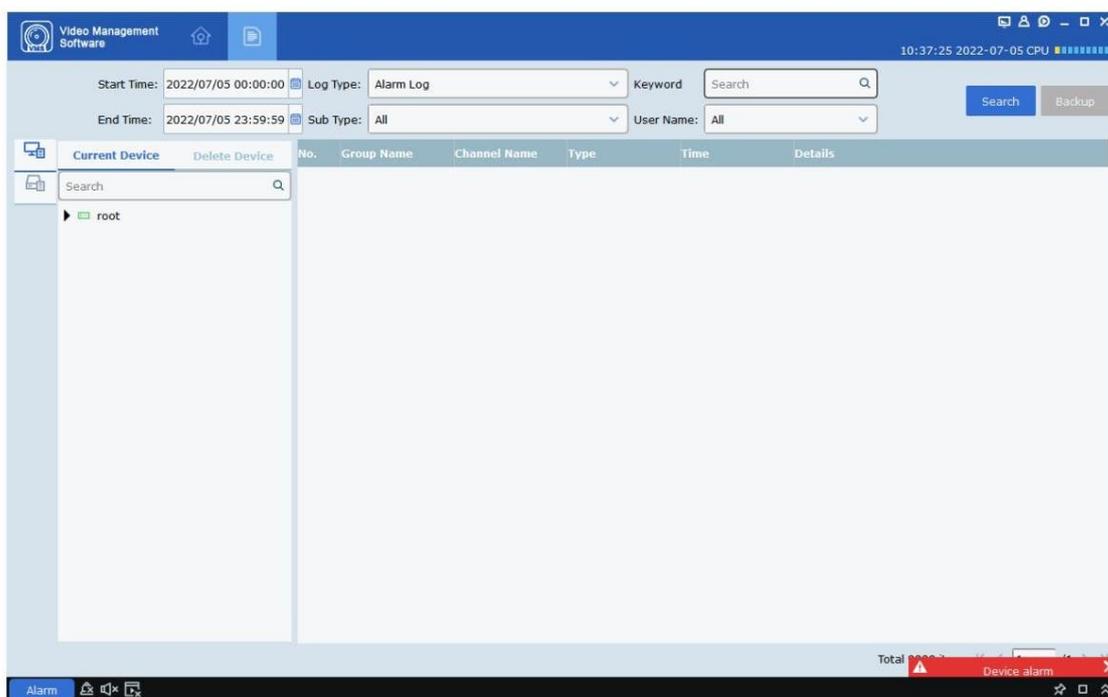
10.1 クライアントログのリクエスト

ステップ1：メインメニューから「ログ検索」を選択して、ログ検索ページに移動します。

ステップ2：  を選択。ローカルクライアントのローカルログページが表示されます。

ステップ3：検索対象として、現在または削除済みのデバイスを選択します。必要に応じて、ユーザー名、時刻、ログの種類、デバイスを設定します。ローカルクライアントのログには、アラームログ、システムログ、操作ログが含まれます。

ステップ4：「検索」をクリックします。次の図に示すように、クライアントログの検索結果が表示されます。



注：リクエストが成功したら、[バックアップ]をクリックしてクライアントログをエクスポートできます。

10.2 リモートデバイスログのリクエスト

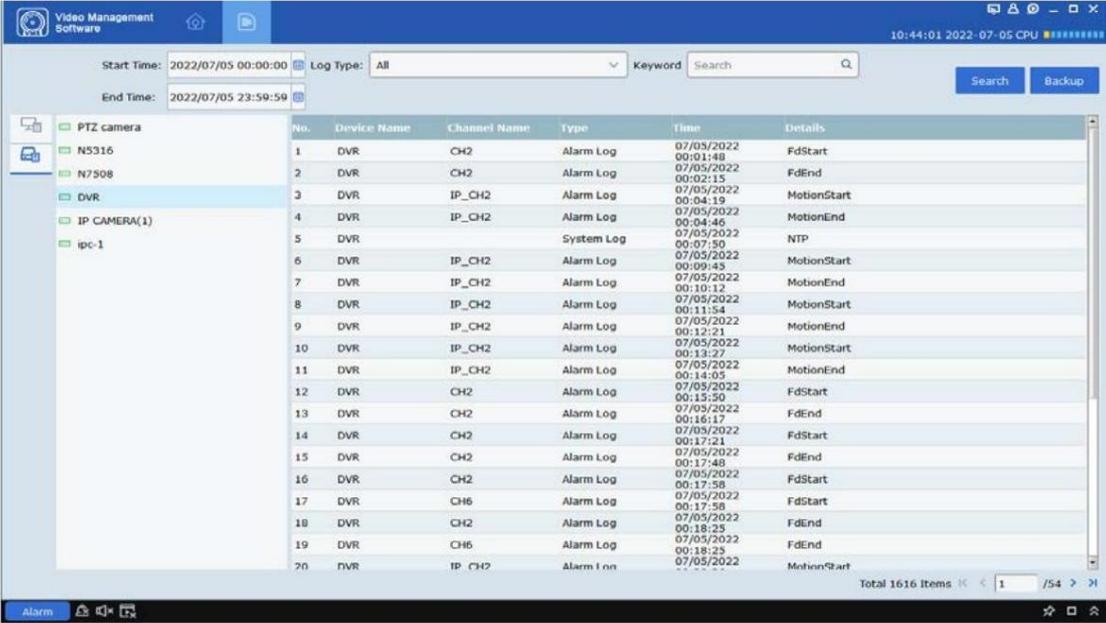
ステップ1: メインメニューから[ログ検索]を選択して、ログ検索ページに移動します。

ステップ2:  を選択する。リモート デバイスのリモート ログページが表示されます。

ステップ3: 必要に応じて、時間、ログの種類、デバイスを設定します。リモートデバイスのログには、システム、構成、アラーム、ユーザー、記録、ストレージ、インテリジェントログが含まれます。

ステップ4: 「検索」をクリックします。次の図に示すように、デバイスログの検索結果が表示されます。

注: リクエストが成功したら、[バックアップ]をクリックしてデバイスログをエクスポートできます。



The screenshot displays the Video Management Software interface. At the top, there is a search bar with 'Log Type' set to 'All' and a 'Keyword' search field. Below this, the search criteria are set to 'Start Time: 2022/07/05 00:00:00' and 'End Time: 2022/07/05 23:59:59'. A left sidebar shows a tree view of devices including PTZ camera, N5316, N7508, DVR, IP CAMERA(1), and ipc-1. The main area contains a table of search results with columns for No., Device Name, Channel Name, Type, Time, and Details. The table lists 20 entries, including various Alarm Log and Motion Start/End events. At the bottom right, it indicates 'Total 1616 Items' and shows page navigation for 1 of 54 pages.

No.	Device Name	Channel Name	Type	Time	Details
1	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:01:48	FdStart
2	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:02:15	FdEnd
3	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:04:19	MotionStart
4	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:04:46	MotionEnd
5	DVR		System Log	07/05/2022 00:07:50	NTP
6	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:09:43	MotionStart
7	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:10:12	MotionEnd
8	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:11:54	MotionStart
9	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:12:21	MotionEnd
10	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:13:27	MotionStart
11	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:14:05	MotionEnd
12	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:15:50	FdStart
13	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:16:17	FdEnd
14	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:17:21	FdStart
15	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:17:48	FdEnd
16	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:17:58	FdStart
17	DVR	CH6	Alarm Log	07/05/2022 00:17:58	FdStart
18	DVR	CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:18:25	FdEnd
19	DVR	CH6	Alarm Log	07/05/2022 00:18:25	FdEnd
20	DVR	IP_CH2	Alarm Log	07/05/2022 00:18:25	MotionStart

第11章 トポロジー管理

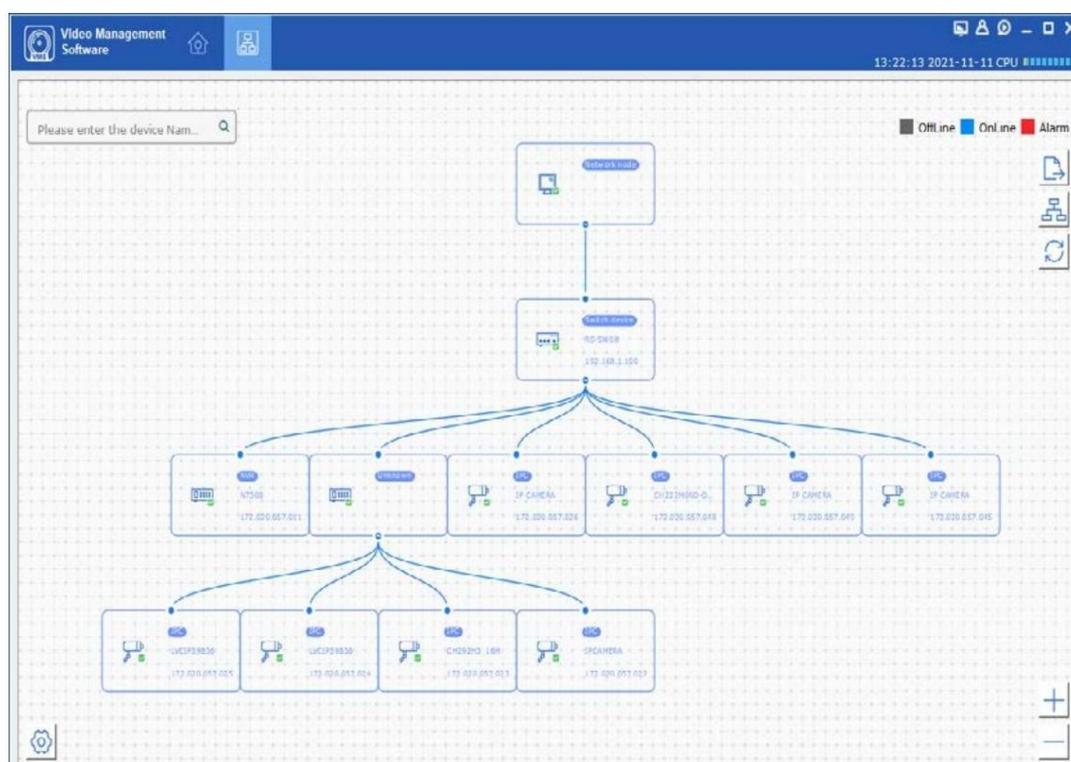
インテリジェントネットワーク管理 PoEスイッチを管理し、トポロジーでスイッチを表示します。この機能を使用するには、スイッチがクライアントに追加されていること、およびステータスはオンラインです。

トポロジー表示ページでは、クライアントに追加されたデバイス間のトポロジー関係を表示できます。

また、関連する設定操作を実行することもできます。

11.1 関連操作

メインメニューか [トポロジー管理] をクリックして、トポロジー表示ページに入ります。



インターフェースの紹介

左上隅にデバイスのエイリアスまたは IP アドレスを入力して、対応するトポロジーを表示できます。

- 左上隅にデバイスのエイリアスまたは IP アドレスを入力すると、対応するトポロジーを表示できます。
- 右上の角では、アイコンの色の意味を確認したり、トポロジーをエクスポートまたは更新したり、経路を表示したりできます。
- 右下の角で、トポロジーを拡大または縮小したり、マウスホイールを使って拡大・縮小したりできます。

- 左下隅でトポロジーレイヤーを設定できます。

注意：

トポロジーページに初めてアクセスしたときにトポロジーが表示されない場合は、ページを更新してください。

関連する操作とアイコンの説明

アクション/アイコン	操作	説明
デバイスをダブルクリック	詳細なデバイス情報を表示します	デバイスの種類、IP アドレス、パネルのステータス、ポート情報を表示します。
デバイスを右クリック	デバイスの状態を表示	詳細については、デバイスステータスページをご覧ください。
	アラームを操作します。	アラームとイベントを表示し、アラームをクリアします。
	リモート設定を行う	詳しい情報は、リモート構成のページをご覧ください。
	デバイス名を変更する	トポロジーに表示されるデバイス名を変更します。
	ルートノードとして設定します	デバイスをトポロジー内のルートノードとして設定します。
	デバイスのアップグレード	VMS Pro システムでスイッチに接続されている NVR、DVR、および IP カメラをアップグレードしてください。
	トポロジーをエクスポートします。	現在のトポロジーをエクスポートするパスを選択します。
	パスを表示します。	パスを表示するには表示するIPカメラと現在のデバイスを選択します
	トポロジーを更新します。	トポロジーページを更新します。

11.2 トポロジー設定

手順：

簡単なトポロジー構成をするには、ページの左下隅の

 をクリックします。

- トポロジーレイヤーを1～10に設定します。
- [OK]をクリックして設定を保存します。



注記：

設定を変更したら、 をクリックして最新のトポロジーを更新して表示します。

第12章 インテリジェント検索

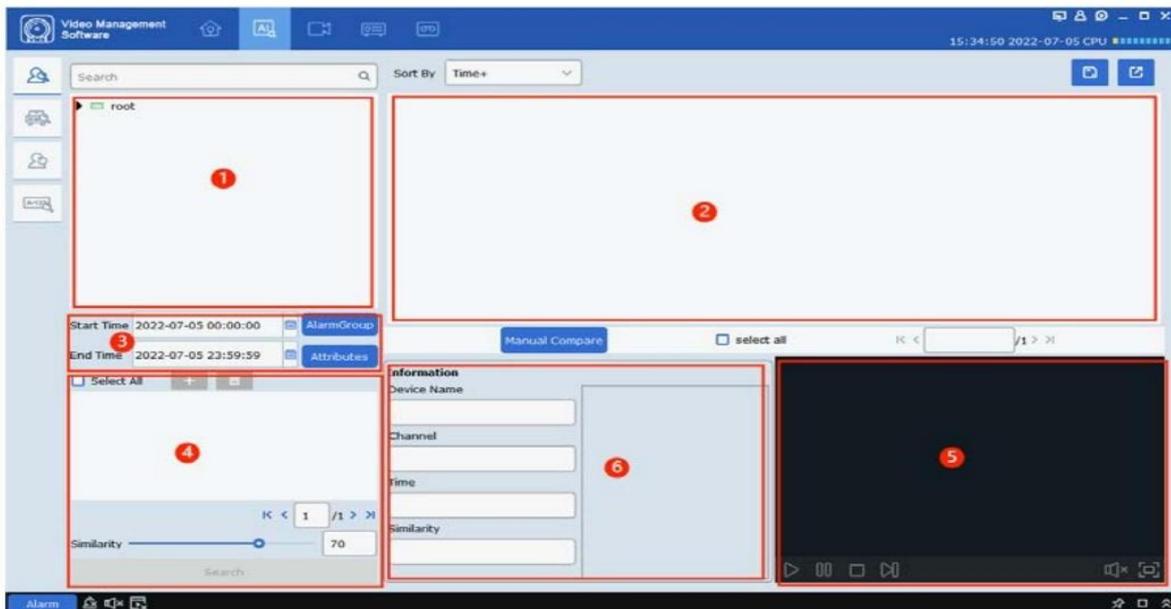
インテリジェント検索には、顔検索、人や車両の検索、レポート訪問者の検索が含まれます。顔検出機能は、指定されたエリアで通行人を検出し、鮮明な顔画像をキャプチャし、顔の特徴を認識し、人や車両を識別することをサポートします。

12.1 顔検索

ステップ1: メインメニューから「AI検索」を選択します。

次に「顔検索」をクリックして、次の図に示すように顔検索ページに入ります。

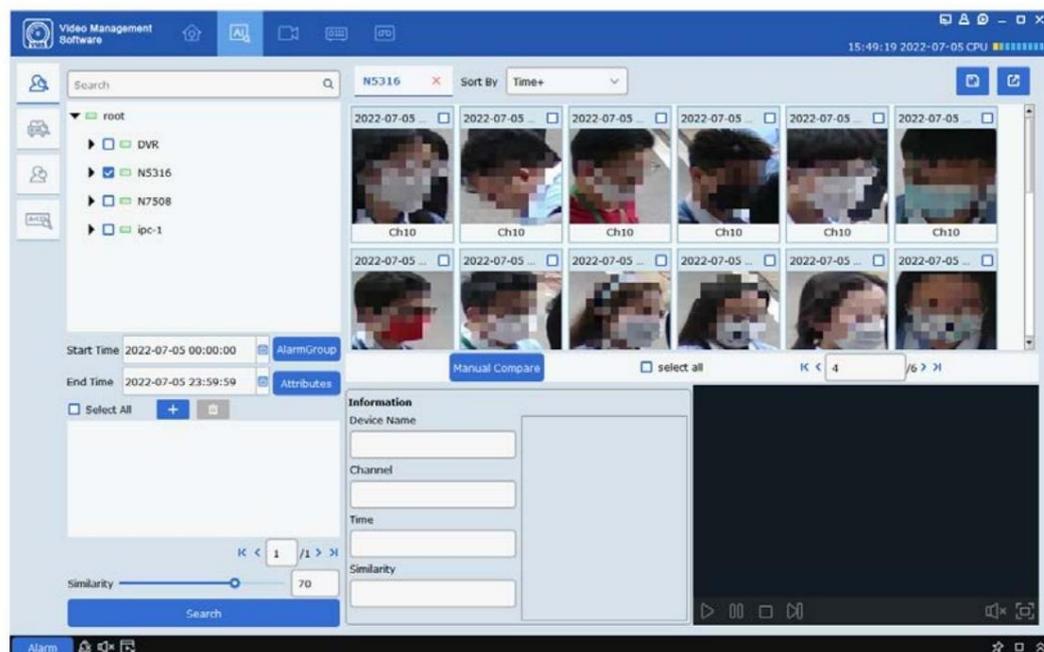
注意：デバイスは顔認識をサポートしている必要があります。



各部分については次の表で説明します。

NO.	項目	説明
1	デバイスツリー	一覧に表示されているデバイスチャンネルを表示します。
2	検索結果表示エリア	設定に基づいて検索された画像を表示します。
3	検索設定エリア	検索する日付、グループ、属性を設定します。 属性には性別、年齢、マスク、メガネ、表情が含まれます。
4	比較検索エリア	ローカルまたはデバイスの画像を追加するには  をクリックしてください。 類似度を設定するために、 Similarity をクリックして、 比較検査するのに  をクリックします。
5	録音再生エリア	検索結果から、再生エリアで再生する録音を選択してください。
6	顔情報	データベースから顔情報を表示する。

ステップ2: デバイスチャンネルと顔グループを選択し、日付を設定して「検索」をクリックします。
次の図のように検索結果が表示されます。



デバイスから画像を選択するには  をクリックして **Manual Compare** をクリックします。

すると、指定された値より類似度が高い画像が表示されます。

カードを1枚クリックして、以下の詳細を表示するか、録音を再生してください。

ステップ3: 表示したい録画の画像をクリックし、録画再生ページに入るには再生エリアで  をクリックします。

次の図のようにフルスクリーンモードに入るには  をクリックします。

画像で画像を検索する

ステップ1: メインメニューから「AI検索」を選択します。次に「顔検索」をクリックして顔検索ページに入ります。

ステップ2: デバイスチャンネルと顔グループを選択し、日付を設定して  をクリックして顔画像を追加します。

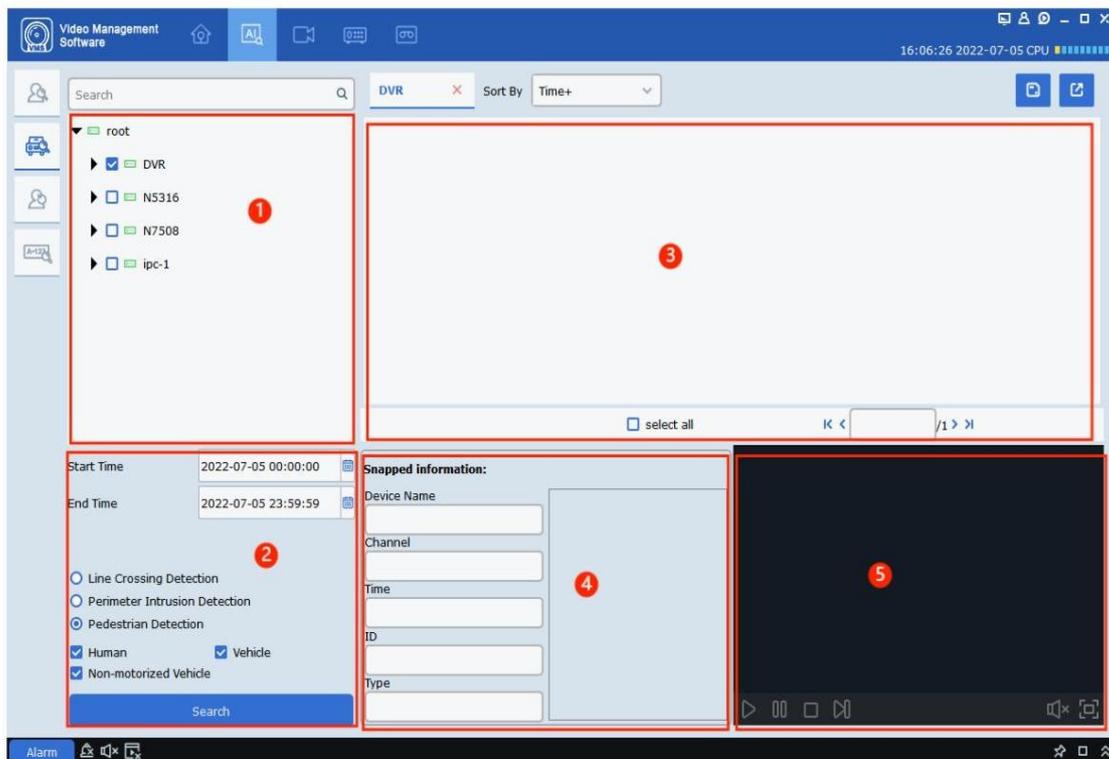
ローカル画像を追加するか、デバイス画像を選択できます。

Similarity 80 % で類似度を設定して  をクリックします。

類似度が80%を超える映像が表示されます。

12.2 人間と車両の検索

AI 検索ページで、人間と車両の検索アイコンをクリックして、次の図に示すように、人間と車両のページに入ります。



番号	項目	説明
1	デバイスツリー	リストされたデバイス チャンネルを表示します。
2	検索設定エリア	時間範囲、人、車両、または非動力車両を選択して、検索をクリックしてください。
3	人間および車両検索表示エリア	指定された時間範囲に基づいて検索されたキャプチャを表示します。
4	デバイス情報表示エリア	デバイスの詳細情報を表示します。
5	録音再生エリア	録音を再生します。

ステップ 1 : デバイス ツリーでデバイスまたはデバイス グループを選択します。

ステップ 2 : デバイスツリーの下で時間範囲と人または車両を選択し、

検索をクリックをクリックしてください。

ステップ 3 : 検索結果は表示エリアにカード形式で表示されます。カードをクリックすると、その下にデバイスの詳細情報が表示され、

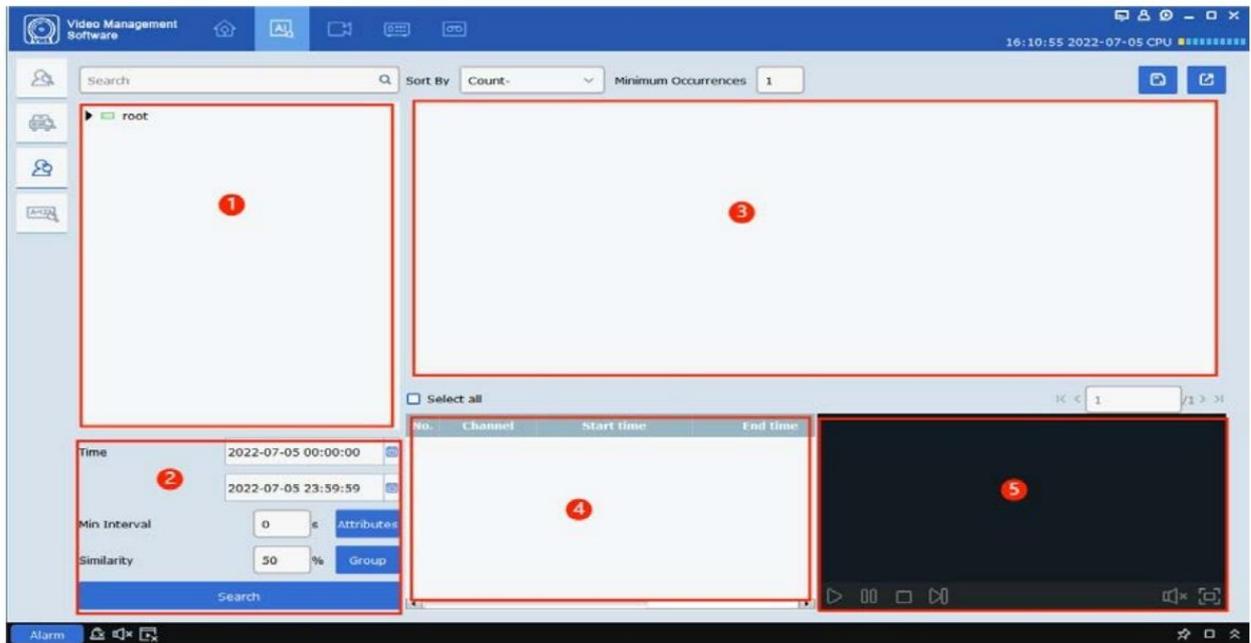
再生エリアで録画を再生できます。カードの右上隅にあるボックスをクリックし、 をクリックして

情報をエクスポートします。

12.3 リピーター検索

ステップ 1 : AI 検索ページで、次の図のようにリ、レポート訪問者ページに入るには、

レポート訪問者アイコンをクリックしてください。



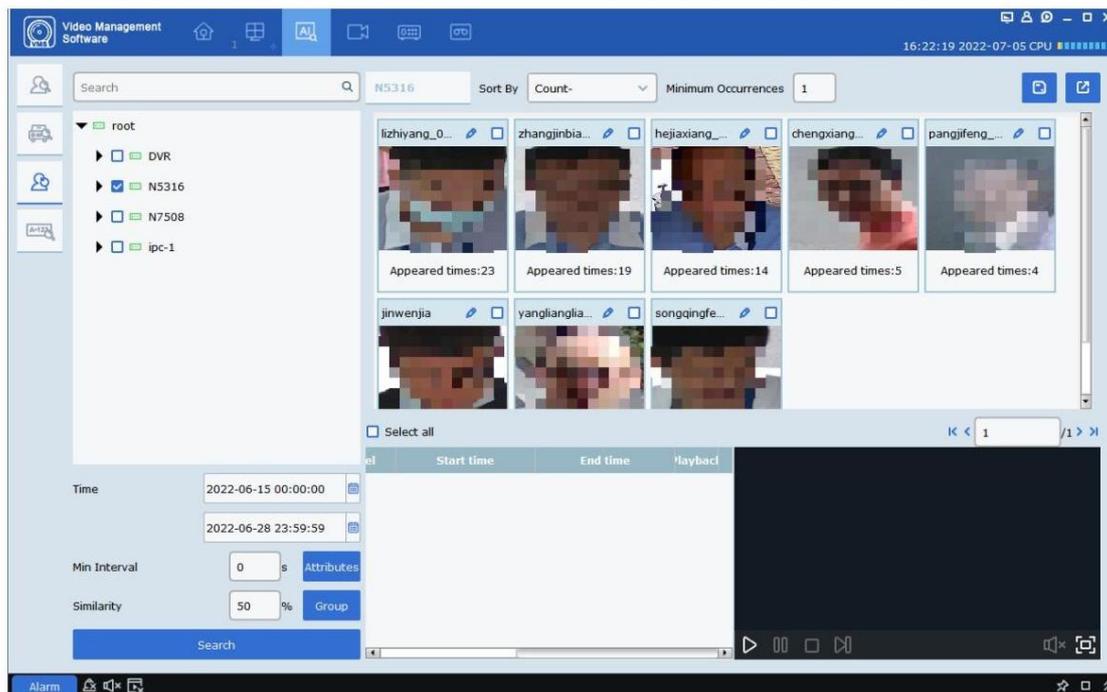
番号	項目	説明
1	デバイスツリー	リストされたデバイス チャンネルを表示します。
2	検索設定エリア	時間範囲、最小間隔、類似度を設定して、顔が出現する回数を検索します。 属性とグループは検索結果を絞り込むために使用されます。
3	人間検索表示エリア	指定した期間に基づいて検索された、人々のプロフィールと出現回数を確認します。
4	リピーター情報表示エリア	時間の順に表示される、リピーター訪問の回数、時間、デバイスチャンネルを確認します。
5	録画再生エリア	リピーター訪問者情報表示エリアで録音を選択し、再生エリアで再生してください。

ステップ2: デバイスまたはデバイスグループを選択し、時間、最小間隔、類似度を設定します。

人物を照会するには、 **Group** でその人物が属しているグループを選択します

必要であれば、属性を選択するのに **Attributes** をクリックして、

次の図のように **Search** をクリックします。



ステップ3: リクエストの結果は、リクエスト表示領域にカード形式で表示されます。カードは、上部、中央部分、下部で構成されています。

下部の **Appeared times:16** はその人物が登場する回数を表示します。

中央部分には、装置で記録された画像が表示されます。

上部の **Stranger** は人物名、 、ボックスを表示します。

名前はまず、デバイスに保存されている人事情報で照会されます。名前が存在しない場合は、「見知らぬ人」と表示されます。

 をクリックして詳細情報ページに移動します。リピーター情報が保存されている場合はデバイスの詳細情報は次の図のように表示されます。

Detail Information

Details Edit

Snapped Information:

 Channel: IPC1
 Start time: 2021-03-11 11:12:08
 End time: 2021-03-11 11:12:08
 Face ID: 18940
 Score: 8
 Alarm Policy: Deny

Matched Information:

 Group: Allow List
 Name: lqq
 Age: 22
 Sex: male
 Country:
 Nationality:
 Native Place:
 Id Code:
 Occupation:
 Phone Number:
 Email:
 Residence:
 Remark:
 Additional Face Image:
 < >



もしその人が見知らぬ人であれば、ページ上には情報が表示されません。

その人を知っているなら、その人情報をデバイスに追加するか、情報を修正したりしてください。

以下の図のよう、に矢印で指し示された編集をクリックしてください。

Detail Information

Details **Edit**

Name: lqq Sex: male
 Age: 22 Country:
 Nationality: Native Place:
 Id Code:
 Occupation:
 Phone Number: Email:
 Residence:
 Remark:
 Additional Face Image:
 < + >

Modify Save

情報を入力したら、上図の矢印で示されている「保存」をクリックして情報をデバイスに保存します。

照会した情報をエクスポートするには、**Stranger**  のボックスを選択してクリックします。

または画像の下の **Select All** をクリックして 右上隅にあります  をクリックします。

ステップ 4 : カードをクリックすると、下部の情報バーに、レポート訪問者が捕捉されるたびに情報が表示されます。

No.	Channel	Start Time	End Time	Playback
1	IPC3	2019-11-22 05:35:05	2019-11-22 05:35:06	
2	IPC3	2019-11-22 05:35:47	2019-11-22 05:35:48	
3	IPC3	2019-11-22 05:35:51	2019-11-22 05:35:52	
4	IPC3	2019-11-22	2019-11-22	

情報バーには、キャプチャチャンネル、開始時刻と終了時刻、キャプチャ時間の順に動画再生が表示されます。

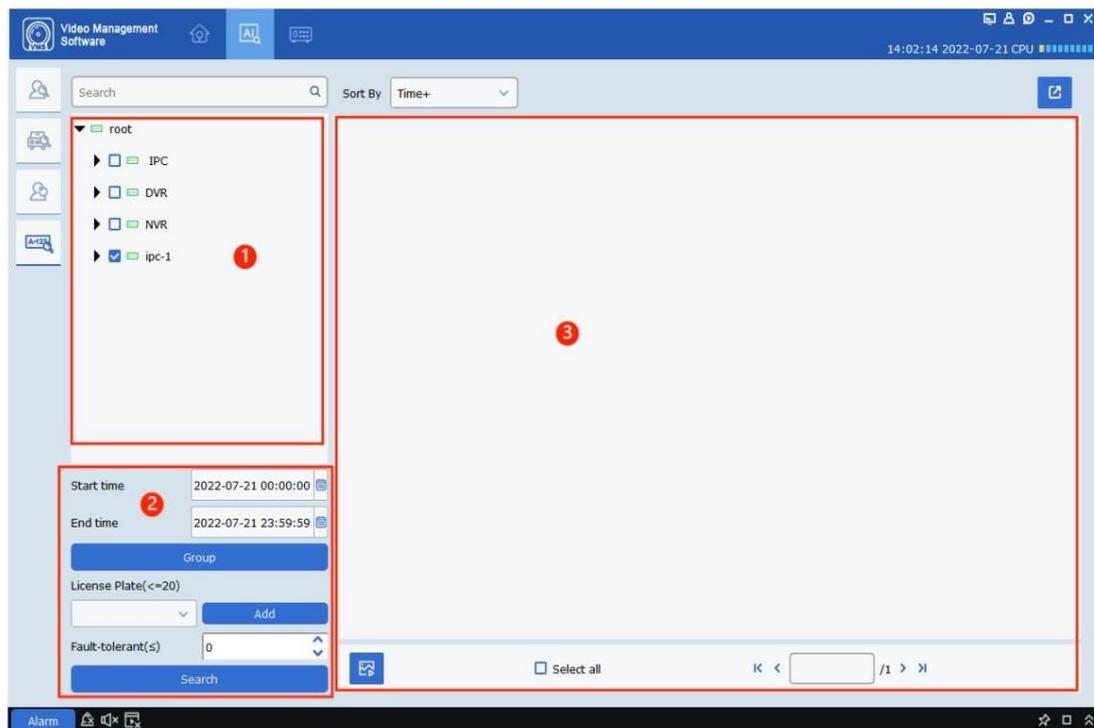
情報バーの隣にある再生ウィンドウで録音を再生したい場合、**Playback** 列で  をクリックします。

再生操作についての情報は、表6-1を参照してください。

12.4 ナンバープレート検索

ステップ 1: AI検索ページで、ナンバープレート検索アイコンをクリックすると、
次の図に示すようにナンバープレート検索ページに移動できます。

注意：デバイスはナンバープレート認識をサポートしている必要があります。

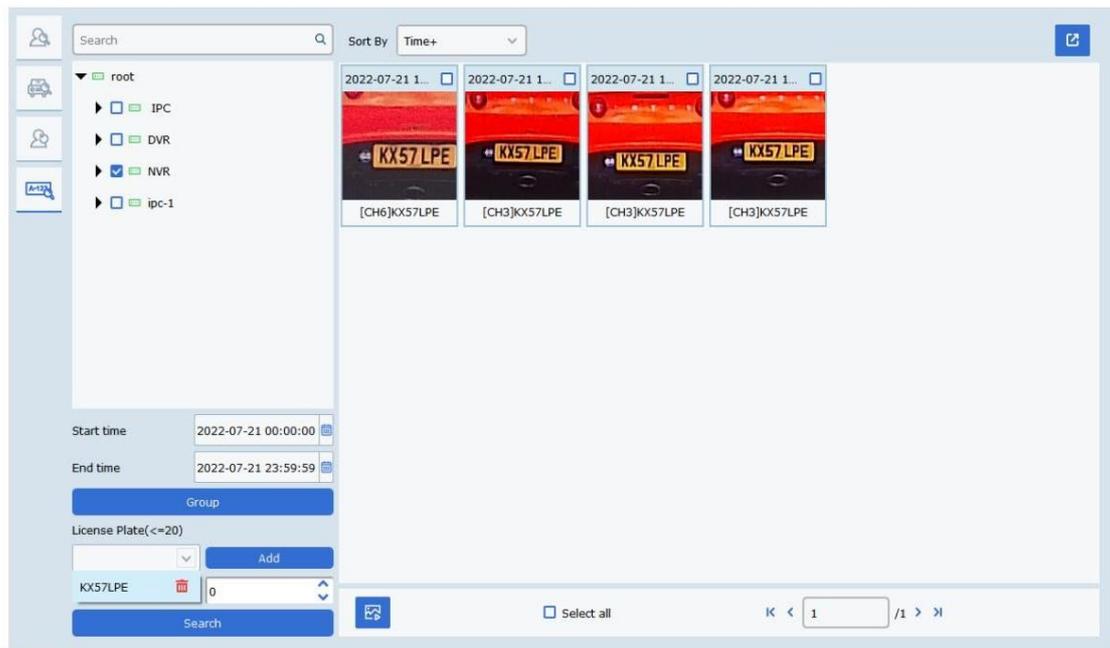


各部分については次の表で説明します。

番号	項目	説明
1	デバイスツリー	ナンバープレート認識をサポートするデバイスを表示します。
2	検索設定エリア	検索のために日付、グループ、ナンバープレート、フォールトトレラント文字数を設定します。
3	検索結果表示領域	設定に基づいて検索されたナンバープレートを表示します

ステップ2: デバイスのチャンネル、日付、ナンバープレートグループを選択し、検索したいナンバープレート番号を入力します。「追加」をクリックして検索リストにナンバープレート番号を追加し、「検索」をクリックします。

次の図のように検索結果が表示されます。

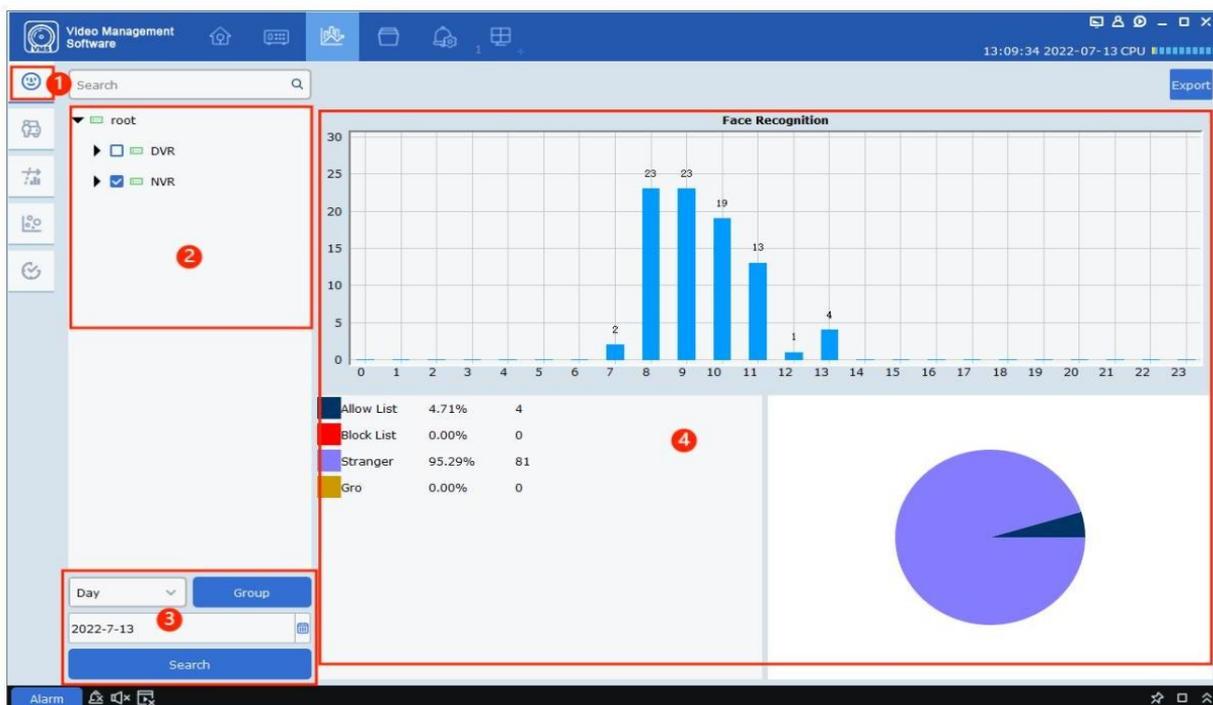


第13章 データ分析

メインメニューから「データ分析」をクリックすると、データ分析ページに移動します。データ分析には、顔統計、人物と車両の統計、クロスカウント、ヒートマップ、顔出席統計の5つのモジュールが含まれます。

13.1 顔の統計

データ分析ページでは、次の図に示すように、顔検出ページがデフォルトで表示されます。



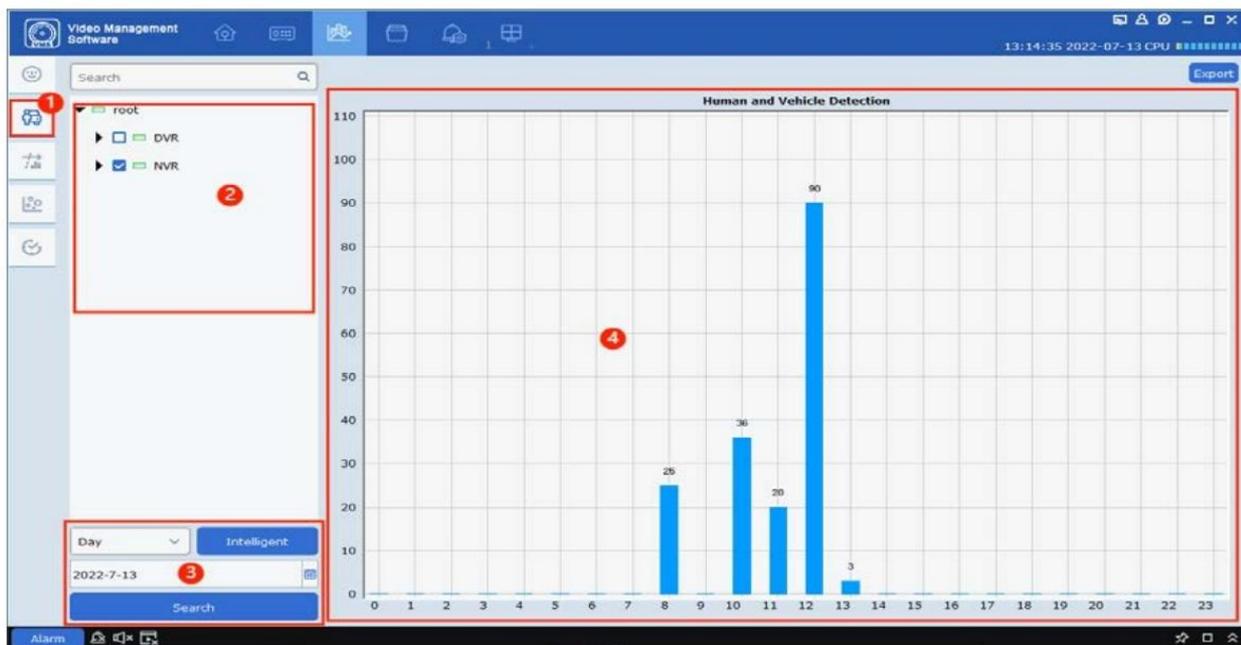
NO.	項目	説明
1	顔検出統計モジュール	クリックして顔認識統計ページに移動します。
2	デバイスツリー	デバイスのチャンネルを表示する。
3	検索設定エリア	検索する日付、時間範囲、グループを設定してください。
4	結果表示領域	棒グラフや円グラフは検索結果を示します。

デバイスを選択し、日付、時間範囲、グループを設定して、検索をクリックしてください。

検索結果は、表示領域に円グラフまたは縦棒グラフで表示されます。

13.2 人間と車両の統計

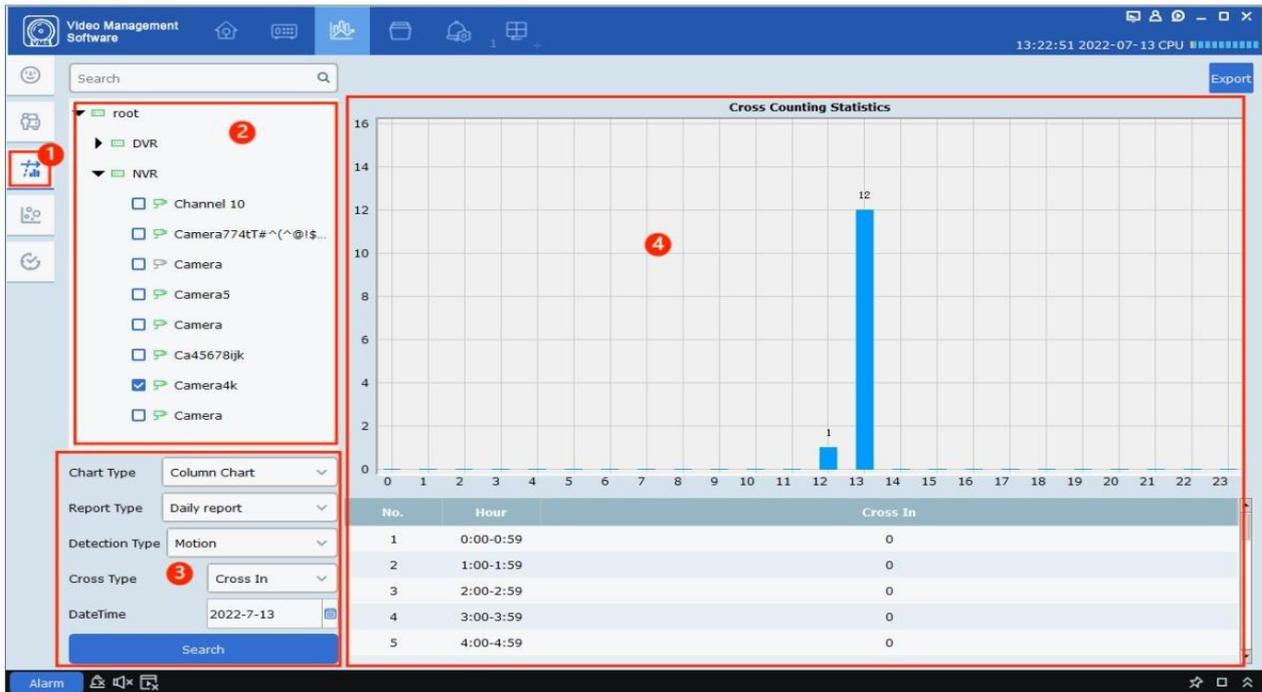
データ分析ページで、人と車両の検出アイコンをクリックすると、次の図のように人と車両の検出統計ページに入ります。



番号	項目	説明
1	顔検出統計モジュール	クリックして、人や車両の検出統計ページに入ります。
2	デバイスツリー	デバイス チャンネルを表示します。
3	検索設定エリア	検索のために日付、時間範囲、グループを設定してください。
4	結果表示エリア	棒グラフや円グラフは検索結果を示します。

13.3 クロスカウント

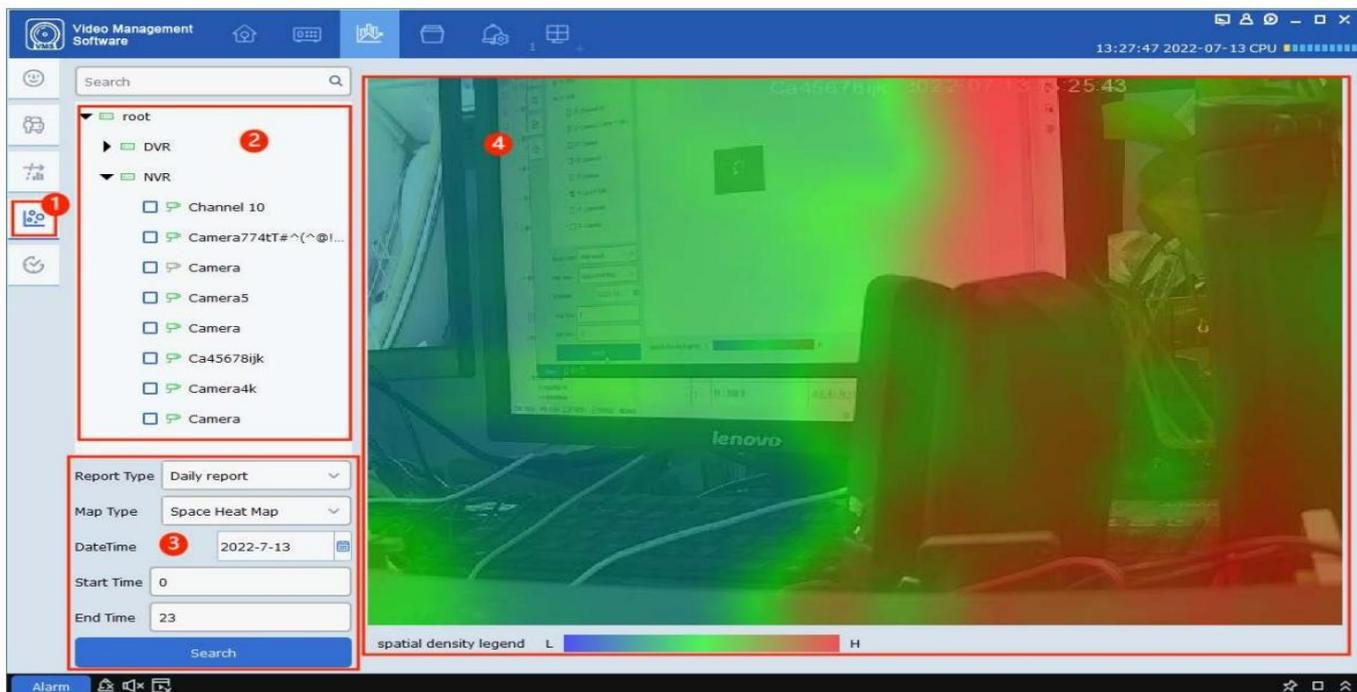
データ分析ページで、クロス集計アイコンをクリックしてクロス集計ページに入ります。



番号	項目	説明
1	クロスカウントモジュール	クリックするとクロスカウントページに入ります。
2	デバイスツリー	デバイス チャンネルを表示します。
3	検索設定エリア	表示タイプ（棒グラフや折れ線グラフなど）を設定します。 レポートタイプ、検出タイプ、クロスカウントタイプ、検索時間を設定します。
4	結果表示エリア	検索結果は、棒グラフ、折れ線グラフ、または表で表示されます。

13.4 ヒートマップ

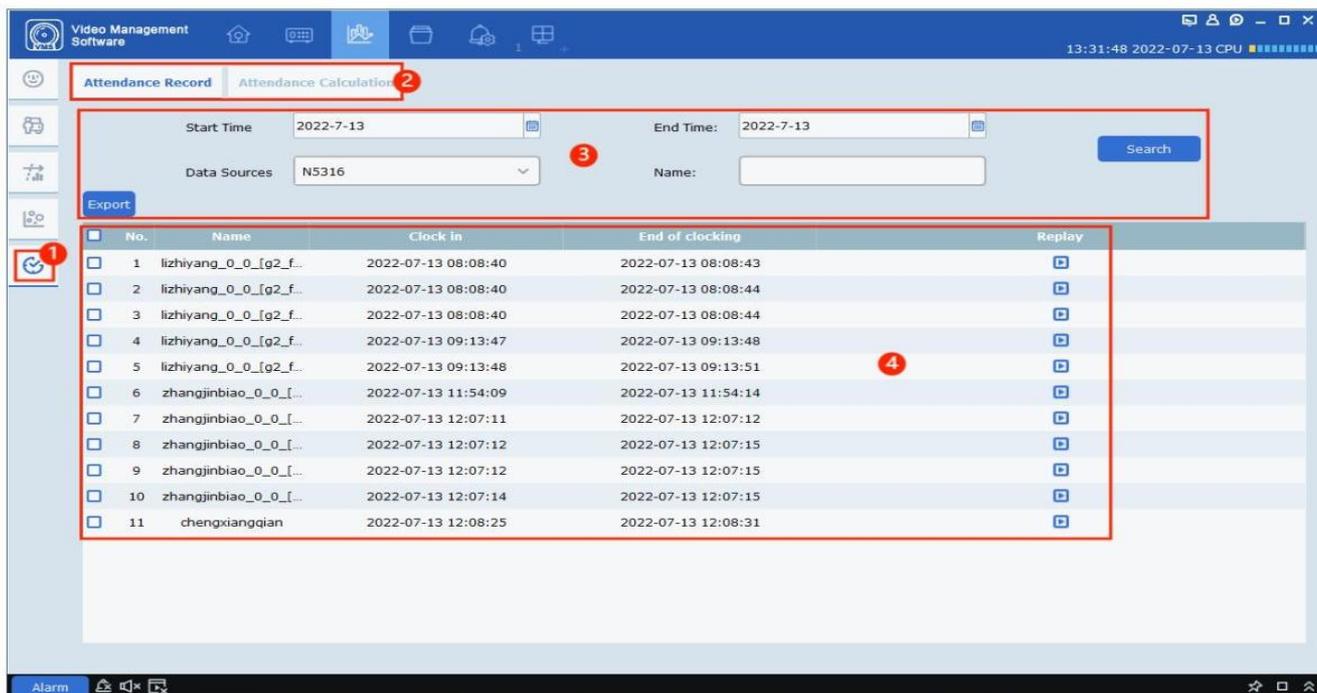
ヒートマップは、カメラ監視エリア内の活動度を表示します。データ分析ページでヒートマップアイコンをクリックすると、次の図に示すようにヒートマップページが表示されます。



番号	項目	説明
1	ヒートマップモジュール	クリックするとヒートマップページに入ります。
2	デバイスツリー	デバイス チャンネルを表示します。
3	検索設定エリア	検索のために日付、時間範囲、検出タイプ、表示モードを設定します。空間ヒートマップは画像モードで表示され、時間ヒートマップは棒グラフで表示されます。ヒート度の値が表示されます。
4	結果表示エリア	縦棒グラフまたは画像で検索結果を表示します

13.5 フェイス出席統計

データ分析ページで、出席統計ページに入るため、 をクリックします。



番号	項目	説明
1	出席統計モジュール	出席統計ページに入るにはクリックしてください。
2	タブ	出席記録と出席計算のページを切り替えます。
3	検索設定エリア	デバイスを選択し、検索の開始時間と終了時間を設定してください。
4	結果表示領域	検索結果は表に表示されます。

出勤記録：デバイスの範囲内にいる全員の出勤開始時間と終了時間、および関連する記録イベントを毎回表示します。

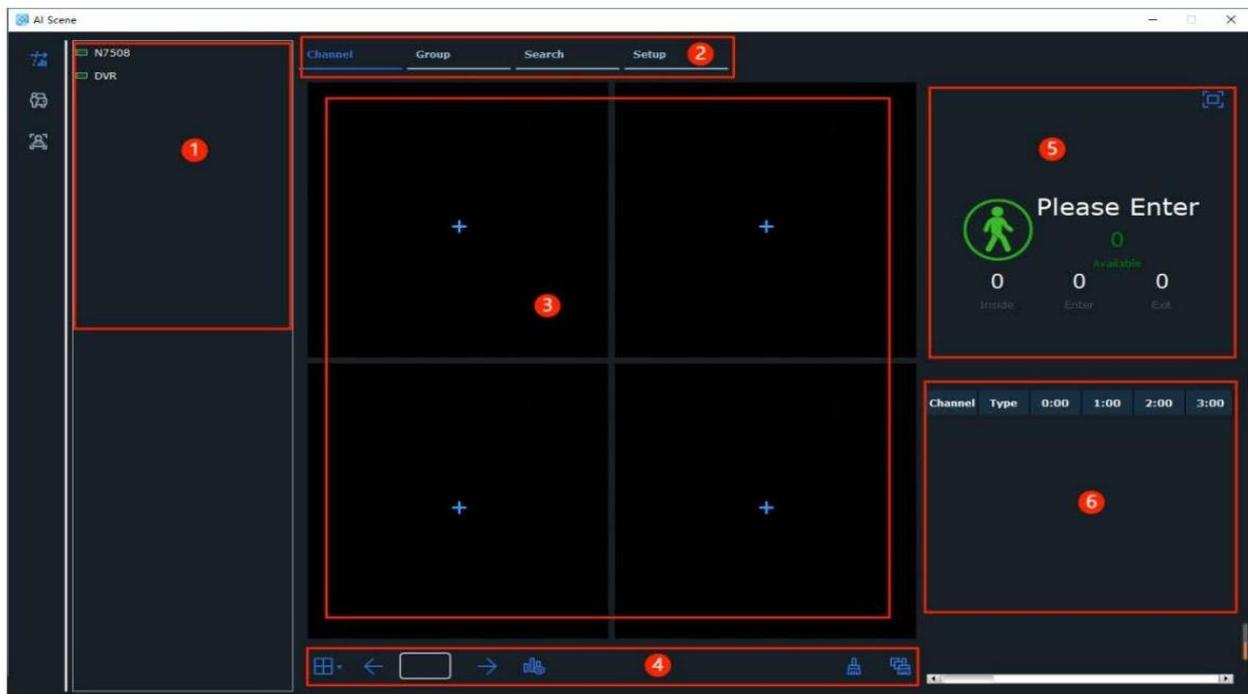
出席計算：出席管理で設定された出席ルールに基づいて、人々の出席状況を計算します。

第14章 インテリジェントシーン

メインメニューから「AI シーン」を選択して、AIシーンページに移動します。

14.1 クロスカウント

AIシーンページで、次の図のように、交差計数シーンに入るには  をクリックしてください：



番号	項目	説明
1	デバイスツリー	デバイスを表示して選択します。
2	タブ	チャンネルプレビュー、グループプレビュー、シーン検索、設定のページを切り替えます。

3	プレビューエリア	<p>チャンネルのプレビューシーン。プレビュー中に、チャンネルに関わっている総人数、チャンネルに入った人数、チャンネルを離れた人数、滞在している人数をそれぞれ確認できます。</p> <p>利用可能なチャンネルがない場合、 は各ウィンドウの中央に表示されます。アイコンをクリックして設定ページに入り、チャンネルを追加します。</p>
4	機能制御エリア	<p> をクリックして分割表示に切り替えます。</p> <p>選択肢は1、4、6、8、9です。  <input type="text" value="1"/> /1  スイッチで分割画面を切り替える。</p> <p> をクリックして前のページに移動する。</p> <p>次のページに進むには  をクリックしてください。</p> <p>または、ページ番号を入力してそのページに移動してください。</p> <p> をクリックしてチャンネル数を表示するかどうかを設定する。</p> <p>チャンネルを選択して  をクリックすると、チャンネル数がクリアされます。その後、チャンネル数はクリアされます。</p> <p> をクリックすると、すべてのデバイスチャンネルのカウントがクリアされます。</p>

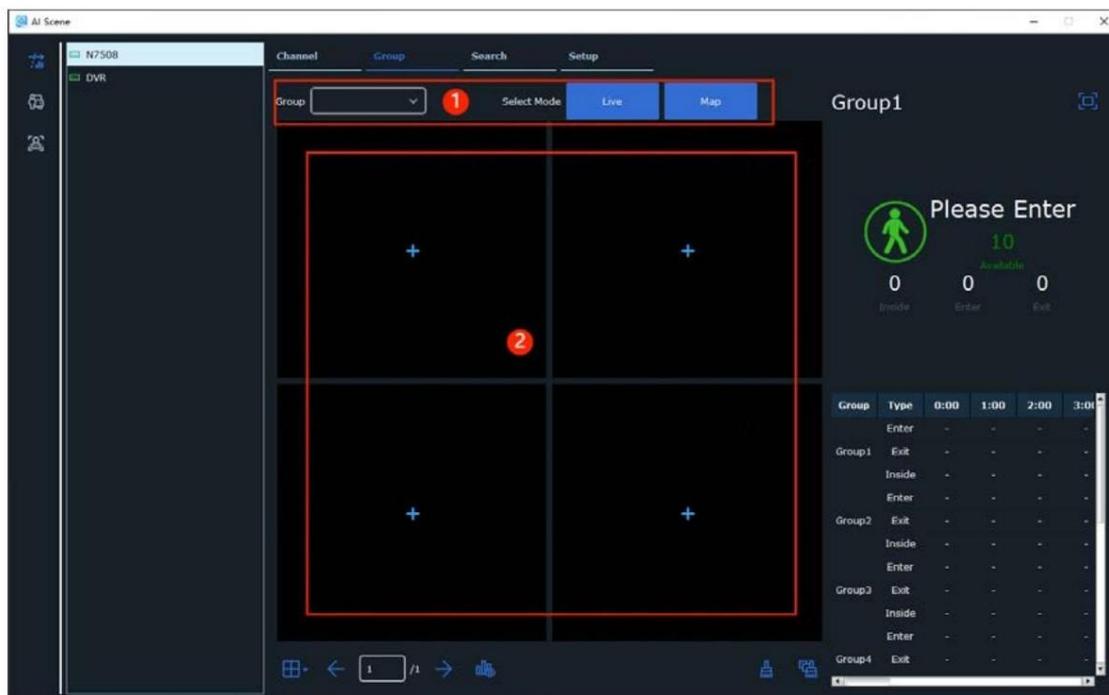
5	表示エリア	<p>選択したチャンネルやグループの数とステータスを表示します。</p> <p> 滞在する人数が制限を超えない場合、通常のアイコンは緑です。表示されている許可された人数も緑色です。</p> <p>そして「Please Enter」と表示されます。</p> <p> 但し、滞在する人数が制限を超えると、アイコンは赤くなります。表示されている許可された人数も赤です。</p> <p>そして「Please Wait」と表示されます。</p> <p>表示エリアで、 をクリックすると、全画面モードに切り替えることができます。広告の表示が設定されていない場合、表示領域は全画面モードになります。</p> <p>それ以外の場合、広告は順番に再生されます。この場合、表示エリアのすべての数字、アイコン、テキストは画面の右側に表示されるため、チャンネルに関する具体的な数字をリアルタイムで確認できます。</p> <p>フルスクリーンモードを終了するには、右クリックして終了します。すると、元のウィンドウに戻ります。</p>
6	統計表示エリア	<p>一日の各時間ごとに、入る人、出る人、滞在する人の数をそれぞれ表示します。</p> <p>数が0の場合は、「-」と表示されます。</p>

グループプレビューに入るには、グループタブをクリックしてください。グループプレビューはチャンネルプレビューとは異なります。

チャンネルプレビューでは、各チャンネルのパラメータを設定できます。

グループプレビューでは、グループ全体のパラメータのみ設定でき、各チャンネルにはそれぞれ入退室した人数が表示されるだけです。

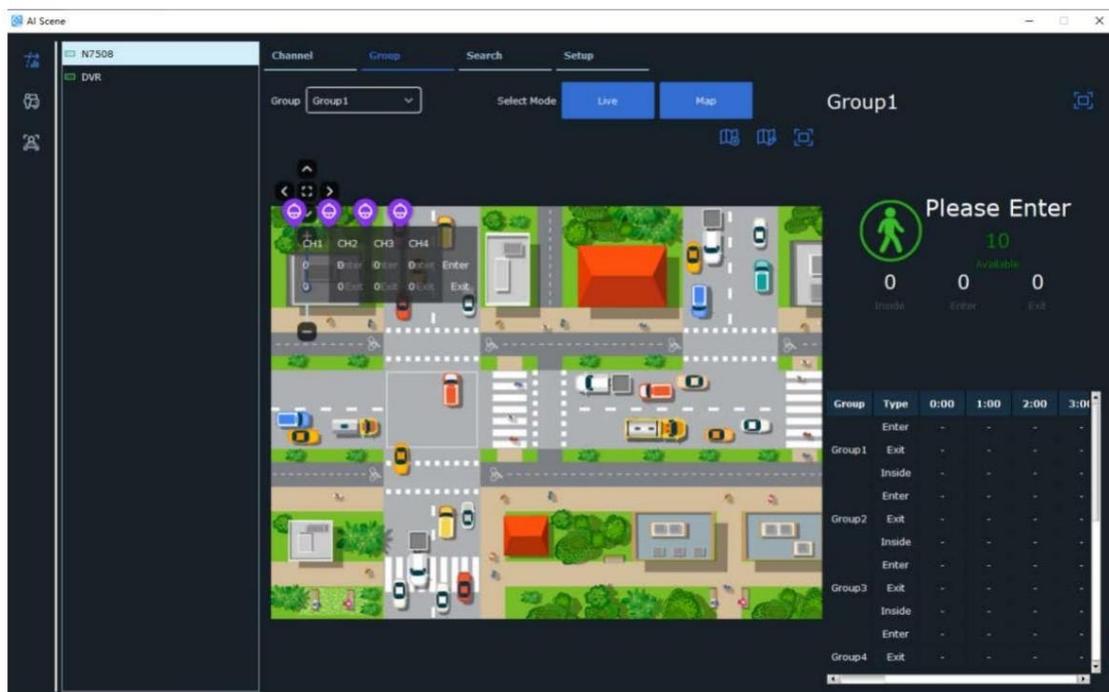
グループプレビューはマップモードで表示できます。



モードを切り替えるには、[セレクトモード]を設定します。

[ライブ]とは、プレビューモードを意味します。[マップ]はマップモードを意味します。プレビューモードがデフォルトです。

次の図に示すように、[マップ]をクリックしてマップモードに入ります。



をクリックして地図を追加し、

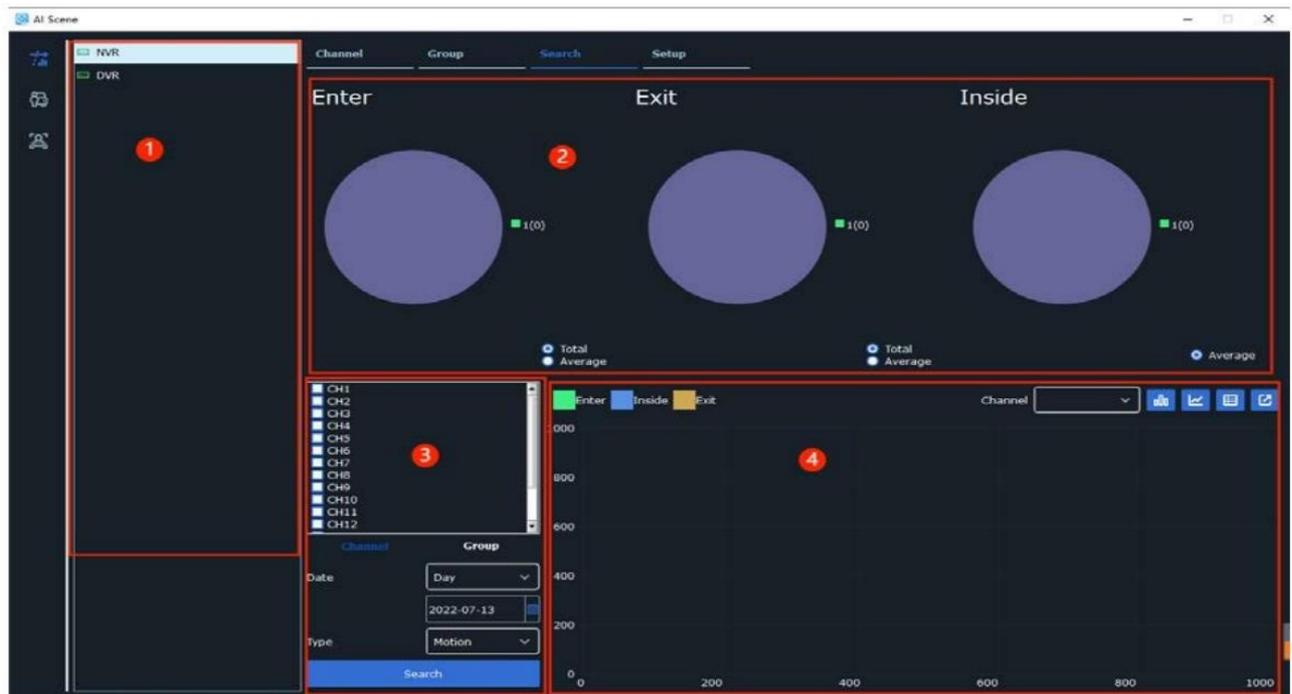


をクリックして地図を変更し、



をクリックして全画面モードに入る

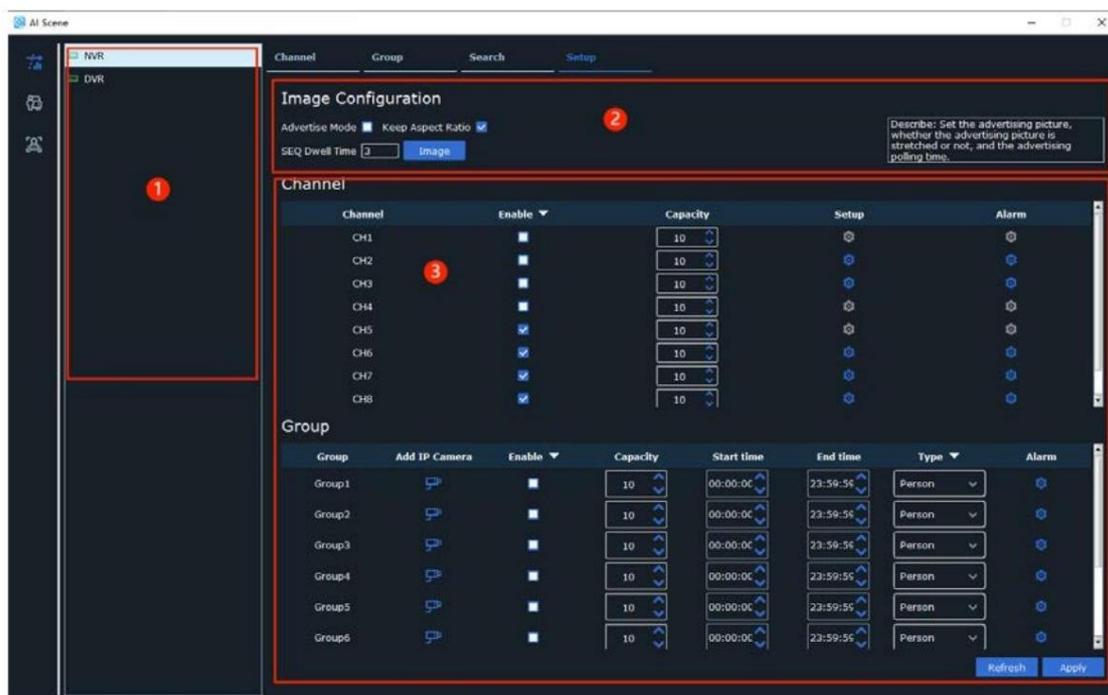
次の図に示すように、[検索]タブをクリックしてクロスカウント ページに移動します。



番号	項目	説明
1	デバイスリスト	クロスカウントシーンに対応しているデバイスを表示する。
2	検索表示エリア	円グラフは、各チャンネルまたはグループごとに、一定期間内で入る人、出る人、滞在する人の総数と平均数をそれぞれ示しています。 <input checked="" type="radio"/> Total <input type="radio"/> Average をクリックして総人数と平均人数を切り替える。
3	検索設定エリア	検索するチャンネルまたはグループ、日付、期間、およびタイプを設定します。

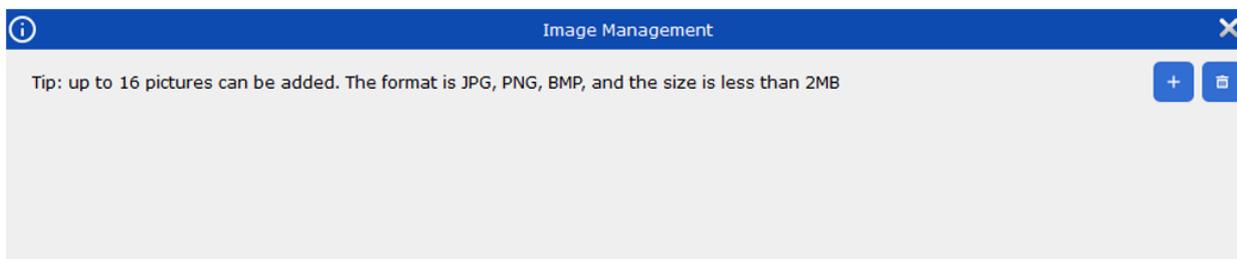
4	結果表示領域	<p>柱状グラフ、折れ線グラフ、または表は、出入りする人数の傾向を示します。</p> <p>ドロップダウンリスト  から、チャンネルやグループを切り替えることができます。</p> <p>この3つのボタンは、縦棒グラフ、折れ線グラフ、表の間で切り替えるために使用されます。</p> <p>データをエクスポートするには、エクスポートボタン  をクリックしてください。</p>
---	--------	--

AI シーンページで[設定]を選択して、次の図に示すように、クロスカウント シーン構成ページに入ります。



番号	項目	説明
1	デバイスリスト	クロスカウントシーンをサポートするデバイスを表示します。
2	広告設定	<p>広告モード：広告モードかどうか。</p> <p>アスペクト比を保持：アスペクト比を維持するかどうか。</p> <p>SEQ待機時間：ポーリング時間を示します。</p> <p>画像ボタン：広告画像の追加や削除のために画像管理に入ります。</p>
3	チャンネルとグループの設定	<p>チャンネル設定：</p> <p>デバイスの1つのチャンネルに対する1つのデータ項目。</p> <p>チャンネル：チャンネル番号</p> <p>有効化：表示するかどうか</p> <p>容量：入場および滞在できる人数の上限を設定する。</p> <p>設定：クロスカウントのパラメータを設定します。図15-7を参照してください。</p> <p>アラーム：アラーム出力パラメータを設定します。図15-8を参照してください。</p> <p>IPカメラを追加：グループチャンネルを設定するにはクリックしてください。</p> <p>有効化：表示するかどうか</p> <p>収容人数：入場および滞在できる人数の上限を設定</p> <p>開始時間と終了時間：開始時間と終了時間を設定します。</p> <p>タイプ：検出タイプを設定します。人間または車両を選択できます。</p> <p>アラーム：アラーム出力パラメータを設定します。</p>

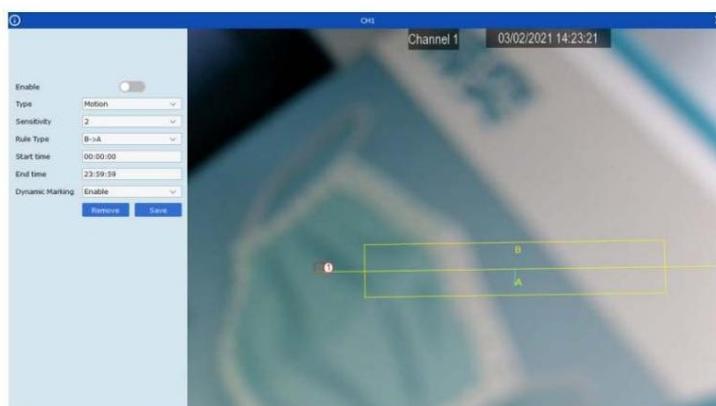
次の図に示すように、アラーム画像を追加および削除します。



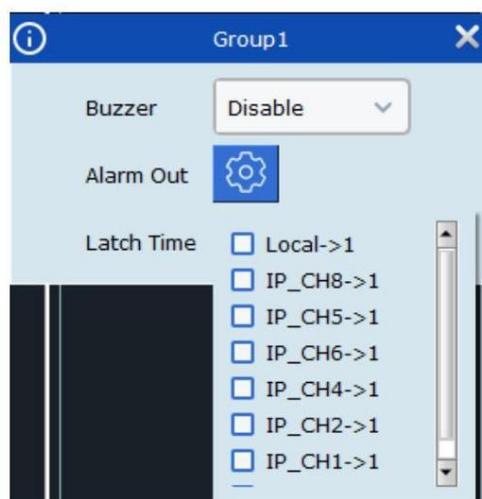
 をクリックしてローカル画像を追加し、 をクリックして画像を削除します。

最大16枚の投票広告画像を追加でき、各画像のサイズは2MBを超えてはいけません。

次の図に示すように、交差カウントチャンネルを設定します。



次の図に示すように、アラーム出力パラメータを設定します。



ブザー：ブザーを有効にするかどうか。

アラーム出力：アラーム出力。ローカル->1：ローカルアラーム出力；IP_CH1->1：フロントエンドアラーム出力。

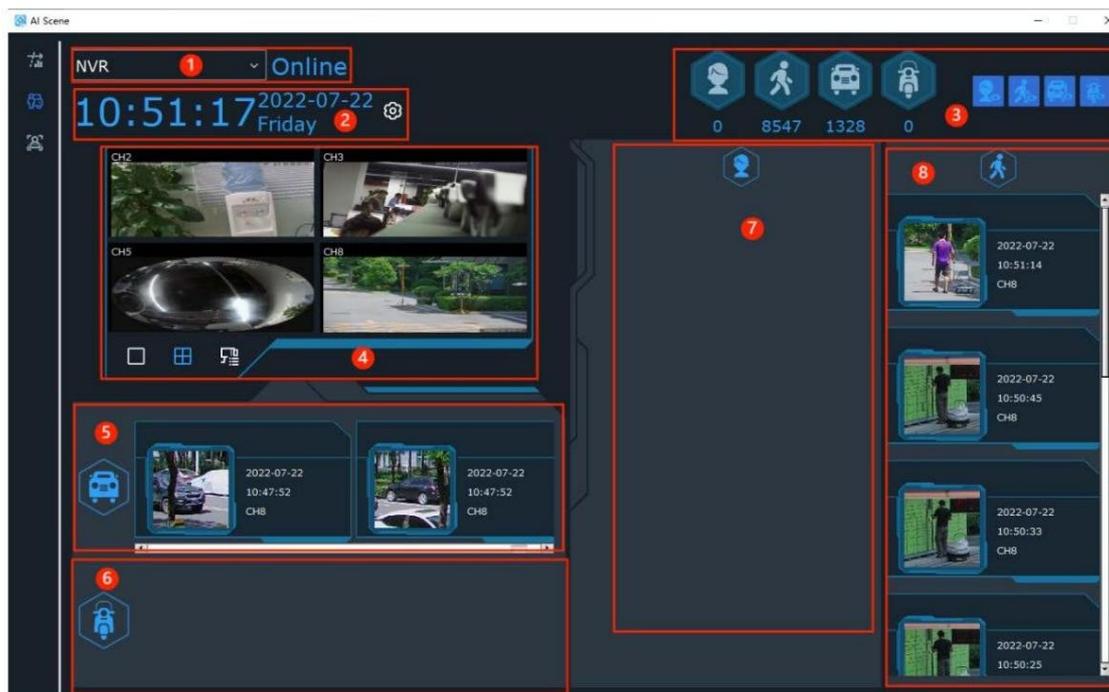
ラッチ時間：持続時間：

注意：グループのためにチャンネルが選択されると、チャンネル設定リスト98のチャンネルは灰色表示になり、有効化できません。

同様に、チャンネル設定リストでチャンネルが選択されている場合、そのチャンネルはグループ用に選択できません。

14.2 ハイブリッド検出

Aシーンページで、次の図のように  をクリックしてハイブリッド検出シーンに入る。

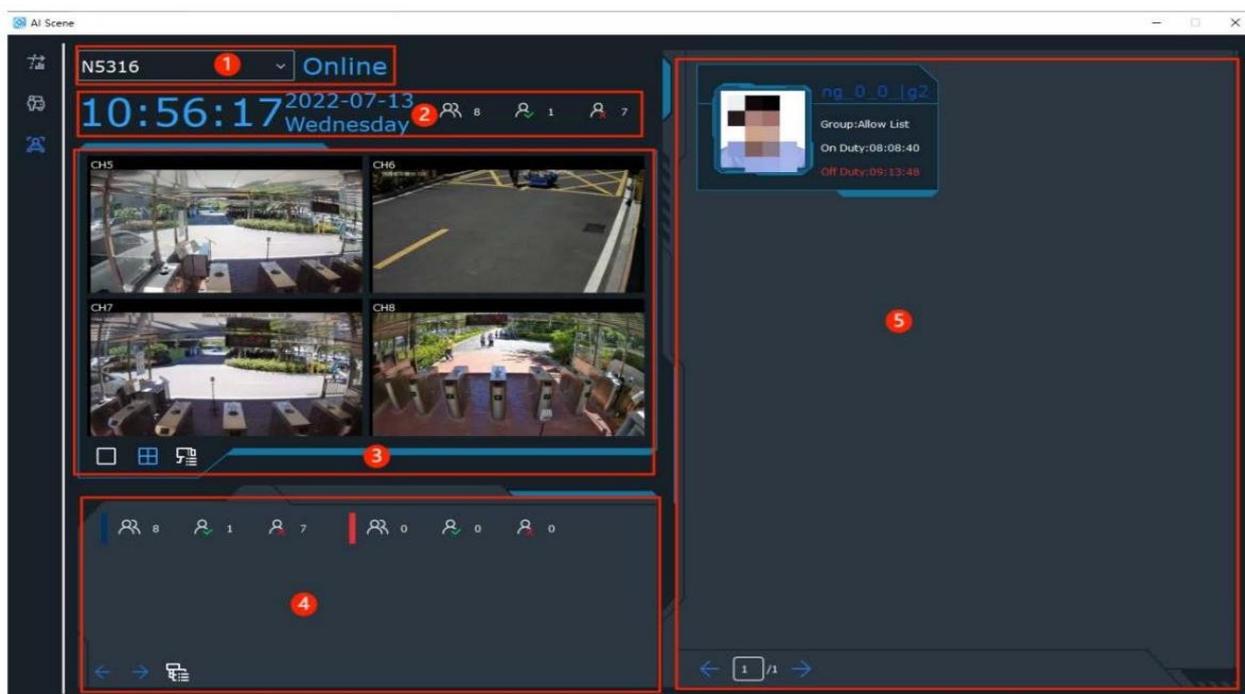


各部分については次の表で説明します。

番号	項目	説明
1	デバイス名と状態	ドロップダウンリストで、デバイスを切り替えることができます。 オンライン：デバイスがオンラインです。 オフライン：デバイスがオフラインです。
2	時間、統計期間設定	現在の時刻を表示し、ハイブリッド検出タイプの統計期間を設定します。
3	統計を取得してエリア表示を制御する	指定した期間内に選択したデバイスの検出タイプと蓄積されたキャプチャデータを表示します。  対応する表示領域を非表示にするか表示するか、制御するタイプをクリックする。
4	プレビューエリア	ライブビューウィンドウ。  をクリックして単一チャンネルプレビューに切り替え、  をクリックして4チャンネルプレビューに切り替えます。 プレビューチャンネルを切り替えるには、連続でクリックし続けてください。 必要なプレビューチャンネルを選択するには  をクリックしてください。
5	車両キャプチャ表示エリア	撮影された車両の画像、撮影時間、チャンネルをリアルタイムで確認できます。
6	自転車・非動力車両展示エリア	撮影された非自動車の画像、撮影時間、チャンネルをリアルタイムで確認できます。
7	顔認識表示エリア	撮影された顔画像、キャプチャ時間、チャンネルをリアルタイムで表示します。
8	通行人キャプチャ表示エリア	撮影された通行人の画像、撮影時間、チャンネルをリアルタイムで表示します。

14.3 顔認証出席

AIシーンページで、顔認証出席シーンに入るには次の図のように  をクリックしてください。



各部分については次の表で説明します。

番号	項目	説明
1	デバイス名とステータス	右クリックしてデバイスを切り替えます。デバイスがオンラインの場合は青色で「オンライン」と表示されます。デバイスがオフラインの場合は赤色で「オフライン」と表示されます。
2	時間、合計数表示エリア	現在の時刻と、出席すべき人の総数、出席した人の数、出席していない人の数をそれぞれ確認できます。

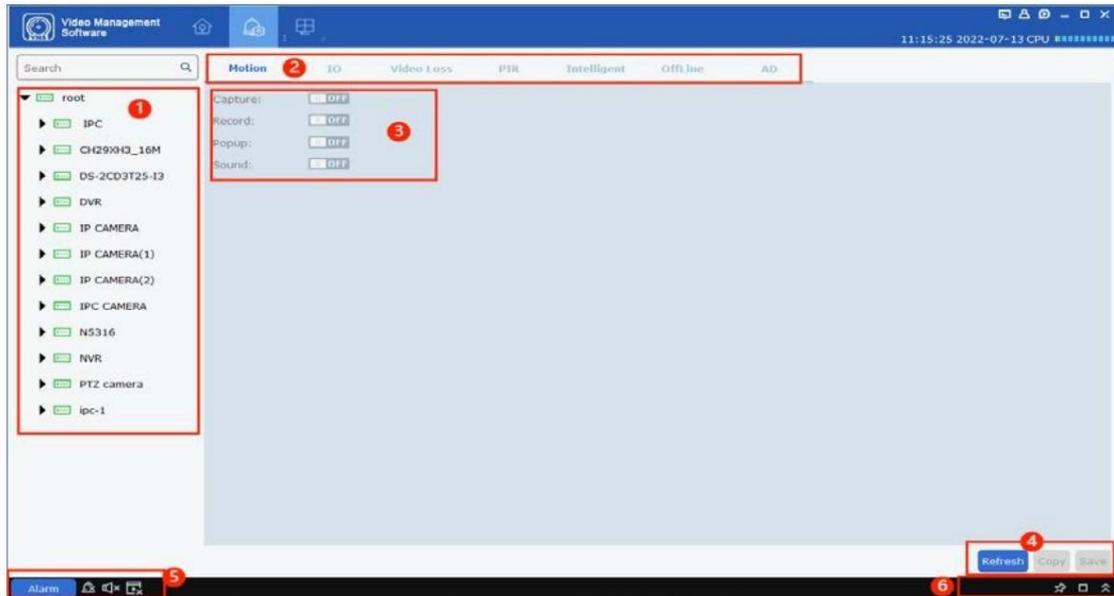
3	プレビューエリア	<p>プレビューでチャンネルを選択してください。単一チャンネルのプレビューに切り替えるには  をクリックします。</p> <p>4チャンネルプレビューに切り替えるには  をクリックして、もう一度クリックしてページを切り替えます。</p> <p>チャンネルウィンドウを開き、必要なプレビューチャンネルを選択するには  をクリックします。</p>
4	グループ出席統計エリア	<p>その日の各フェイスグループで、出席すべき人数、出席した人数、出席していない人数をそれぞれ確認します。</p> <p>ページを切り替えるのに  をクリックします。</p> <p>統計のグループを選択するのに  をクリックします。</p>
5	出席情報表示エリア	<p>出席した人の情報と出席時間を確認する。</p> <p>出席時間が白で表示されている場合、出席は正常です。</p> <p>出席時間が赤で表示されている場合、出席は異常です。</p> <p>ページを切り替えるのに  をクリックします。</p>

第15章 アラーム設定

アラーム設定ページでは、チャンネルアラームの設定やオン/オフの切り替えができます。

15.1 アラームインターフェースの概要

メインメニューから「アラーム設定」を選択して、次の図に示すようにアラーム設定ページに移動します。



このページの機能については次の表で説明します。

番号	パラメータ	説明
1	デバイスリスト	デバイス グループを開き、チャンネルを選択します。
2	アラームの種類	アラームの種類は次のオプションから選べます。 ・モーション ・I/O ・ビデオロス ・PIR ・インテリジェント ・オフライン

3	トリガーされたアラーム	<p>トリガーされた操作、次のオプションがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプチャ ・録画 ・ポップアップ ・音声
4	コピーと保存	<p>コピーをクリックして、チャンネルのアラーム発生操作を別のチャンネルやデバイスにコピーします。 設定を保存するには、「保存」をクリックしてください。</p>
5	アラームトリガー ウィンドウ、ポップ アップ、および音 声	<p>アラームトリガーのポップアップを開くには、 をクリックし、 アラームトリガーポップアップでアラームを削除するには  をクリックします。 アラーム音を有効にするには  をクリックします。 アラーム音を無効にするには  をクリックします。 アラームのポップアップを許可するには  をクリックし、アラームのポップアップを拒否するに は  をクリックします。</p>
6	アラームサムネ ールとアラームトリ ガーウィンドウ	<p>プレビューエリアでアラームのサムネイルを非表示にするかどうか選択するのに、 すなわち  をクリックします。 アラームトリガーのポップアップをズームインするのに  をクリックします。 アラームトリガーポップアップを展開または折りたたむのに  をクリックします。</p>

15.2 アラーム設定操作

ステップ 1：デバイスリストでデバイスを選択し、デバイスのチャンネルを選択します。

ステップ 2：アラームの種類を選択します。

ステップ 3：アラームタイプの下のアラームボタンをオンにし、必要なオプションを選択します。

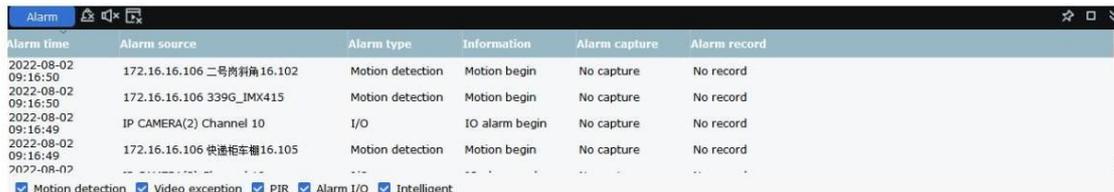
ステップ 4：保存をクリックします。

ステップ 5：同じアラーム設定を別のチャンネルやデバイスに適用するには、「コピー」をクリックし、表示されるメニューで対象のチャンネルを選択します。設定を保存するには、「確認」をクリックしてください。

(注意：コピー機能は、チャンネルのアラームトリガー操作を保存した後にのみ有効になります。)

15.3 アラームトリガーウィンドウ、ポップアップ、サウンド

左下隅にある  をクリックすると、次の図に示すように、アラームトリガーウィンドウが開きます。



Alarm time	Alarm source	Alarm type	Information	Alarm capture	Alarm record
2022-08-02 09:16:50	172.16.16.106 二号岗斜角16.102	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02 09:16:50	172.16.16.106 339G_IMX415	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02 09:16:49	IP CAMERA(2) Channel 10	I/O	IO alarm begin	No capture	No record
2022-08-02 09:16:49	172.16.16.106 快速柜车箱16.105	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02	---	---	---	---	---

Motion detection Video exception PIR Alarm I/O Intelligent

- ・ アラームトリガーウィンドウでは、次の項目が確認できます：

アラーム時間、アラームソース、アラームタイプ、情報、アラームキャプチャ、アラーム記録。

Motion detection Video exception PIR Alarm I/O Intelligent でアラームの種類を選択してください。

画像をクリックするか、詳細についてはスクリーンショットを確認してください。



をクリックして次の図に示すように、アラーム情報ウィンドウを拡大します。

Alarm time	Alarm source	Alarm type	Information	Alarm capture	Alarm record
2022-08-02 09:21:01	8M-HY08 Camerjrjruj65	Motion detection	Motion begin	Capture failed	30_6_Camerjrjruj65_20220802092101.mp4
2022-08-02 09:20:58	172.16.16.106 339G去光線程序测试 16.104	Intelligent alarm	FD alarm start	No capture	No record
2022-08-02 09:21:00	CH29XH3_16M rftg658	Sound Alarm	Sound alarm start	No capture	No record
2022-08-02 09:20:58	172.16.16.106 二号岗斜角 16.102	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02 09:20:59	172.16.16.106 RS-CH852H7C33-AP	Intelligent alarm	PD alarm end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:59	CH29XH3_16M rftg658	Sound Alarm	Sound alarm end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:59	N7508 RS-CH852H7C33-AP	Intelligent alarm	End of human and vehicle detection	No capture	No record
2022-08-02 09:20:56	CH29XH3_16M rftg658	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02 09:20:54	172.16.16.106 1F-16.151--500W	Motion detection	Motion begin	No capture	No record
2022-08-02 09:20:54	172.16.16.106 339G去光線程序测试 16.104	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:54	172.16.16.106 339G去光線程序测试 16.104	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:54	172.16.16.106 1F-16.103--200W	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:54	172.16.16.106 1F-16.101--200W	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:52	CH29XH3_16M rftg658	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:43	172.16.16.106 二号岗斜角 16.102	Motion detection	Motion end	No capture	No record
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH233ee555	Motion detection	Motion begin	22_7_CH233ee5... 22_6_CH233ee555_20220802092045.mp4	
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH3	Motion detection	Motion begin	23_7_CH3_2022... 23_6_CH3_20220802092045.mp4	
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH4	Motion detection	Motion begin	24_7_CH4_2022... 24_6_CH4_20220802092045.mp4	
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH5	Motion detection	Motion begin	25_7_CH5_2022... 25_6_CH5_20220802092045.mp4	
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH6	Motion detection	Motion begin	26_7_CH6_2022... 26_6_CH6_20220802092045.mp4	
2022-08-02 09:20:44	8M-HY08 CH7	Motion detection	Motion begin	27_7_CH7_2022... 27_6_CH7_20220802092045.mp4	

Motion detection
 Video exception
 PIR
 Alarm I/O
 Intelligent

アラームトリガー操作が行われたデバイスチャンネルが表示されるので、次の図に示すように、アラームをリアルタイムで確認できます。

PopUp Preview
✕

CH4



Channel 10

- CH4
- Camerjrjruj65
- CH8
- CH5
- CH7
- CH6
- CH233ee555
- Camera
- CH3
- rftg658

Information



Device Name :	8M-HY08
Channel Name :	CH4
Alarm type :	Motion detection
Alarm time :	2022/08/02-09:28:56

Total number of current channel alarms 1/2

Automatic update alarm
 Exit to clear all alarms

Previous page
Next page
Exit

自動更新アラーム：選択した場合、新しいアラームがトリガーされたときに、アラームチャンネルが

VMS Proに自動的に表示されます。

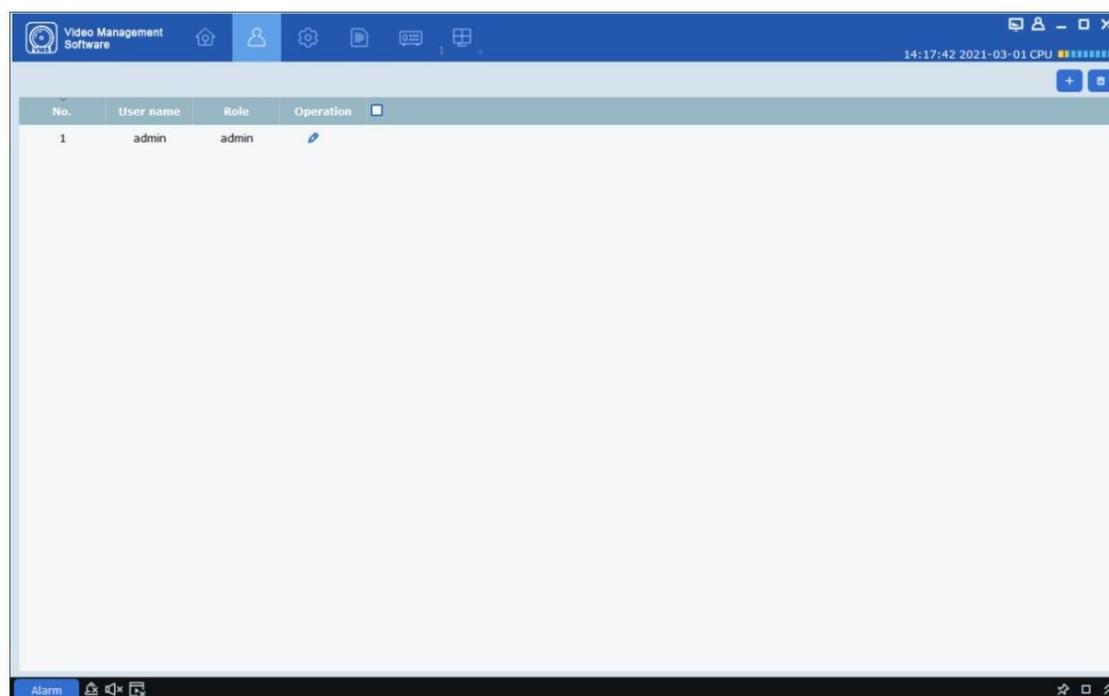
すべてのアラームをクリアして終了する：選択した場合、アラームページを終了するとすべてのチャンネルアラームがクリアされます。

第16章 アカウント管理

アカウント管理ページでユーザーを追加・削除し、ユーザー権限を変更します。

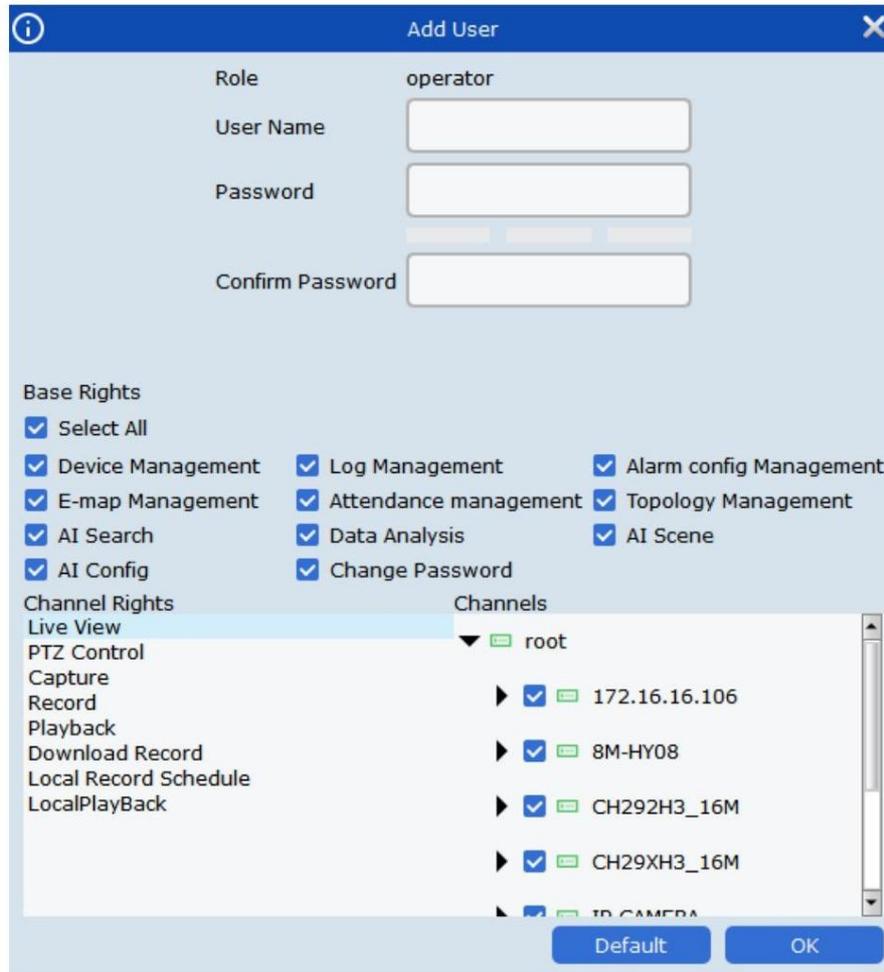
16.1 ユーザーの追加

ステップ 1：メインメニューから[アカウント管理]を選択して、次の図に示すようにアカウント管理ページに入ります。



ステップ 2：右上隅の  をクリックします。

次の図に示すように、ダイアログボックスが表示されます。



Add User

Role: operator

User Name:

Password:

Confirm Password:

Base Rights

- Select All
- Device Management
- E-map Management
- AI Search
- AI Config
- Log Management
- Attendance management
- Data Analysis
- Change Password
- Alarm config Management
- Topology Management
- AI Scene

Channel Rights

- Live View
- PTZ Control
- Capture
- Record
- Playback
- Download Record
- Local Record Schedule
- LocalPlayBack

Channels

- root
 - 172.16.16.106
 - 8M-HY08
 - CH292H3_16M
 - CH29XH3_16M
 - IP CAMERA

Default OK

パラメータについては次の表で説明します。

パラメータ	説明
ユーザー名	ユーザーを識別する唯一のもの。ユーザー名は独自のものです。
パスワード	ユーザーのパスワードとパスワードの確認。
パスワードを認証する	パスワードは一貫している必要があります。
基本の権利	<p>必要に応じて基本的なユーザー権限を設定します。</p> <p>権限には以下が含まれます。</p> <p>デバイス管理：デバイス管理</p> <p>ログ管理：ログ管理</p> <p>アラーム設定管理：アラーム設定管理</p> <p>E-map Management：電子地図管理</p> <p>勤怠管理：勤怠管理</p> <p>トポロジ管理：トポロジ管理</p> <p>AI検索：インテリジェント検索、データ分析：データ分析</p> <p>AIシーン：インテリジェントシーン</p> <p>AI設定：インテリジェント構成</p> <p>パスワードの変更：パスワードを変更する</p>

ステップ3: 必要に応じてチャンネルの権限を設定します。権限ごとに右側のチャンネルを選択します。

パラメータは以下の表のとおりです。

パラメータ	説明
ライブビュー	リアルタイムプレビュー
PTZコントロール	PTZコントロール
キャプチャ	キャプチャ
記録	録音
再生	再生
記録をダウンロード	録音をエクスポートする
ローカルレコードスケジュール	ローカル録音プラン
ローカル再生	ローカル再生

ステップ4: 設定後、「OK」をクリックしてユーザーを追加します。デフォルトの権限に戻すには、「OK」をクリックする前に「デフォルト」をクリックします。

注: 管理者はすべての権限を持ちます。権限を変更または削除することはできません。

追加されたユーザーの権限を変更したり、ユーザーを削除したりすることは可能です。

16.2 ユーザーの変更

The screenshot shows the 'Add User' dialog box. The Role is set to 'operator'. The User Name is 'abc123'. The Password and Confirm Password fields are masked with dots. The Base Rights section has 'Select All' checked, along with 'Device Management', 'E-map Management', 'AI Search', 'AI Config', 'Log Management', 'Attendance management', 'Data Analysis', 'Change Password', 'Alarm config Management', 'Topology Management', and 'AI Scene'. The Channel Rights section is expanded to show 'Channels' with a list of checked items: 'root', '172.16.16.106', '8M-HY08', 'CH1ttjj333', and 'CH233ee555'. The dialog has 'Default' and 'OK' buttons at the bottom.

ステップ 1：変更したいユーザーの横にある  をクリックします。

ステップ 2：表示されるページで、必要に応じてユーザー権限、ユーザー名、およびパスワードを変更します。

ステップ 3：変更を保存するには「OK」をクリックしてください。

16.3 ユーザーの削除

削除したいユーザーの横にある  をクリックしてください。ダイアログボックスが表示されます。「OK」をクリックしてください。

または、削除したい複数のユーザーのチェックボックスをクリックし、ページの右上隅の  をクリックしてユーザーを削除します。

管理ユーザーは削除できないことに注意してください。

第17章 ローカル記録計画

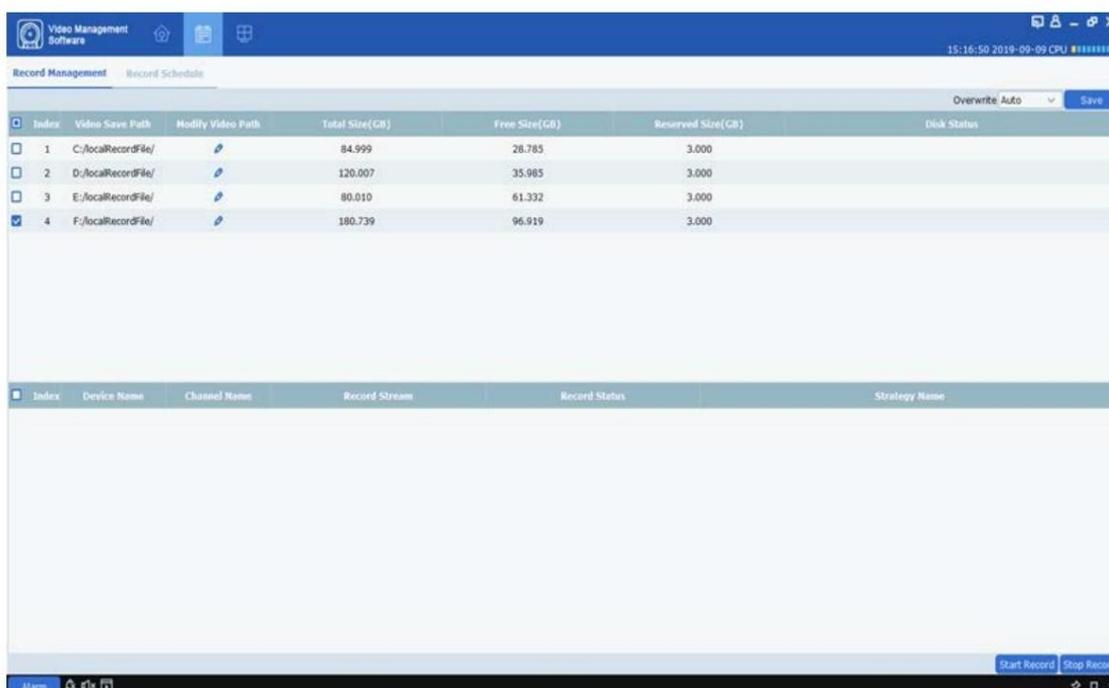
この章では、ローカル録画プランを構成する方法について説明します。

ステップ 1：メインメニューから「ローカル記録」を選択して次の図に示すように記録プランパスの選択ページに入ります。



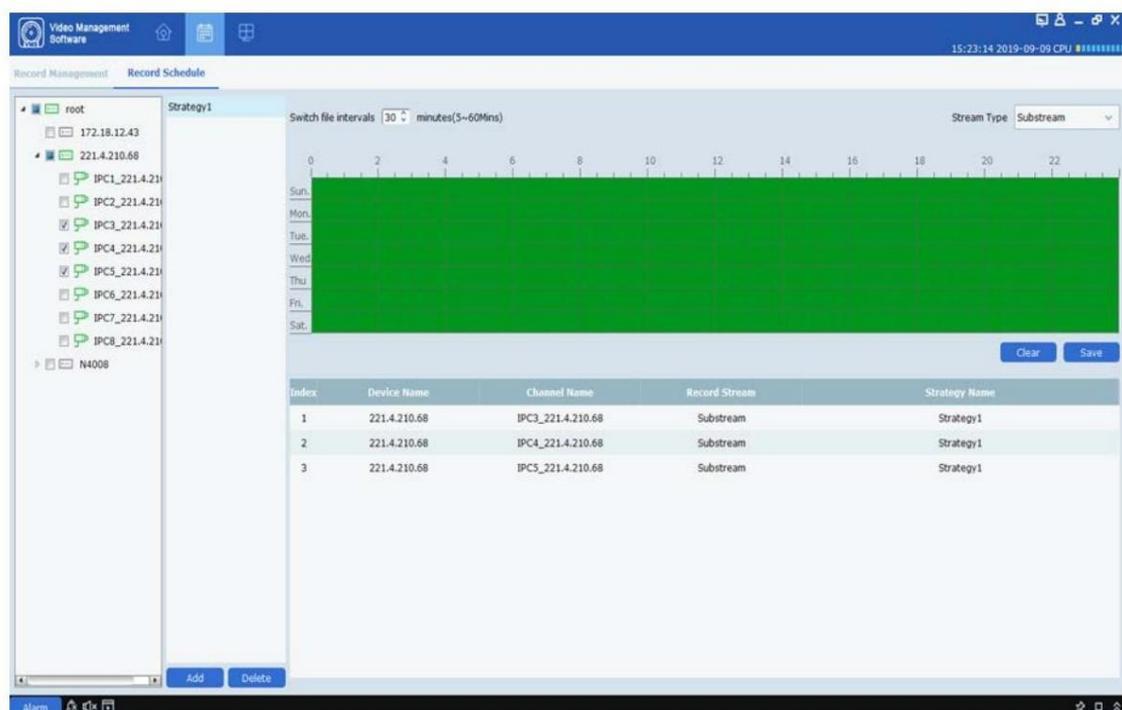
ステップ 2：パスを選択し、「保存」をクリックします。

次の図に示すように、ローカル録画プランのページが表示されます。



ステップ 3：予約サイズ(GB)を設定する領域をダブルクリックし、右上の「上書き」をクリックして時間を上書きし、「保存」をクリックします。

ステップ4: 「録画スケジュール」をクリックして、録画プランの設定ページに入ります。デバイスツリーで必要なデバイスを選択します。マウスの左ボタンを押したままドラッグし、グリッドエリアで特定の録画時間を設定するようにドラッグし、次の図のように「保存」をクリックします。

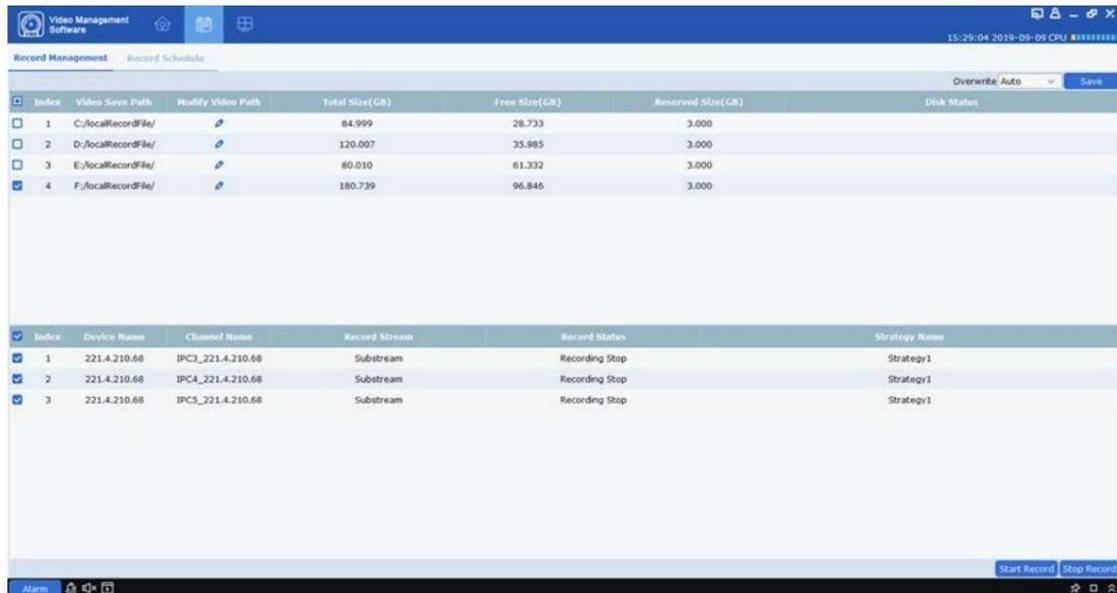


ステップ5: 設定後、記録管理ページに戻り、必要なデバイスチャンネルを選択するか、

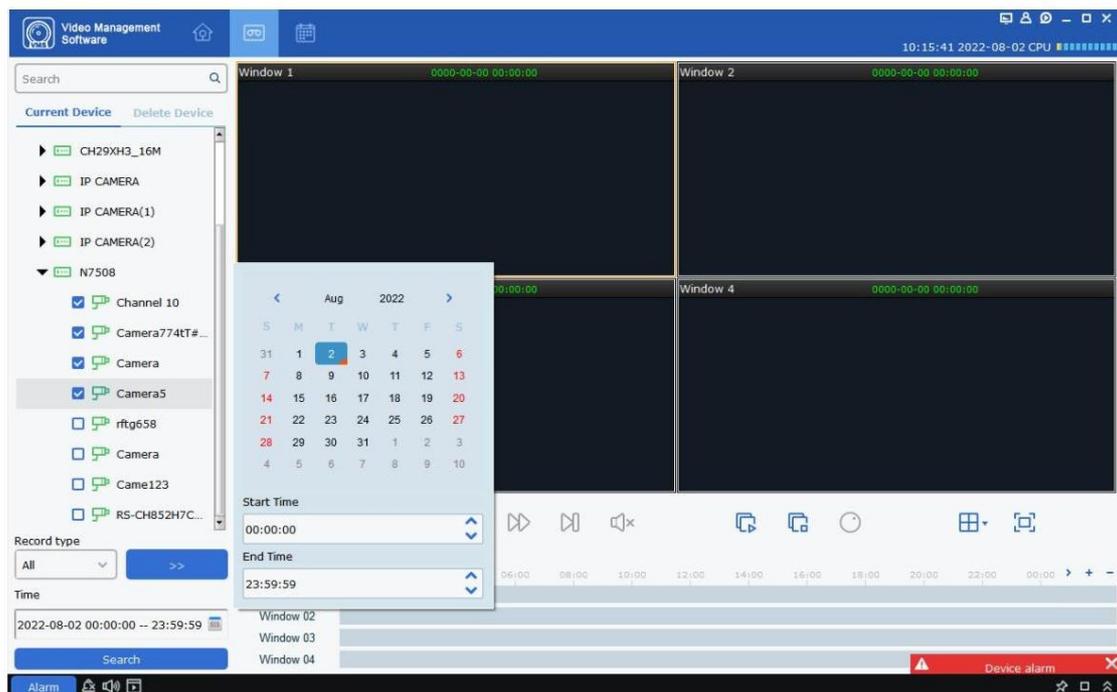
すべてのチャンネルを選択し、右上隅の **Start Record** をクリックして録画を開始します。

録画が開始されると、レコード管理ページのディスクステータス列に「書き込み中」、レコードステータス列に「録画中」と表示されます。これは、ディスクがローカルで録画中であることを意味しており、以下の図のように示されています。

ステップ 6：右下隅の **Stop Record** をクリックしてローカル記録を停止します。
 すると、録画管理ページのディスクステータス欄から「書き込み」が消え、レコードステータス欄に「録画停止」が表示され、以下の図のようになります。



ステップ 7：メインメニューから「ローカル再生」を選択して、ローカル再生ページに移動します。
 チャンネルを選択すると、次の図に示すように、カレンダーにローカル録画の日付がマークされていることがわかります。



ステップ 8：ローカル再生の詳細な操作については、第 8 章「ローカル再生」を参照してください。

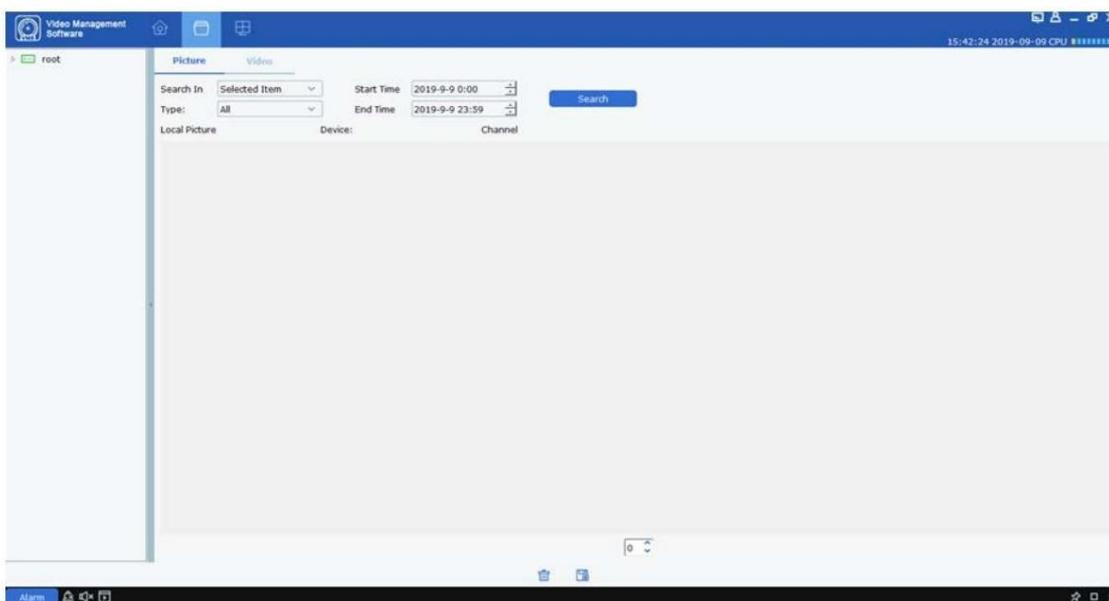
第18章 ファイル管理

ローカルの録画と画像を表示および再生します。

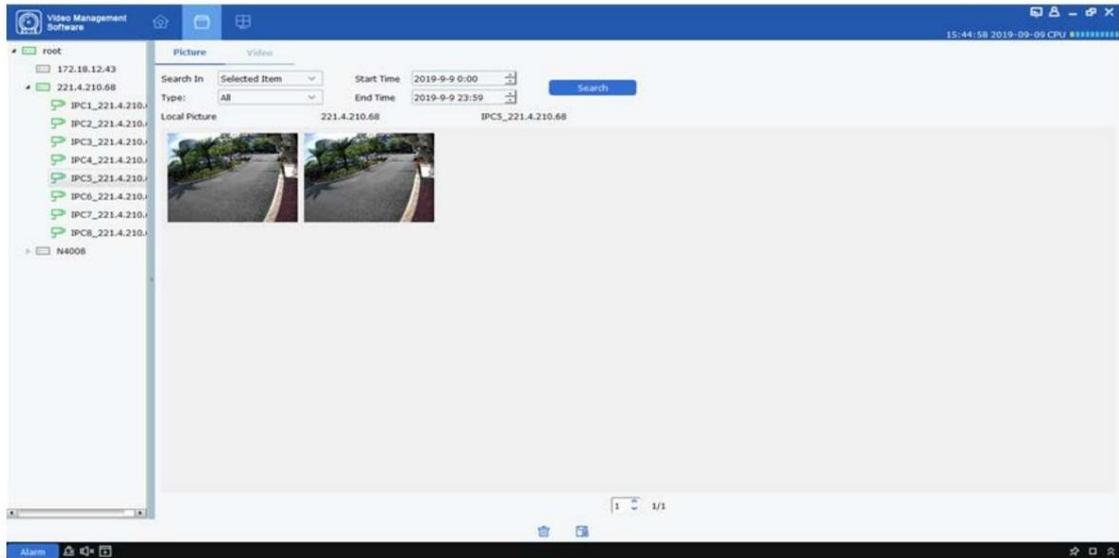
録画と画像には、プレビューで表示される録画とキャプチャも含まれます。

18.1 ローカル画像の再生とエクスポート

ステップ 1：メインメニューから[ファイル管理]を選択して、次の図に示すようにファイル管理ページに移動します。



ステップ2：左側のデバイスグループで、目的のデバイスチャンネルを選択し、日時を設定して「検索」をクリックし、画像を検索できます。検索結果は次の図のように表示されます。



ステップ 3：表示する画像をダブルクリックします。

注：画像を右クリックして **Show in Explorer** を選択すると、画像が保存されているフォルダが表示されます。

画像を削除するには右クリックして **Deleted File** を選択してください。

この機能はページ下部の  と同じです。画像を他のディレクトリにエクスポートするには

Copy File を選択して右クリックしてください。。機能はページ下部の  と同じです。

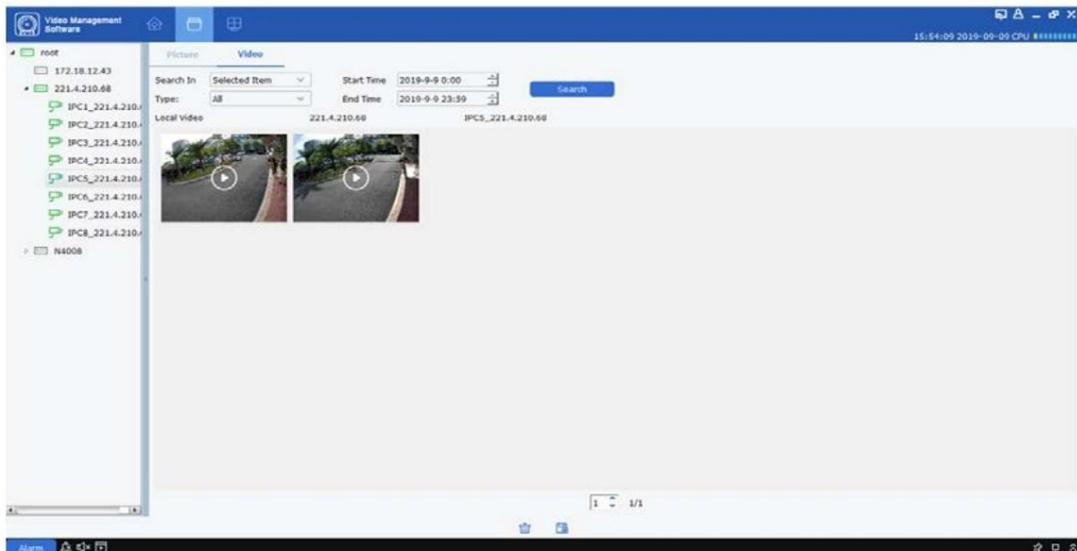
18.2 ローカル録画の再生とエクスポート

ステップ1: メインメニューから「ファイル管理」を選択してファイル管理ページに移動します。

次に「ビデオ」をクリックしてビデオページに切り替えます。

ステップ2: 左側のデバイスグループで、目的のデバイスチャンネルを選択し、日時を設定して「検索」をクリックし、

録画を検索します。指定した日付に存在する録画は、次の図のように表示されます。



ステップ 3: 再生するローカル録画をダブルクリックすると、次の図に示すように録画の再生が開始されます。



注：録画画像を右クリックして **Show in Explorer** を選択するとフォルダーに録画が表示されます。

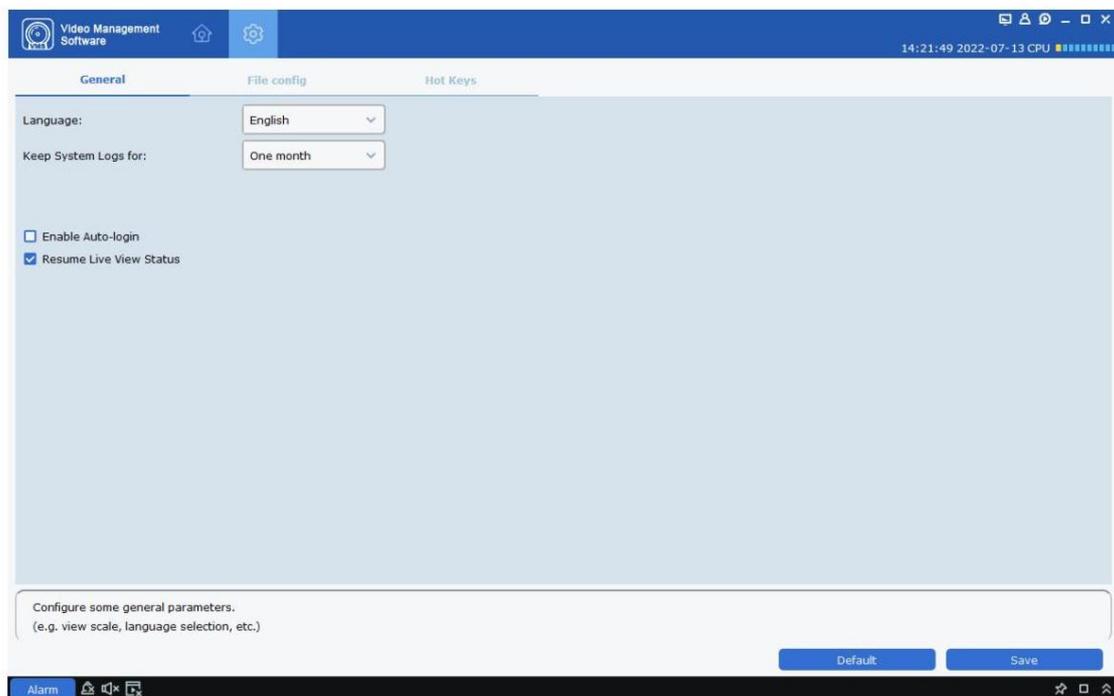
録画を削除するには「右クリックして **Deleted File** を選択してください。

この機能はページの下部の  と同じです。録音を別のディレクトリにエクスポートするには **Copy File** を選択して右クリックしてください。この機能はページ下部の  と同じです。

第19章 システム構成

一般設定とファイル設定を含むソフトウェアシステムパラメータを設定します。

ステップ 1：メインメニューから[システム設定]を選択して、次の図に示すようにシステム構成ページに移動します。



ステップ2: システムパラメータを設定します。パラメータについては次の表で説明します。

パラメータ		説明
一般	言語	英語がサポートされています。
	システムログを保存する	システムログの保存期間： <ul style="list-style-type: none"> ・ 一週間 ・ 半月 ・ 一ヶ月
	自動ログインを有効にする	自動ログインを有効にします。
	ライブビューステータスを再開	ライブビューを復元します。
ファイル設定	ファイルタイプ	ファイルストレージの種類。 以下のオプション： <ul style="list-style-type: none"> ・ rf ・ AVI ・ mp4
	最大ファイルサイズ	最大ファイルサイズ 以下のオプション： <ul style="list-style-type: none"> ・ 1G ・ 2G
	ディスク容量が__MB未満の時のアラーム	値を設定します。ディスクの空き容量がこの値より少ない場合、アラームが作動します。 チェックボックスを選択して値を設定してください。
	保存した写真のパス	ローカル画像のストレージパスを設定する

	保存した動画のパス	ローカル録画の保存パスを設定します。
	アラーム音	各アラームトリガータイプのアラーム音を設定します。
ホットキー	<p>フルスクリーンでリアル再生（フルスクリーンモードを有効にする）</p> <p>維持（プレビューモードを有効にする）</p> <p>リモート再生（リモート再生を有効にする）</p> <p>システム設定（システム設定を開く）</p> <p>アラームイベント（アラームを開く）</p> <p>クルーズ設定（クルーズ設定を開く）</p> <p>デバイス管理（デバイス管理を開く）</p> <p>ロック画面（画面をロックする）</p> <p>システム設定（システム設定を開く）</p> <p>アラームイベント（アラームを開く）</p> <p>クルーズ設定（クルーズ設定を開く）</p> <p>デバイス管理（デバイス管理を開く）</p> <p>ロック画面（画面をロックする）</p> <p>ローカル録画（ローカル録画を開く）</p>	<p>ホットキーを使ってモジュールに素早く入ることができ、後半の部分でホットキーをダブルクリックして変更することができます。</p>

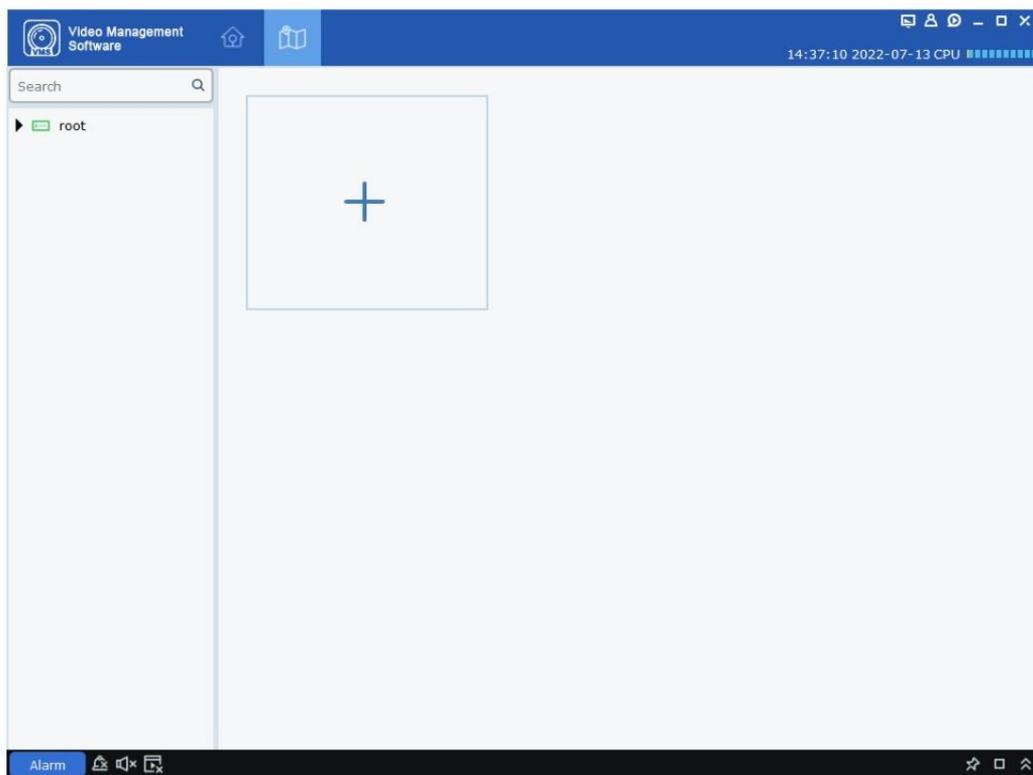
ステップ 3：「保存」をクリックしてシステム設定を完了します。

第20章 電子地図管理

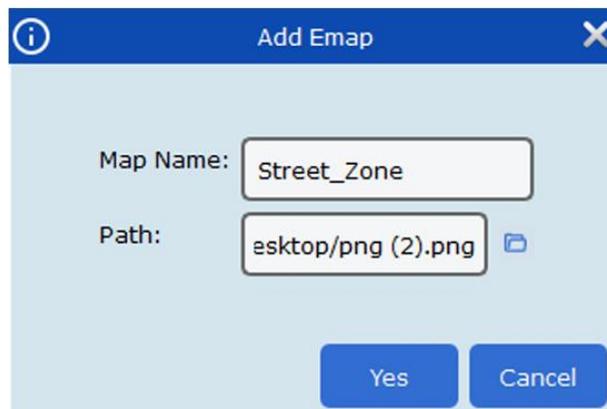
電子地図を使用すると、警報チャンネルが存在する位置を確認したり、チャンネルの動画やアラームを表示します。

20.1 マップの追加

ステップ 1：メインメニューから[Emap 設定]をクリックして、次の図に示すようにマップ構成ページに移動します。



ステップ2：ページで  をクリックします。次の図に示すように、マップ選択ダイアログボックスが表示されます。

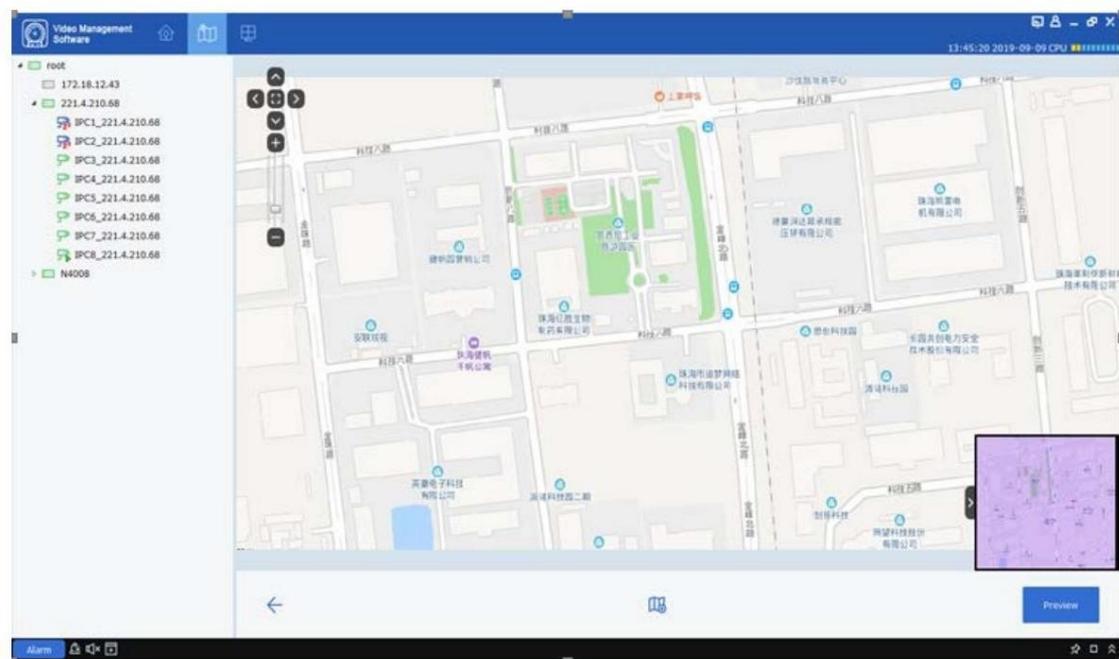


ステップ 3：マップに名前を付け、マップパスを指定します。

ステップ 4：[はい]をクリックして保存します。

20.2 マップの編集

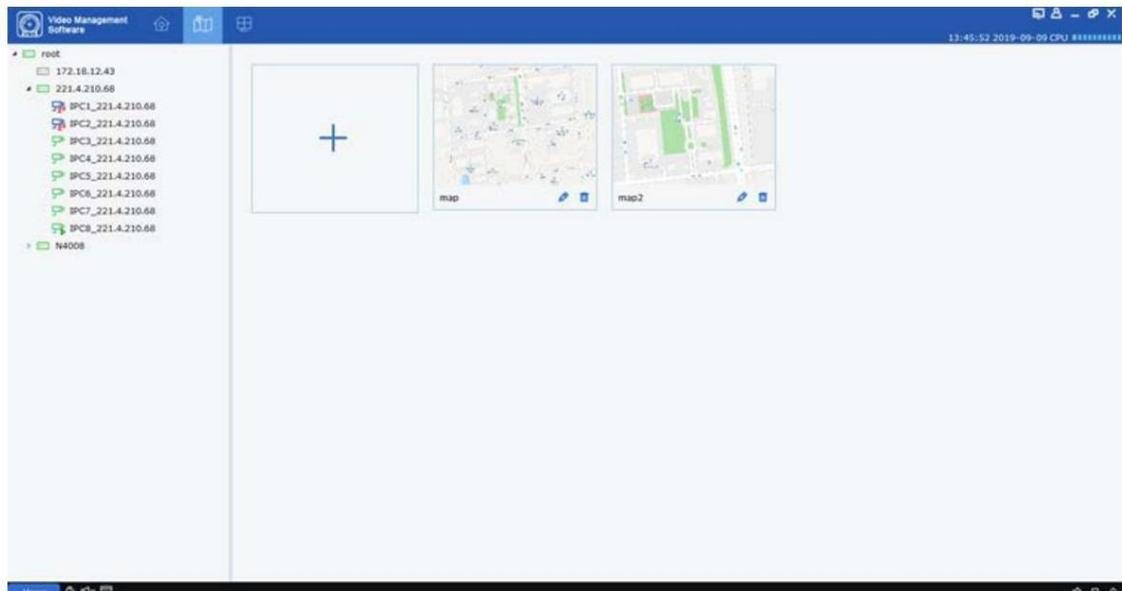
次の図に示すように、編集するマップをダブルクリックして編集ページに移動します。



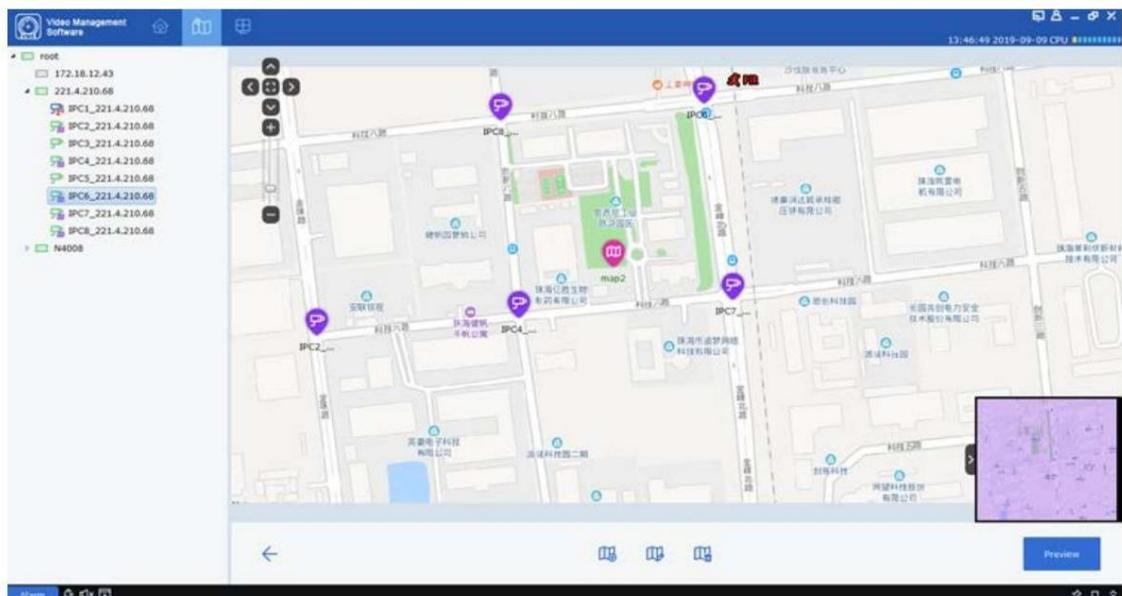
ステップ 1：左側のデバイスグループで、必要なデバイスをマップ上の特定の位置にドラッグします。

ステップ 2： をクリックして地図上にホットエリアを追加します。

注：ホットエリアを追加するには、新しいマップを追加する必要があります。



ステップ 3：次の図に示すように、マップにホット エリアを追加し、必要なデバイスをマップ上の特定の位置にドラッグします。



注：デバイスからのリアルタイムアラームを受信するには、右下隅のプレビューをクリックします。

デバイスをダブルクリックすると、デバイス監視画面表示されます。

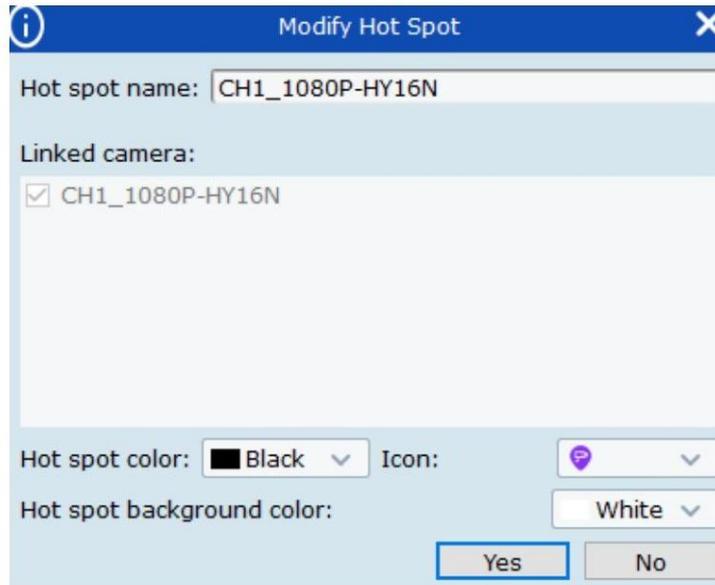
ホットエリアアイコンをダブルクリックして、ホットエリアマップに入ります。右下の「プレビュー」をクリックして、

デバイスからリアルタイムのアラームを受信してください。デバイスをダブルクリックして、デバイス監視画面を表示します。

地図上でデバイスのアラームをはっきり確認するため  をクリックします。

20.3 デバイスの変更と削除

1. 次の図に示されているようにデバイスアイコンをクリックし、ダブルクリックまたは  をクリックしデバイスページに入ります。



Modify Hot Spot

Hot spot name: CH1_1080P-HY16N

Linked camera:

CH1_1080P-HY16N

Hot spot color: Black Icon: 

Hot spot background color: White

Yes No

パラメータの説明:

ホットスポット名：カメラスポットの名前

リンクされたカメラ：関連するカメラ

ホットスポットカラー：カメラスポットの色

アイコン：カメラスポットのアイコン

ホットスポットの背景色：カメラスポット名の背景色

2. デバイスアイコンをクリックし、 をクリックします。

デバイス削除のダイアログボックスが表示されます。削除を完了するには「OK」をクリックしてください。

第21章 インテリジェント構成

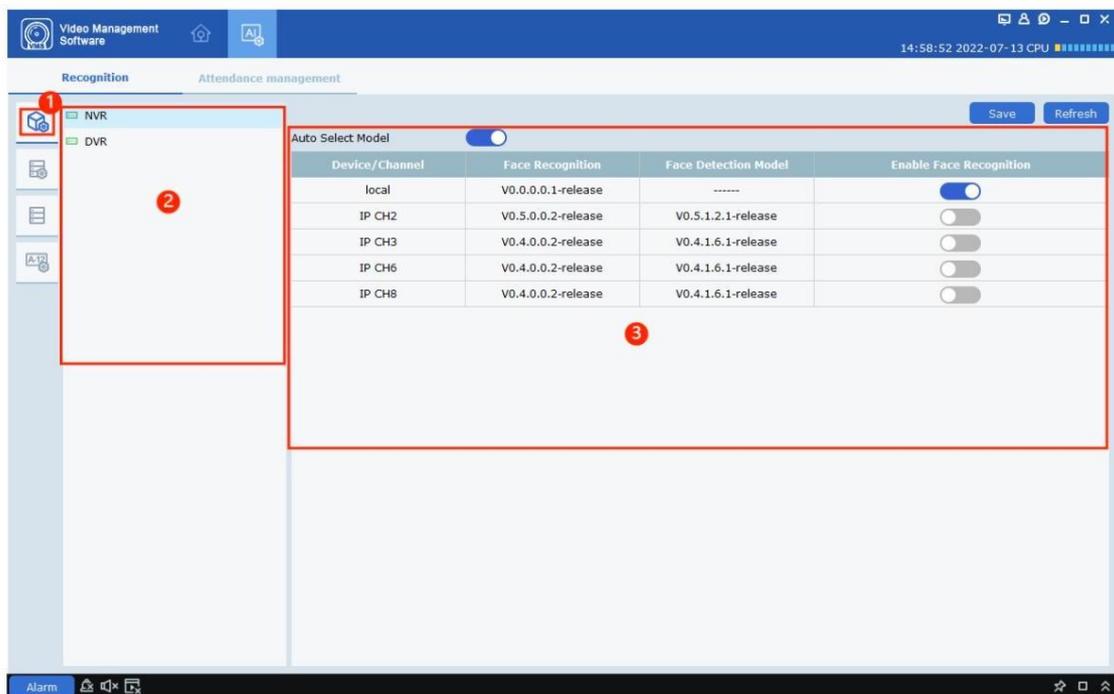
21.1 認識管理

AI設定ページで「認識」をクリックすると、顔編集ページが開きます。このページには、モデル設定、顔データベース管理、データベース同期、ナンバープレート管理などの機能が含まれています。

1. モデル構成

顔モデルを管理し、様々な顔の計算方法を選択します。

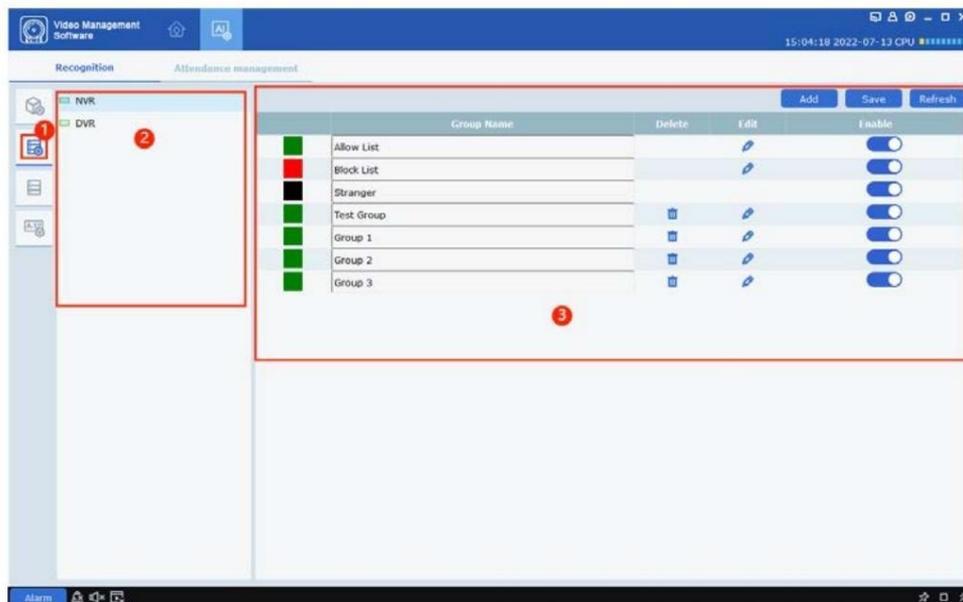
モデル設定アイコンをクリックすると、次の図に示すようにモデル設定ページに入ります。



番号	項目	説明
1	モデル管理タブ	クリックするとモデル管理ページに入ります。
2	デバイスツリー	デバイスを表示して選択します。
3	モデル管理領域	<p>ページにアクセスし、デバイスを選択してデバイスモデル情報を表示してください</p> <p>デバイス/チャンネル列の「ローカル」はデバイスモデルを示します。Ch1...はIPカメラのモデルを示します。選択できるモデルは1つだけです。</p> <p>自動モデル選択を有効にしている場合、手動でモデルを選択することはできません。</p> <p>設定が終わったら、選択したモデルを保存するために「保存」をクリックしてください。</p> <p>顔認識：顔認識モデルのバージョンを表示します。</p> <p>顔検出モデル：顔検出モデルのバージョンを確認します。</p> <p>保存：変更を保存します。</p> <p>更新：データを更新します。</p>

2. 顔データベース管理

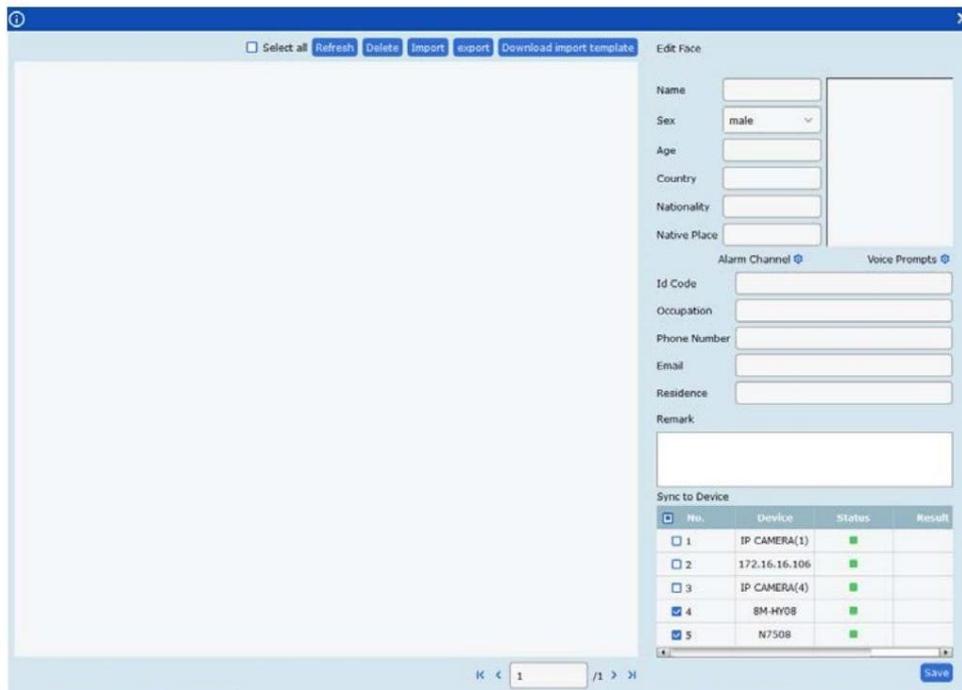
顔グループの追加と削除、フェイスグループ情報の変更。フェイスデータベース管理ページは次の図のようになります。



NO.	項目	説明
1	顔データベース管理タブ	クリックして顔データベース管理ページに入ります。
2	デバイスツリー	デバイスを表示して選択します。
3	顔データベース管理エリア	<p>1つのデバイスで最大16の顔グループを作成できます。</p> <p>許可リスト、ブロックリスト、および見知らぬ人は固定されており、削除できません。</p> <p>グループ名：変更可能な顔グループ名を表示します。</p> <p>削除：3つの固定グループを除く顔グループを削除します。</p> <p>編集：顔グループ内の画像を追加、削除、変更する。</p> <p>有効化：顔グループのステータスを表示します。</p> <p>追加：フェイスグループを追加します。</p> <p>保存：変更を保存する。</p> <p>更新：データを更新する。</p>

顔画像情報を追加、削除、編集します。

次の図のように、グループ設定ページに入るにはグループを選択して  をクリックします。



顔画像の追加：「インポート」をクリックします。次の図に示すように、インポート方法のダイアログボックスが表示されます。



デバイス画像：デバイスでキャプチャされた顔画像を検索し、特定のグループに画像をインポートします。

ローカル画像：デバイスで撮影された顔画像を検索し、画像を特定の場所にインポートします。

ローカル画像：ローカルに保存された顔画像を選択し、特定のグループに画像をインポートします。

ローカル画像ディレクトリ：顔画像を保存しているローカルディレクトリを選択し、画像をバッチで特定のグループにインポートします。

顔画像をエクスポート：現在のグループ内の顔画像を選択し、「エクスポート」をクリックします。

次に、画像をローカルストレージにエクスポートするためのローカル保存先を選択します。

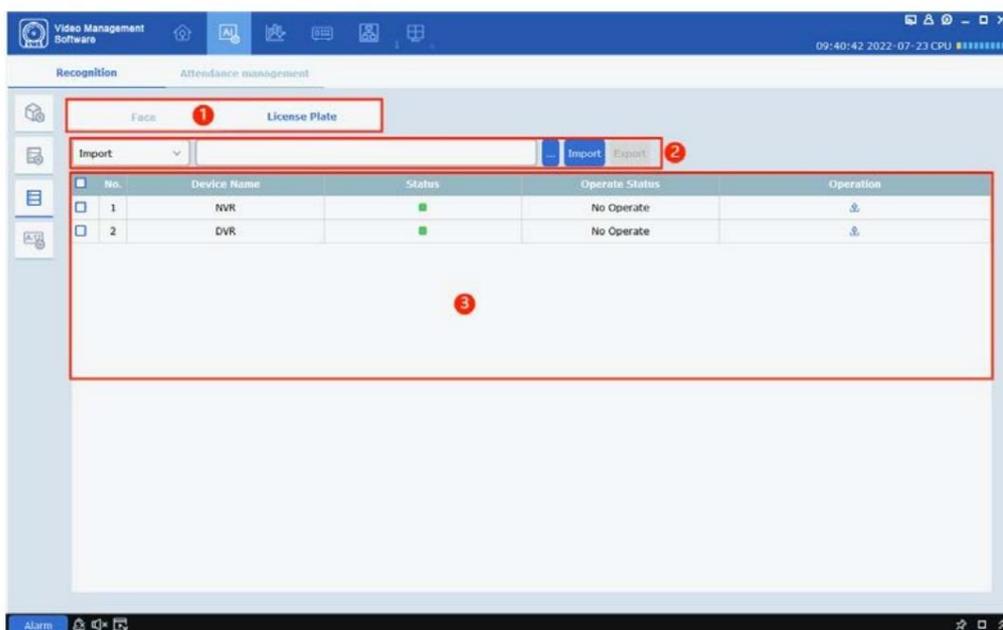
インポートテンプレートをダウンロード： [インポートテンプレートをダウンロード]をクリックし、インポートテンプレートをローカルストレージにダウンロードするためのローカル保存先を選択します。テンプレートファイルの説明に基づいて画像を編集してください。ローカル画像をクリックして、画像と関連情報を含む.csvファイルを一括でインポートします。

顔画像の削除：現在のグループ内の顔画像を選択し、そして、選択した画像を削除するには「削除」をクリックします。

更新：現在のグループを更新するには、「更新」をクリックします。

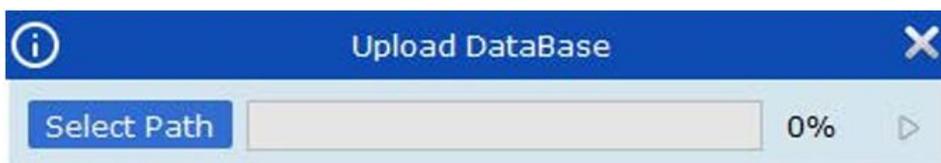
3. データベースの同期

認識管理ページで、顔およびナンバープレートのデータベースをインポートおよびエクスポートします。



番号	項目	説明
1	データベースの選択	顔またはナンバープレートのデータベースページにアクセスするにはクリックしてください。
2	輸入と輸出	データベースをインポートおよびエクスポートし、ローカルの保存先を選択します。
3	デバイスリスト	データベース操作をサポートするデバイスを表示します。

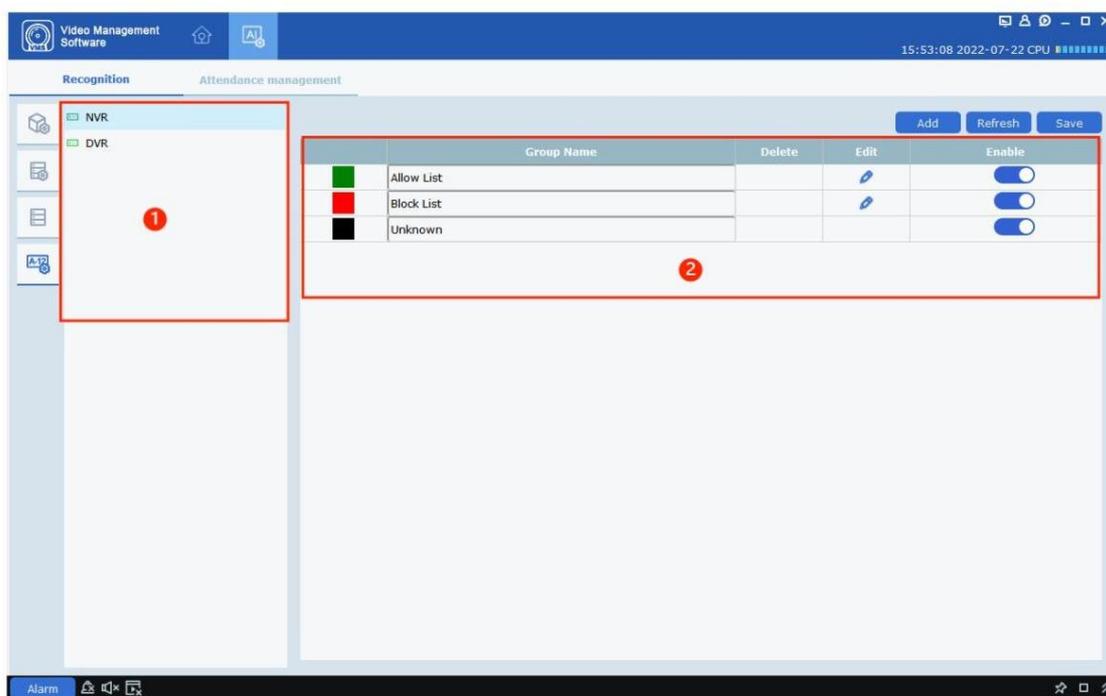
データベースをインポートまたはエクスポートする：  をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。



パスを選択して  をクリックします。進行状況バーがいっぱいになると、インポートまたはエクスポートが成功します。

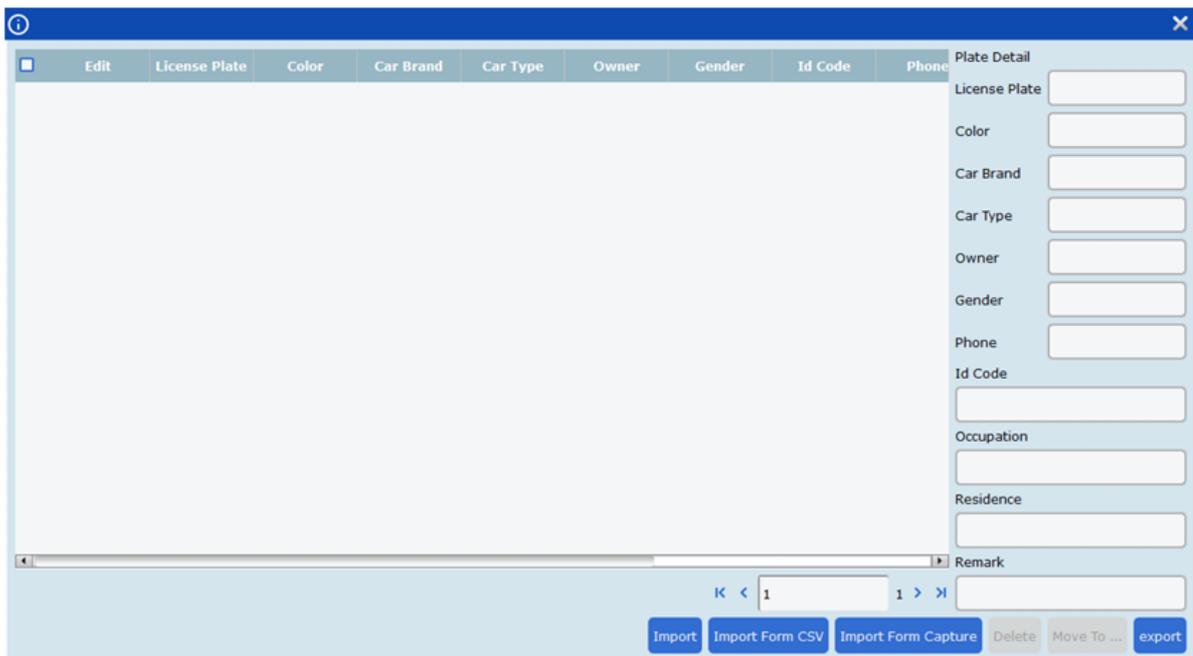
4. ナンバープレート管理

AI設定ページで、ナンバープレートのグループを追加・削除したり、グループ情報を編集したりできるプレート管理ページには  をクリックしてください。



番号	項目	説明
1	デバイスツリー	デバイスを表示して選択します。
2	ナンバープレートデータベース管理エリア	<p>1つのデバイスに対して最大64のナンバープレートグループを作成できます。許可リスト、ブロックリスト、および不明は固定されており、削除することはできません。</p> <p>グループ名: 変更可能なナンバープレートのグループ名を表示します。</p> <p>グループ名: 変更可能なナンバープレートのグループ名を表示します。</p> <p>編集: ナンバープレートの情報を追加、削除、変更する。</p> <p>有効にする: ナンバープレートグループの状態を表示します。</p> <p>追加: ナンバープレートグループを追加</p> <p>保存: 変更を保存する。</p> <p>更新: データを更新する。</p>

グループを選択して次の図のように、ナンバープレート設定ページに入るのに  をクリックします。



「インポート」をクリックします。次の図に示すように、ナンバープレート情報の入力ページが表示されます。

The image shows a 'Plate Edit' window with the following fields and controls:

- License Plate: Text input field
- Color: Dropdown menu (Blue)
- Car Brand: Text input field
- Car Type: Text input field
- Owner: Text input field
- Gender: Dropdown menu (male)
- Id Code: Text input field
- Occupation: Text input field
- Phone: Text input field
- Residence: Text input field
- Remark: Text input field
- Alarm Channel: Checkbox
- Voice Prompts: Checkbox
- Save: Button
- Exit: Button

ページに該当するナンバープレート情報を入力し、対応する音声および警報チャンネルを設定してください。

エクスポートをクリックし、現在のグループからナンバープレート情報をエクスポートするためのローカル保存先を選択します。

ファイル形式は .csv です。

「CSVからインポート」をクリックし、ローカルの .csv ファイルを選択して、車両情報をまとめてインポートします。

キャプチャからインポートをクリックしてください。表示されたページで、デバイスによって撮影されたナンバープレートの画像を探してください。

検索結果から画像を選択し、情報を編集してインポートします。

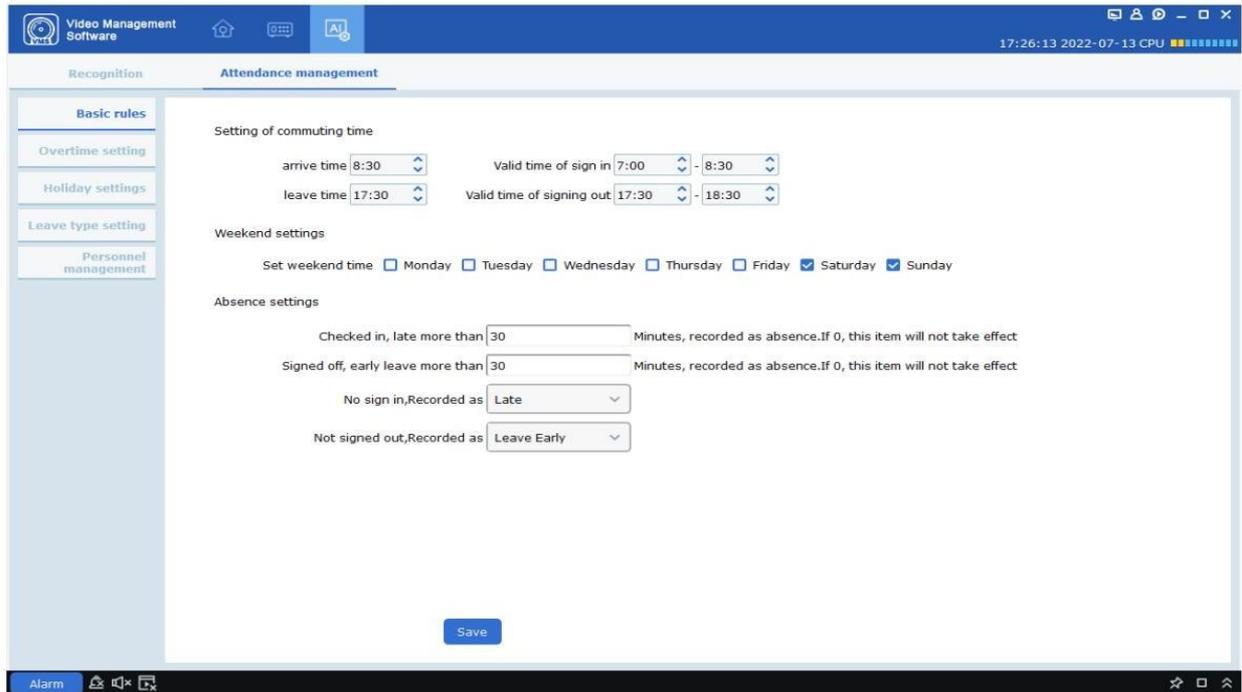
「移動」をクリックして、選択したナンバープレート情報を別のグループに移動します。

削除をクリックして、選択したナンバープレート情報を削除します。

21.2 勤怠管理

メインメニューから「AI設定」を選択し、AI設定ページに移動します。

次の図に示すように、「勤怠管理」をクリックします。



勤怠管理ページの機能については、次の表で説明します。

パラメータ	説明
アラーム設定タイプ	アラーム設定タイプ。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none">基本ルール残業設定休日設定休暇種類設定人事管理

1. 基本ルール

The screenshot shows the 'Attendance management' configuration page in the Video Management Software. The interface is divided into a sidebar and a main content area. The sidebar contains navigation links for 'Basic rules', 'Overtime setting', 'Holiday settings', 'Leave type setting', and 'Personnel management'. The main content area is titled 'Attendance management' and includes the following sections:

- Setting of commuting time:** Includes dropdown menus for 'arrive time' (8:30), 'leave time' (17:30), 'Valid time of sign in' (7:00 - 8:30), and 'Valid time of signing out' (17:30 - 18:30).
- Weekend settings:** A row of checkboxes for 'Monday', 'Tuesday', 'Wednesday', 'Thursday', 'Friday', 'Saturday', and 'Sunday'. 'Saturday' and 'Sunday' are checked.
- Absence settings:** Includes input fields for 'Checked in, late more than' (30) and 'Signed off, early leave more than' (30), both with the unit 'Minutes, recorded as absence. If 0, this item will not take effect'. It also has dropdown menus for 'No sign in, Recorded as' (set to 'Late') and 'Not signed out, Recorded as' (set to 'Leave Early').

A 'Save' button is located at the bottom center of the main content area.

Setting of commuting time : 勤務時間を設定し、出勤と退勤の有効時間を設定します。

Weekend settings : 週末の曜日を設定します。選択した曜日は休日となります。

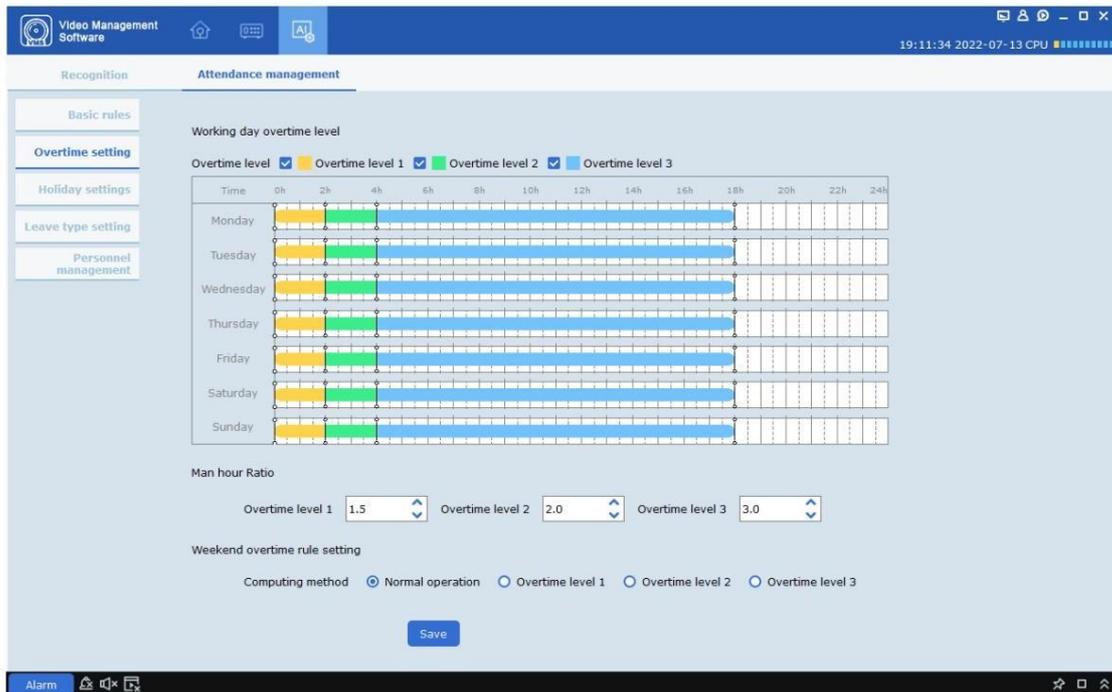
Absence settings : 欠勤を設定します。サインイン後に遅刻し、始業時刻からX分経過した場合、

その人は欠勤として記録されます。サインアウト後に早退時刻から終業時刻までX分経過した場合、

欠勤として記録されます。どちらの場合も、値が0の場合、データは無効です。出勤または退勤が

記録されていない場合は、欠勤または早退として設定できます。

2. 残業時間の設定



Working day overtime level : 平日の残業レベル。合計で三段階です。

残業レベルのチェックボックスが選択されている場合、そのレベルが選択されます。

色のバーをドラッグして、残業レベルの時間範囲を設定します。

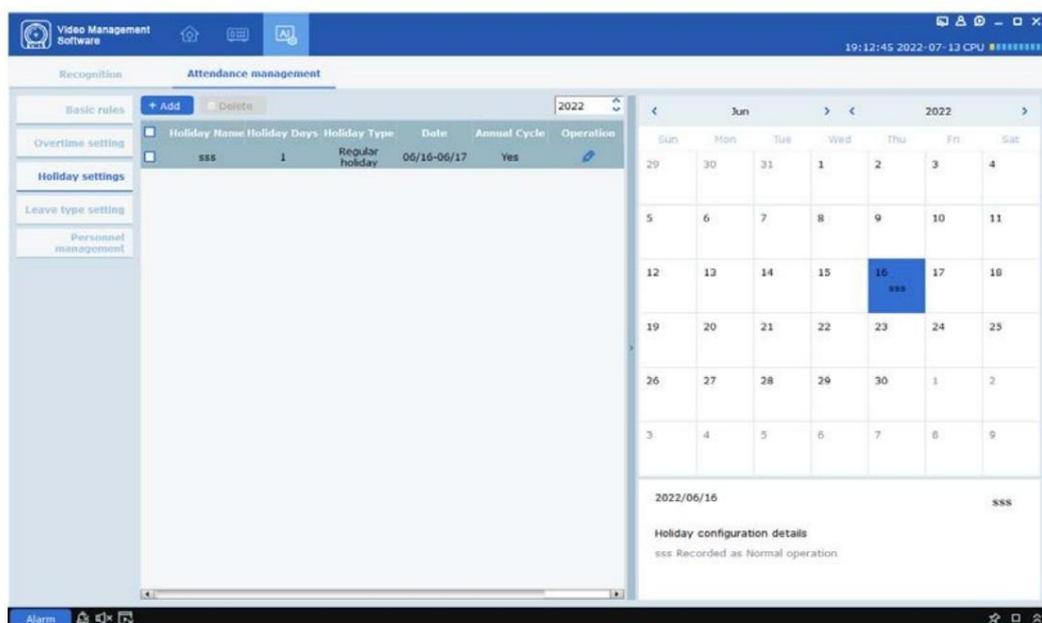
Man hour Ratio : 週末残業規則。週末の残業の時間外レベルを設定してください。残業時間はレベルに応じて計算されます。

Weekend overtime rule setting : 工数比率。各残業レベルの工数比率を設定します。

残業時間は比率に応じて計算されます。

残業規則をシステムのデータベースに保存するために **Save** をクリックします。

3. 休日設定



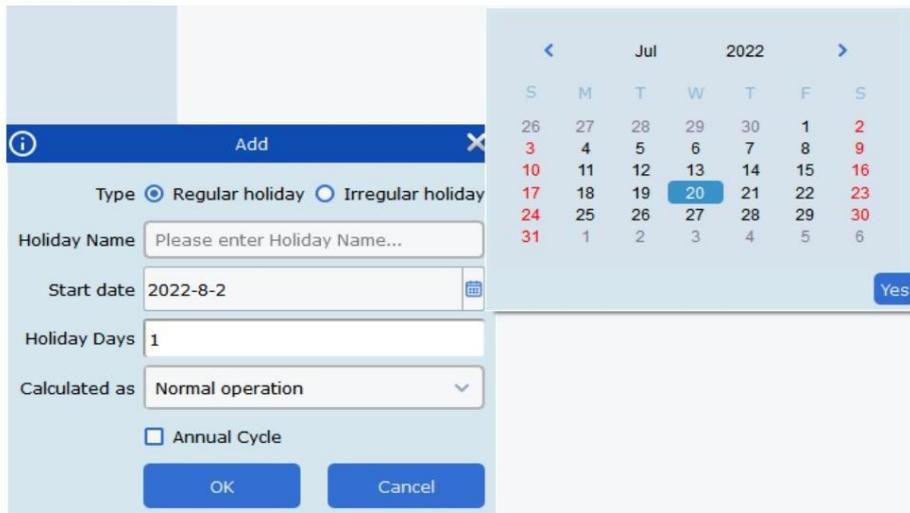
休日または代休の制度を設定します。設定項目は以下の表のとおりです。

パラメータ	説明
休日名	祝日の名前。名前は必須です。空欄にすると、通知されます。
休日	休日日数
休日の種類	休日の種類
日付	休日の開始日と終了日
年間サイクル	毎年繰り返すかどうか
手術	設定された休日を変更する

+ Add をクリックした後、休暇の設定が表示され、休暇の種類を選択できます。 **Regular holiday** を選択すると祝日の名前を入力し、開始時間を設定し、祝日の日数を入力し、残業レベルを選択し、毎年繰り返すかどうかを選択できます。 **Irregular holiday** を選択すると、日付を設定する方法は異なります。祝日の開始日は毎年異なるため、年、日付、週末、曜日を設定する必要があります。

 Delete をクリックして追加して選択した休日を削除します。

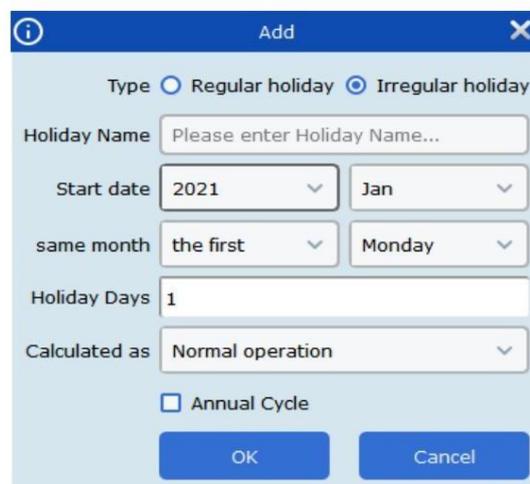
 2022 をクリックしてページの右側にあるカレンダーで年を選択します。



The screenshot shows the 'Add' dialog box on the left and a calendar for July 2022 on the right. The dialog box has the following fields:

- Type: Regular holiday, Irregular holiday
- Holiday Name: Please enter Holiday Name...
- Start date: 2022-8-2
- Holiday Days: 1
- Calculated as: Normal operation
- Annual Cycle

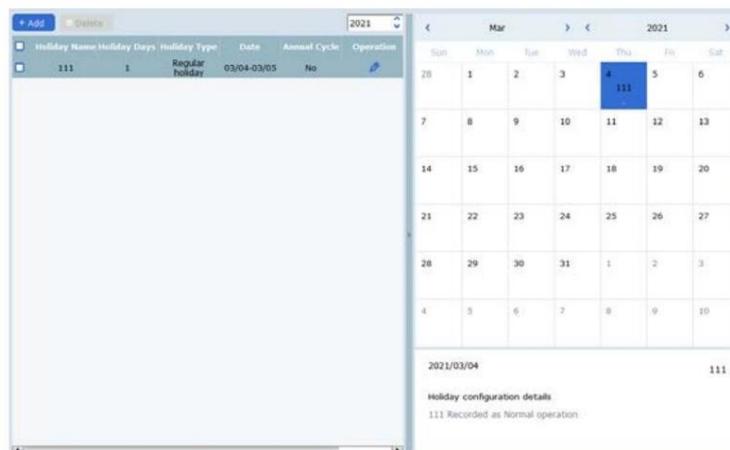
The calendar shows the date 2022-8-2 highlighted in blue. A 'Yes' button is visible at the bottom right of the calendar area.



The screenshot shows the 'Add' dialog box with the following fields:

- Type: Regular holiday, Irregular holiday
- Holiday Name: Please enter Holiday Name...
- Start date: 2021, Jan
- same month: the first, Monday
- Holiday Days: 1
- Calculated as: Normal operation
- Annual Cycle

休日を追加すると、休日の日付がカレンダーに表示されます。



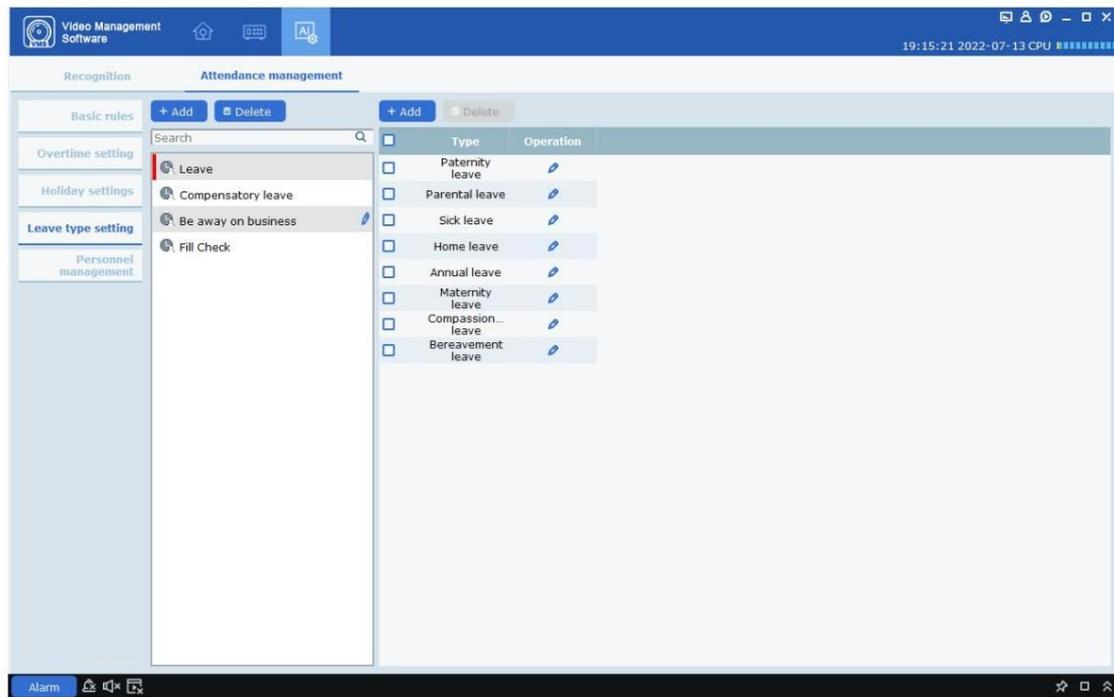
The screenshot shows the application interface with a table of holiday configurations and a calendar for March 2021. The table has the following columns: Holiday Name, Holiday Days, Holiday Type, Date, Annual Cycle, and Operation. The table contains one record:

Holiday Name	Holiday Days	Holiday Type	Date	Annual Cycle	Operation
111	1	Regular holiday	03/04-03/05	No	

The calendar shows the date 2021/03/04 highlighted in blue. Below the calendar, the following text is displayed:

2021/03/04 111
Holiday configuration details
111 Recorded as Normal operation

4. 休暇の種類の設定



休日の種類を分類する。カテゴリは左に表示されています。サブカテゴリはカテゴリの隣に表示されています。

種類を読み込んで、種類をローカルデータベースに保存します。

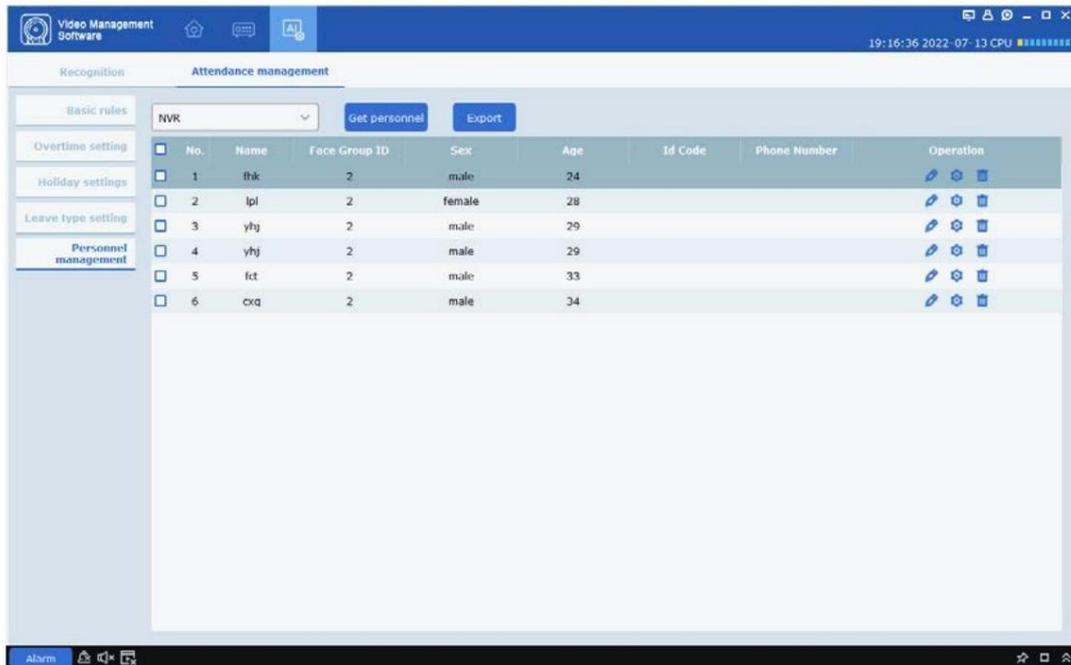
+ Add または **Delete** をクリックして休暇の種類を追加または削除します。

でカテゴリを検索して をクリックします。

次に、そのカテゴリのサブカテゴリがページの右側に一覧表示されます。

サブカテゴリを修正するために をクリックします。

5. 人事管理



NVR [v] Get personnel でデバイスを選択してボタンをクリックします。

その後、ローカルデータベースが照会され、デバイスの顔情報がVMS Proに同期されます。情報には、氏名、顔グループID、性別、年齢、IDコード、連絡先などが含まれます。

Export をクリックして選択した顔情報をローカルストレージにエクスポートします。

操作の列で、次の図のように、顔の情報を変更するには [Edit] をクリックしてください。

Add To Group: Group 1

Name: juelly Sex: female

Age: 36 Country: UK

Nationality: london Native Place: cambridge

Id Code: 5588712888

Occupation: london

Phone Number: 235891576 Email: tsgd82ajdy@gmail.com

Residence: london

Remark: ntr gerhh egrgrre regrerg rthg

Additional Face Image

Save

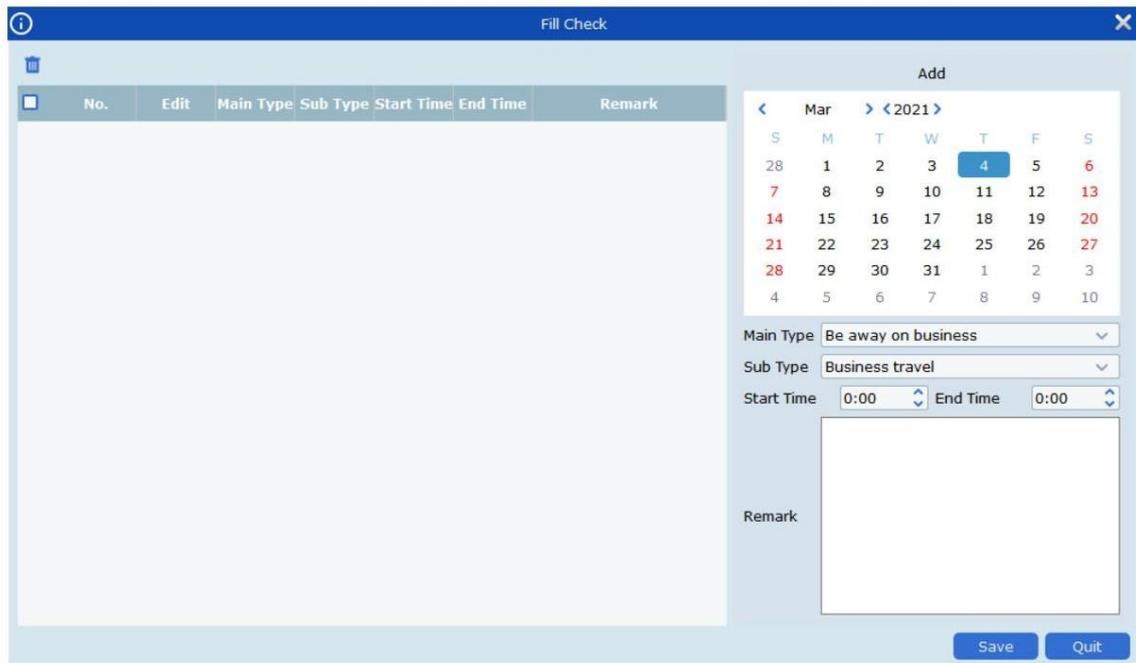
後で人々のサインインを追加する

掲載されている情報はすべて変更可能です。また、複数の顔画像をアップロードすることも可能です。

 をクリックして顔情報を削除します。

業務、休暇、代休などの理由でサインインできなかった人のために、 をクリックしてサインインを追加します。

後のサインインの種類は、次の図に示すように、休暇の種類と同じです。



The screenshot shows the 'Fill Check' application window. It features a table on the left with columns for 'No.', 'Edit', 'Main Type', 'Sub Type', 'Start Time', 'End Time', and 'Remark'. On the right, there is an 'Add' section with a calendar for March 2021, where the 4th is selected. Below the calendar are dropdown menus for 'Main Type' (set to 'Be away on business') and 'Sub Type' (set to 'Business travel'), along with 'Start Time' and 'End Time' dropdowns (both set to '0:00'). A 'Remark' text area is also present. At the bottom right, there are 'Save' and 'Quit' buttons.